

brother



COMPAL- α II SPECIAL

ZZ3-B852

取扱説明書

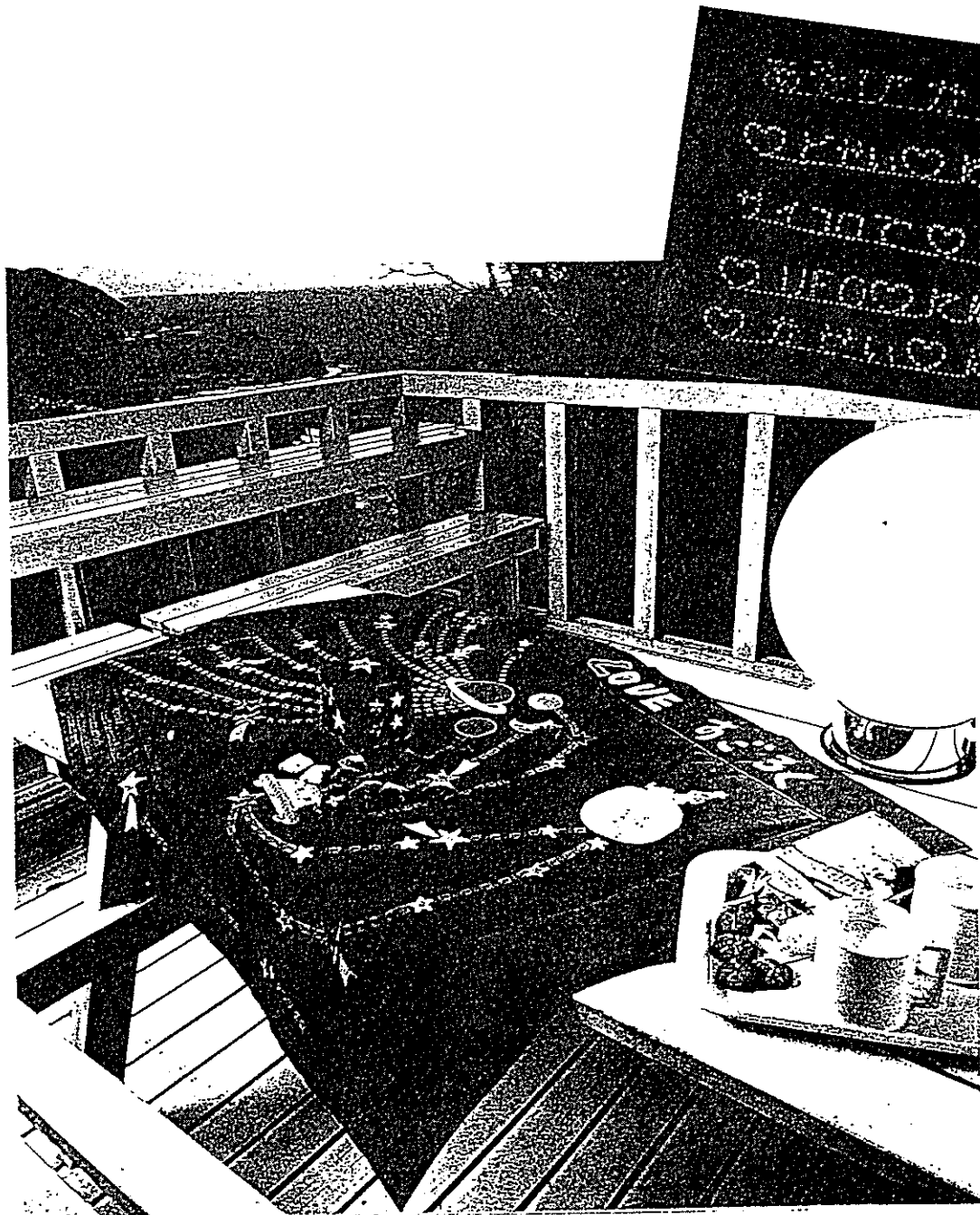


お星さまの世界へ行くこう！



A

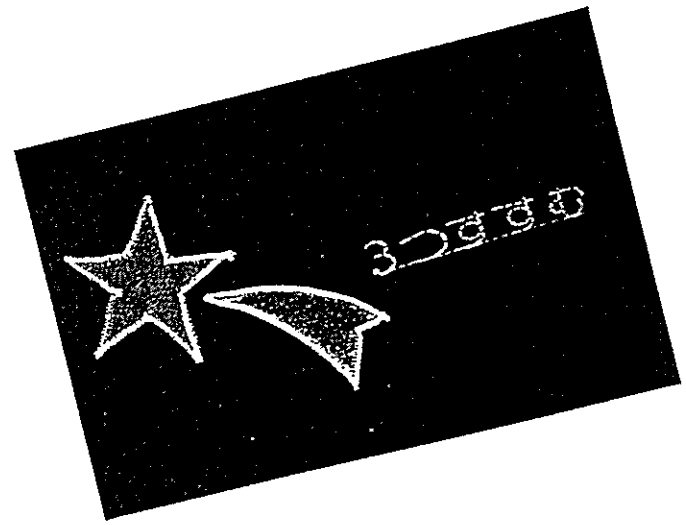
作り方は
41ページ



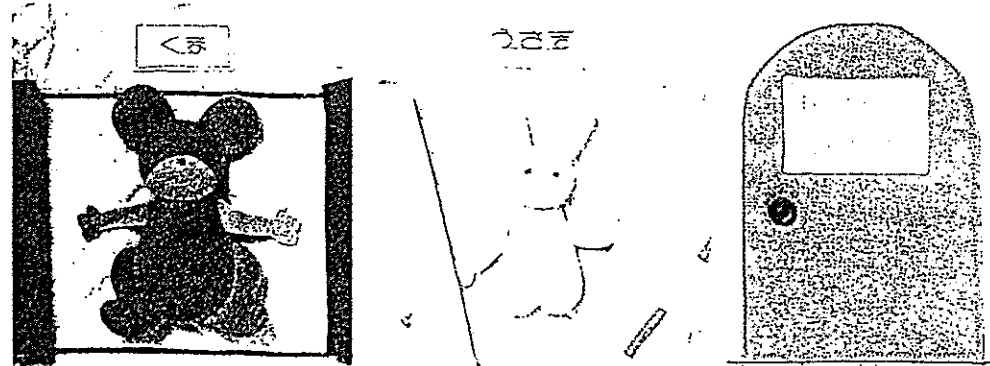
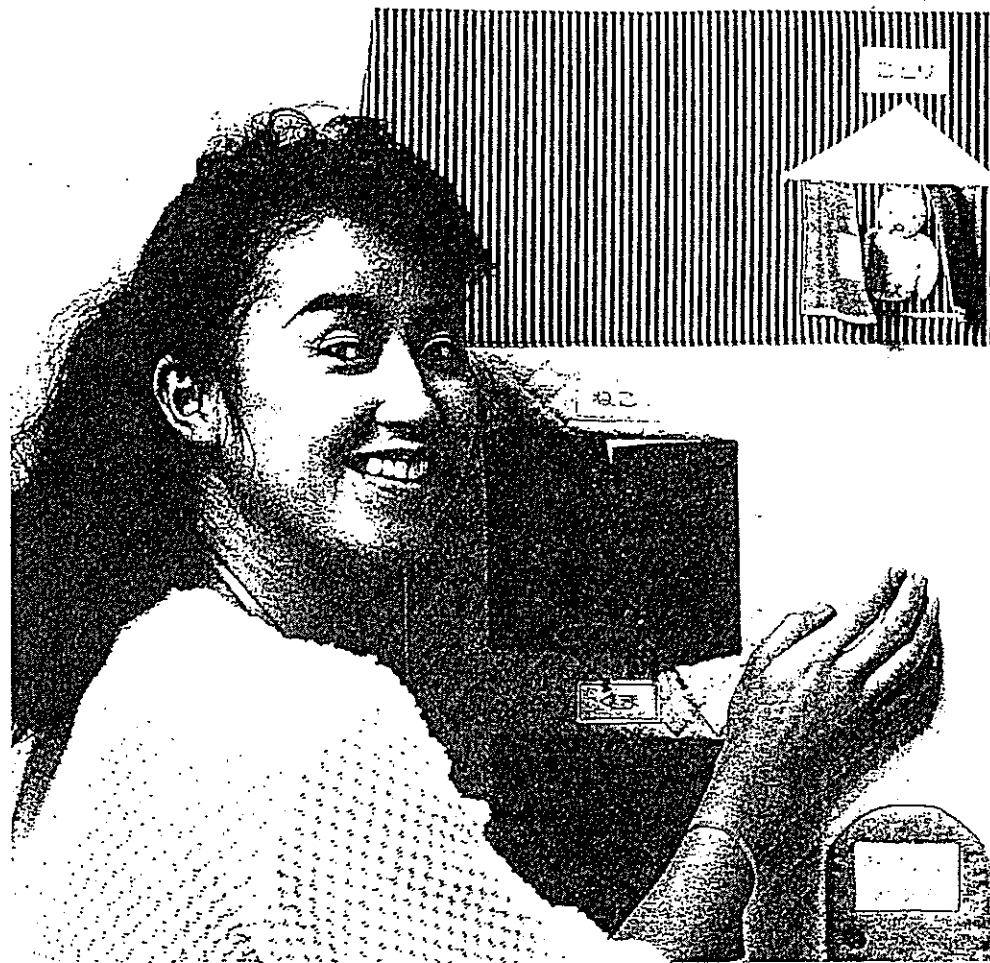
3Dマジック
3Dマジック
3Dマジック
3Dマジック
3Dマジック



冒険もできる。
夢も、かなえられる。
素敵なソーイング・マジックで、
どこへだってとんでいけるよ。



ママの作ったどうぶつえん！

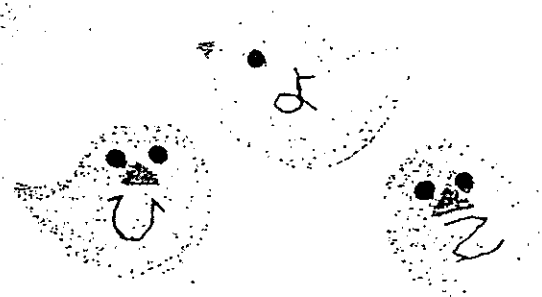


どうすれば くまさんに会えるかな？
ここにいるのは だれでしょう？
あそびながら おぼえちゃう。

B
作り方は
42ページ



あ お ぞ ら
や と り す づ っ ぱ
め だ か



コトバって、空にかいても
いっぱいになっちゃうくらい
あるんだろうなア。
ぼくも たくさんつくってみよう!

またひとつ、コトバ見つけた。

恋するハートを、射とめてね。



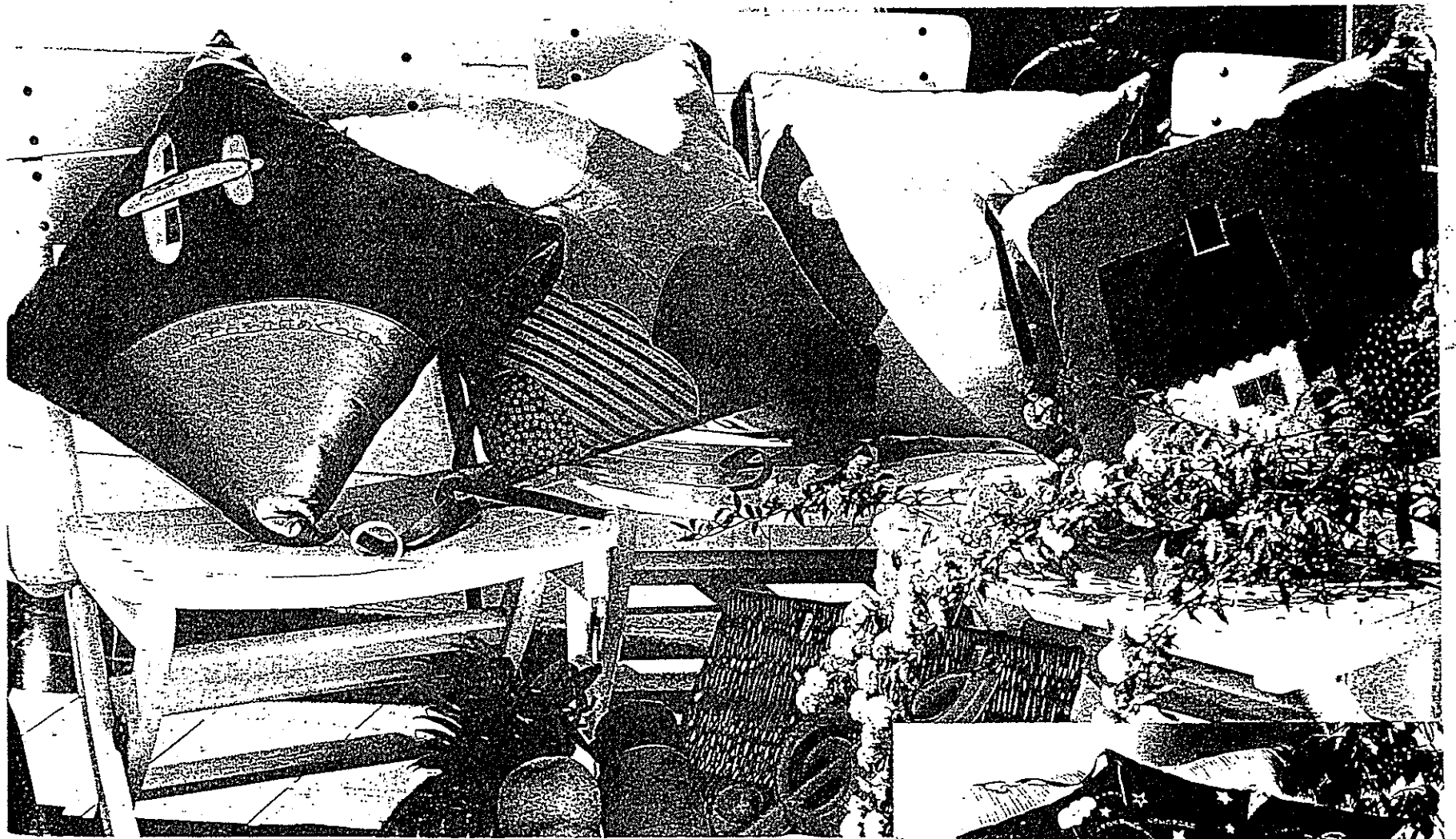
50

100

私の作ったゲームをしましょ。
 何点とれるか あなた次第。
 ハッピー・エンドになったらステキ!

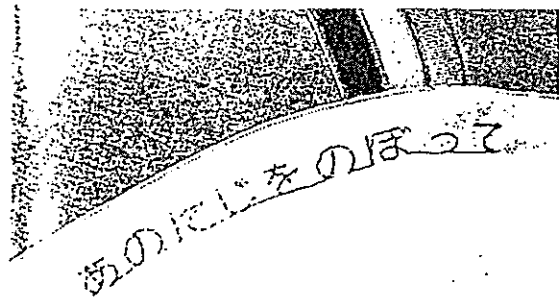
♡ 50 TEN マタマタ トリヨクヲ
 ♡ 30 TEN アキラメタホウカイカモ

LOVE



心をこめて、あ・な・た・に……

をしましよ。
た次第。
なったらステキ!



私の夢をきりぬいて
私の言葉をぬいつけて
空からあなたに届けます。



わたしのお気に入り!



同じスカートなのよコレ
気分によって変えちゃうの。
まっ赤な布なら
軽やかスカートもいいんじゃない。



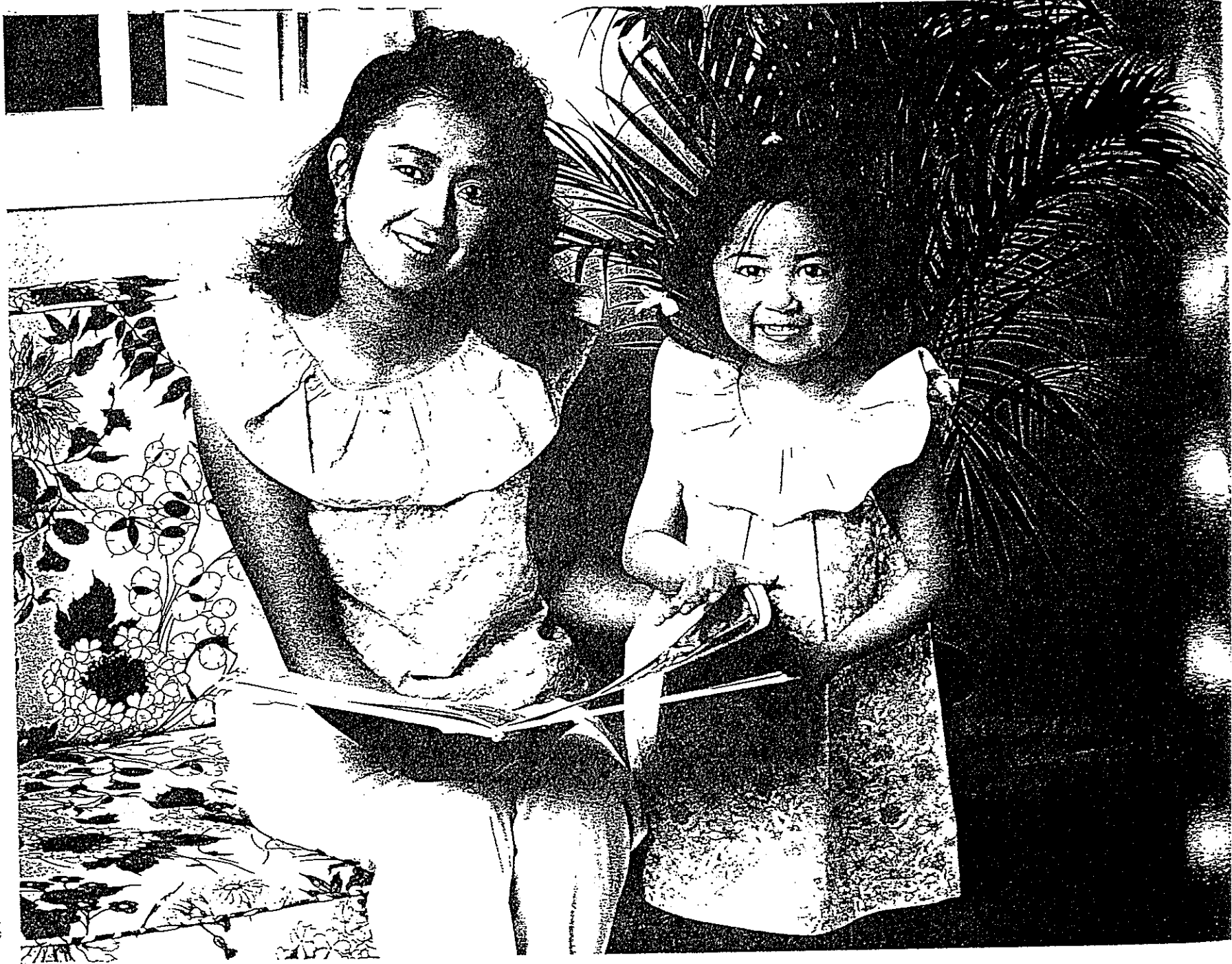
F

作り方は
45-46ページ

のよコレ
ぢえちやうの。
もいんじやない。

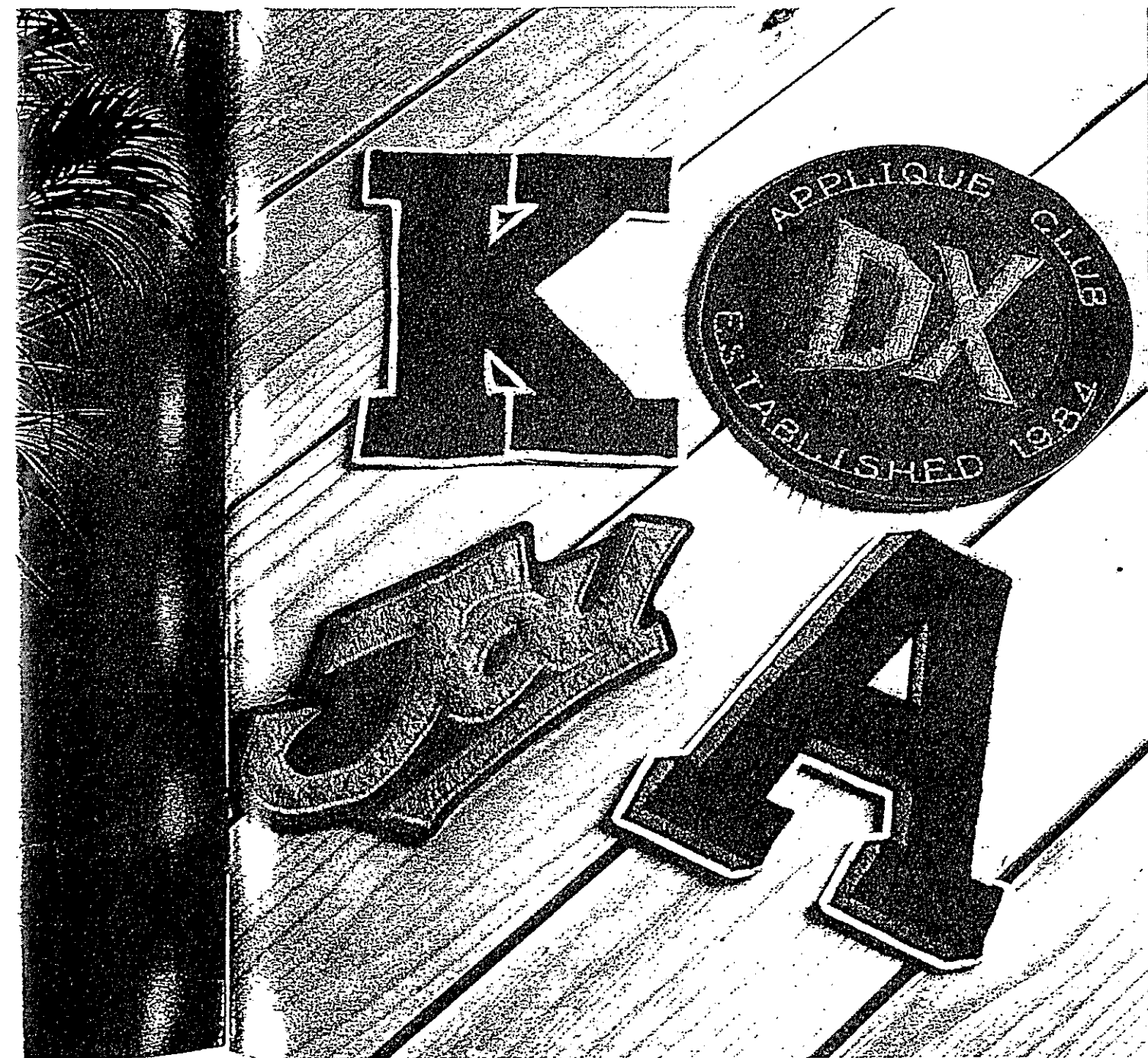


今年の夏はおそろいな。



G

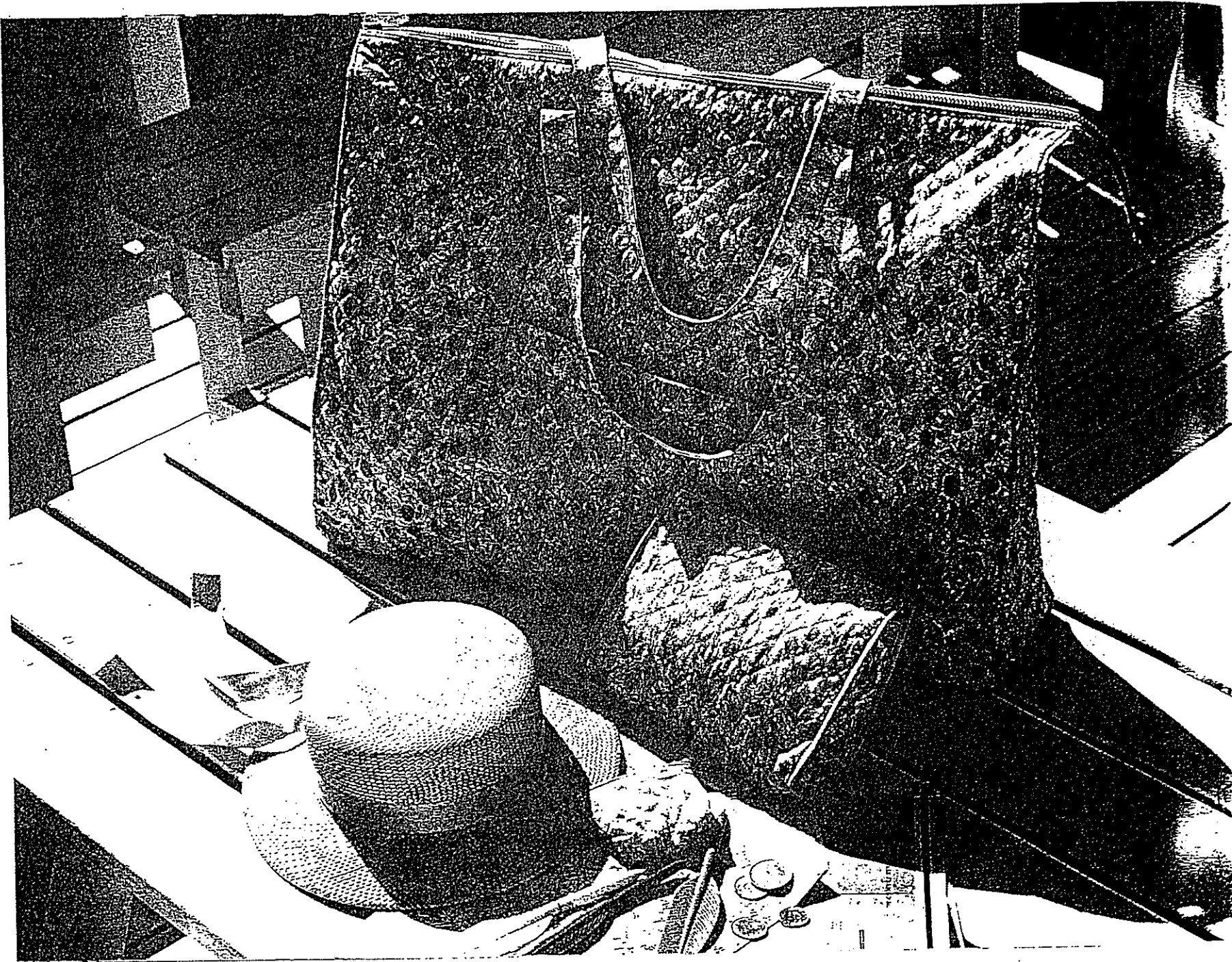
作り方は
47ページ



- ・ 街で見かけたあのワッペン。私もチャレンジ、このとおり！

遊びゴコロで、ワッペン作り。

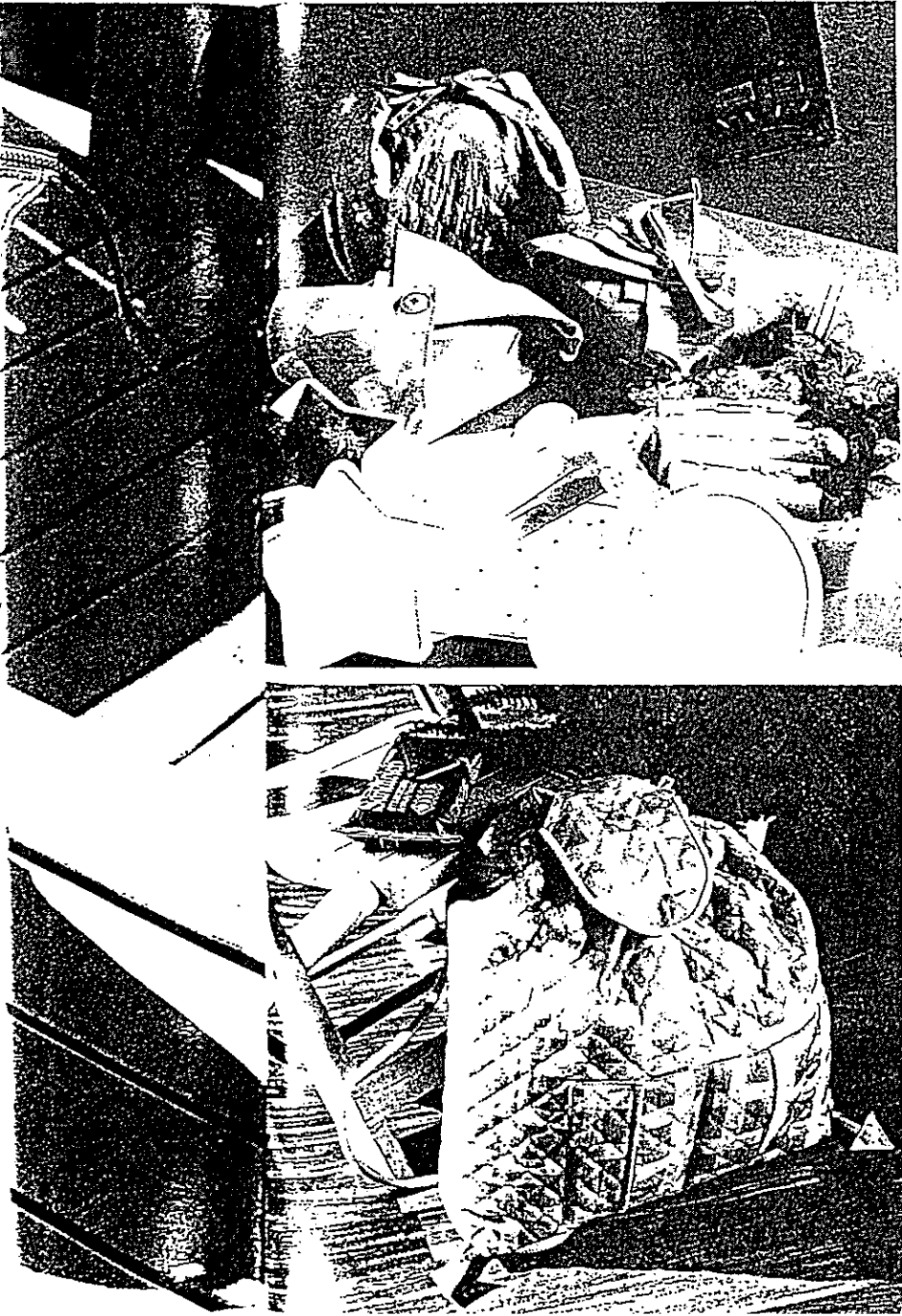
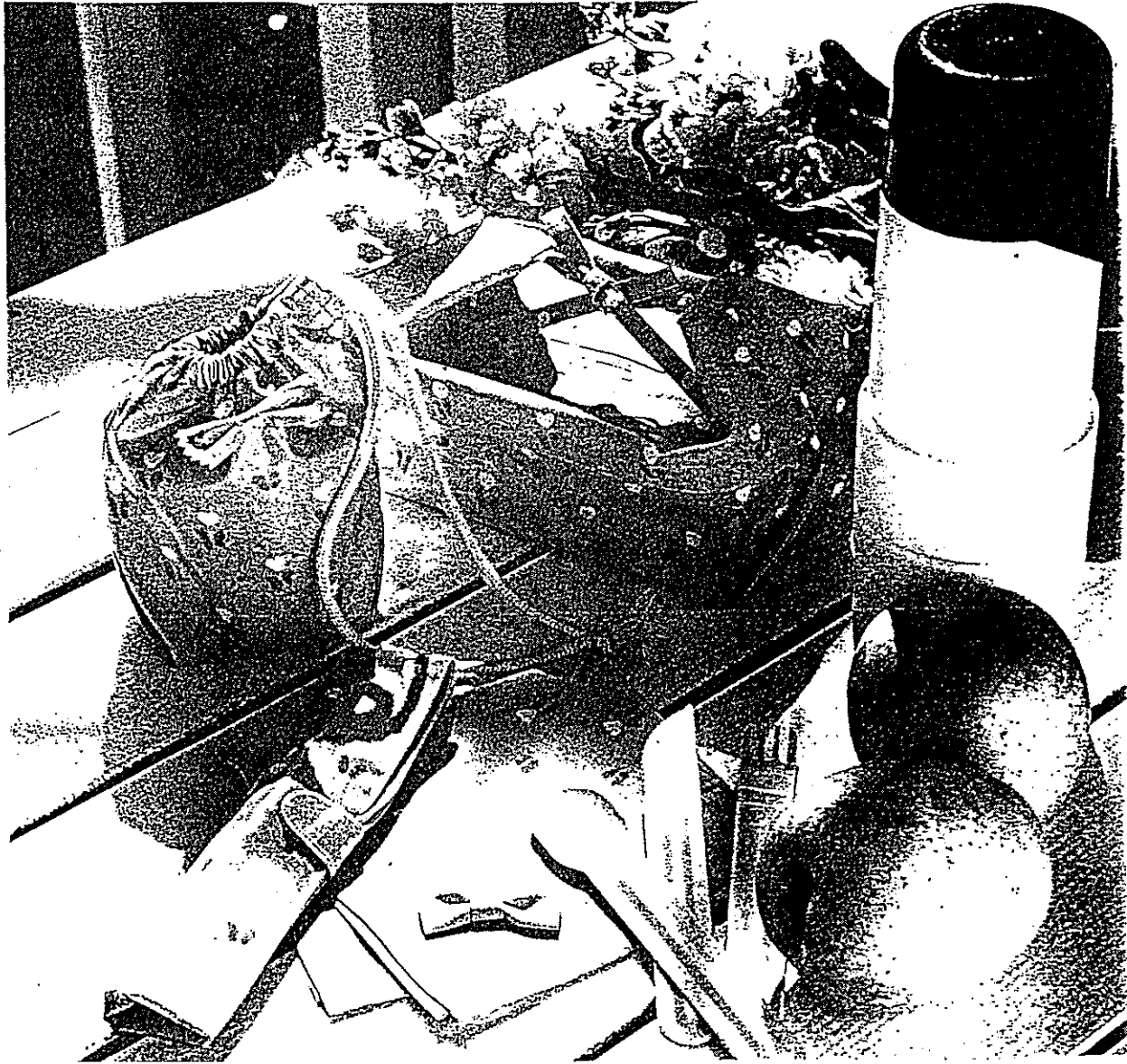
本日、^ハ♡100%の快晴です。



I

作り方は
49~52ページ

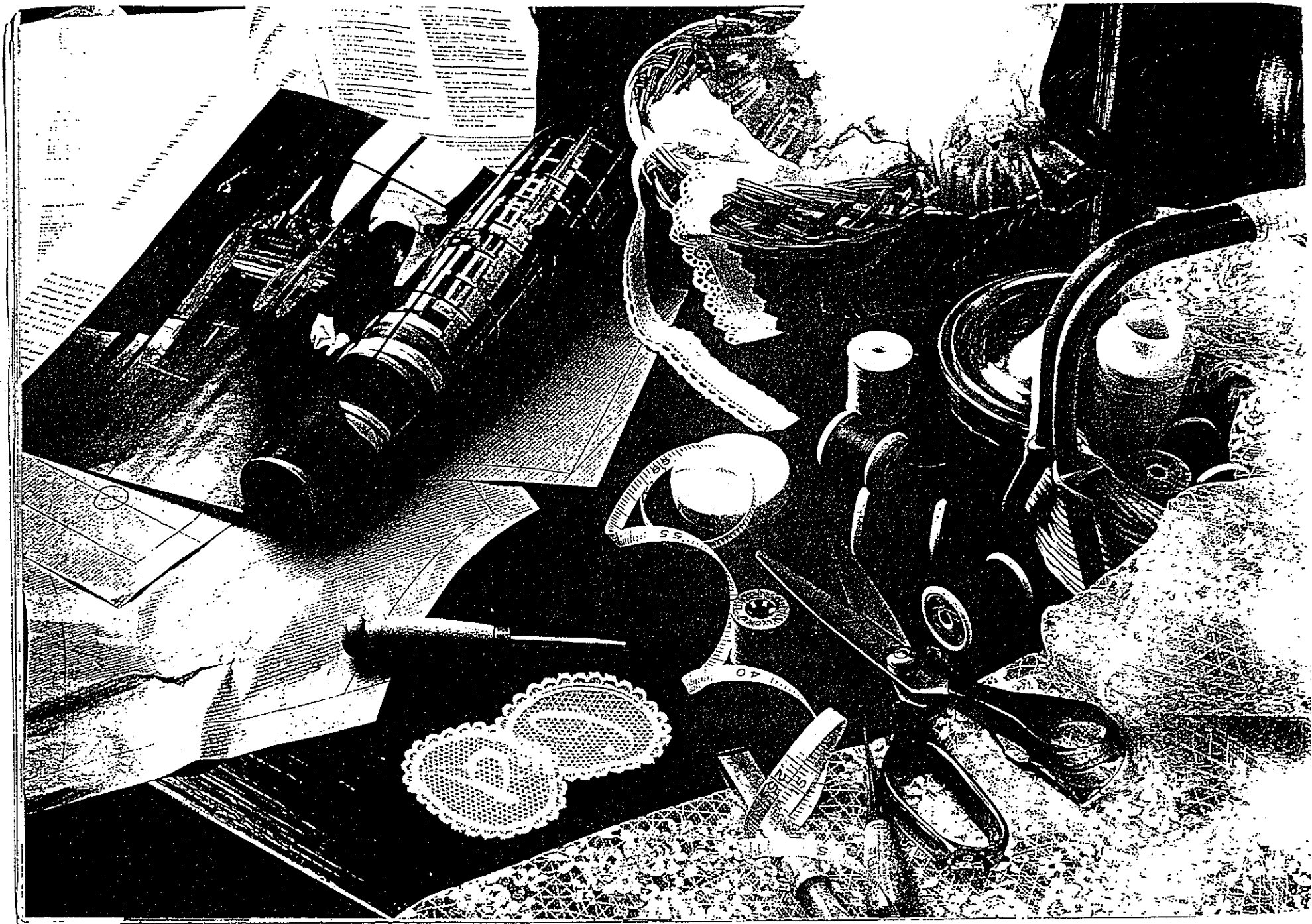
手作りサンドイッチは、
手作りのお弁当入れとにっこり笑顔と、
やさしい日射があればぐーんとおいしくなります。



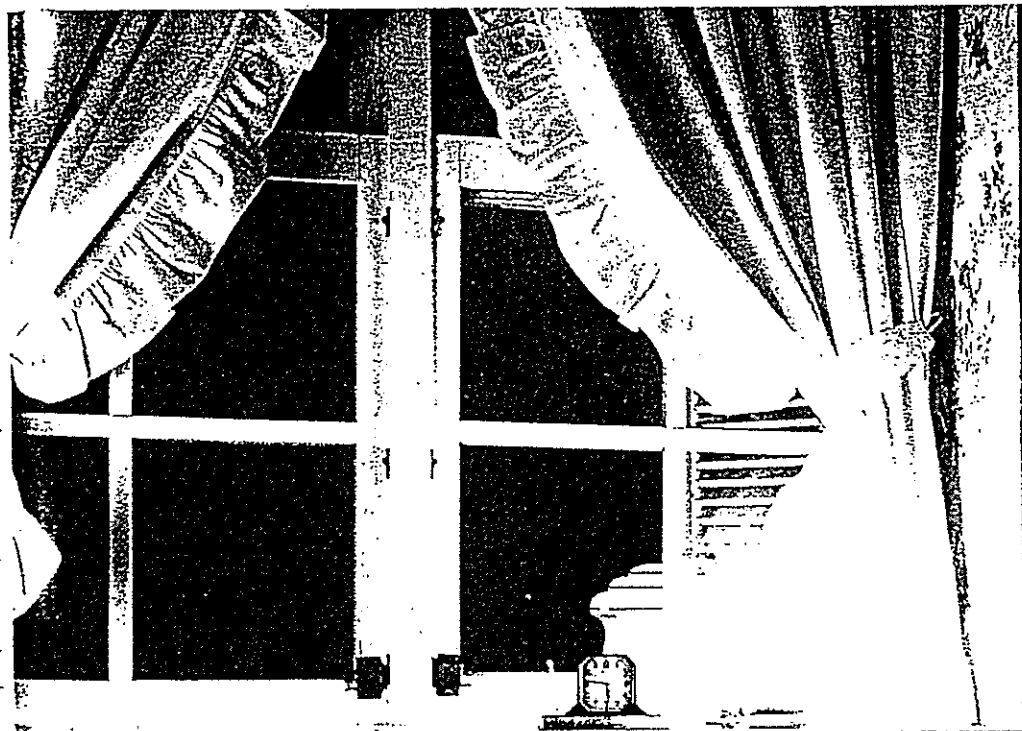
エプロンドレスは、アリスの気分。



『不思議の国のアリス』を
読みかえしたら
緑の野原を
春風みたいな少女と
白いウサギが、
駆けていきました…。――



わたしの部屋です。



『国のアリス』を
したら
原を、
たいな少女と
トギが、
きました…。

好きなものを忘れてはい
あなたが気持ち悪くはない。
じかに大切にしてい
私の城です。



もくじ

■ぬい方早見表	1
■各部の名称	2
■各部のはたらき	3~4
■運転の準備	5~10
●下糸の準備	5~6
●上糸のかけ方	7~8
●下糸の引き出し方	9
●押えの付け替え方	10
■ぬってみましょう	11~20
●基本操作	11~12
●糸調子	13
●ボタン付け押え(M)の使い方	14
●ボタン穴かがり押え(A)の使い方	
ボタン穴かがり	15~16
かんどめ	17~18
ダーニング(つくろいぬい)	17~18
●サイドカッターの使い方	19~20
■メッセージ模様	21~29
●ぬい方	21~26
●訂正のしかた	27~28
●カプセルについて	29
■マイイラスト	29~35
●模様の考え方	30
●データの作り方	31~32
●データのインプット方法	33~34
●マイイラスト作品例	35
■針とランプの交換	36
■こんなことも知っておきましょう	37
■お手入れ	37
■こんなときはここをチェック	38
■ミシン講習整理券について	38
■メッセージ模様の組み合わせ例	39~40
■作品の作り方	41~54



ぬい方早見表

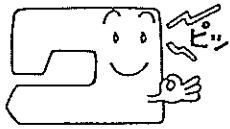
模様の種類	直線		ジグザグ	裁ち目かがり		ボタン穴かがり				かんどめ	ダーニング	サテン	スカラップ	飾りぬい		裁ち目かがり	三重ぬい	まつりぬい		ボタン付け	飾りぬい			
	00	01		03	04	05	06	07	08					09	10			11	12		13	14	15	16
模様番号	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	N	N	N	J
押え記号	J	J	J	G	G	A	A	A	A	A	A	J	J	J	J	J	J	L	L	M	N	N	N	J
選択模様																					メッセージ	マニュアル	カンセル	
返しぬいスイッチ	返	返(止)	返(止)	止	止								止	止	止	止	止	止	止		止	止	止	
ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ		★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★		★	★	★	★	★	★	
ぬい目の長さマニュアルスイッチ																								
サイドカッター																								
主な用途	地ぬい	フスナ	そこのナ	裁ち目かがり	アツク	ソフケ	薄地	ほつれやすい布地	ワンピース	厚地ジャケット	普通地ジャケット	パジャマ・シャツ	かんどめ	つくろいぬい	サテンステッチ	スカラップステッチ	ファゴティング	バッチワーク	のびる布地	地ぬい	のびる布地	薄地・普通地	ボタン付け	飾りぬい

■ チェックブザー

●正しいスイッチ操作をしたとき



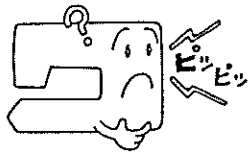
ブザーが1回鳴ります。



●まちがったスイッチ操作をしたとき



ブザーが2回鳴り、エラーメッセージが流れます。



返.....返しぬいができます。

止.....止めぬいができます。

(止).....サイドカッターを使用しているときは、止めぬいをします。

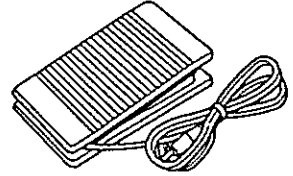
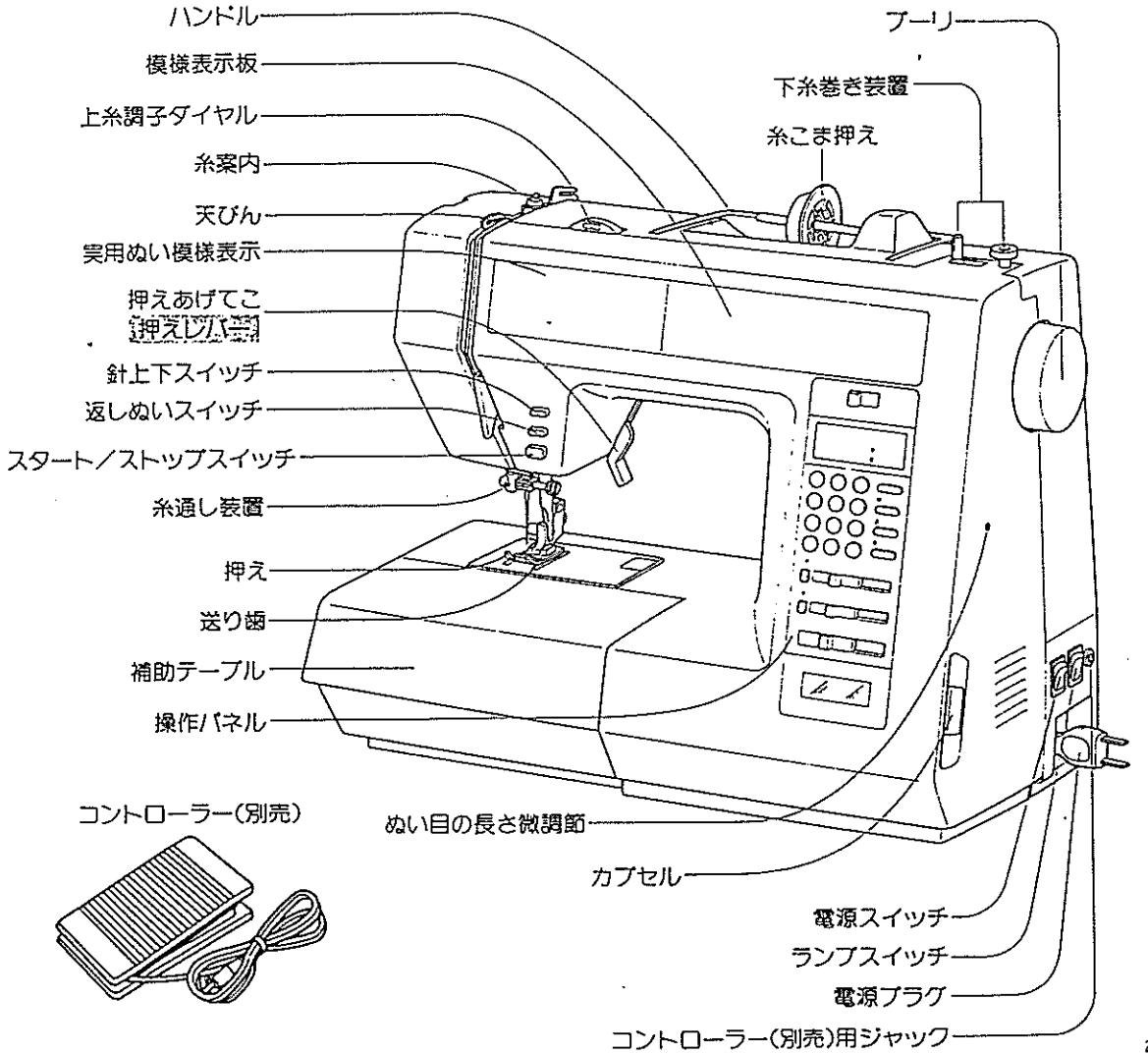
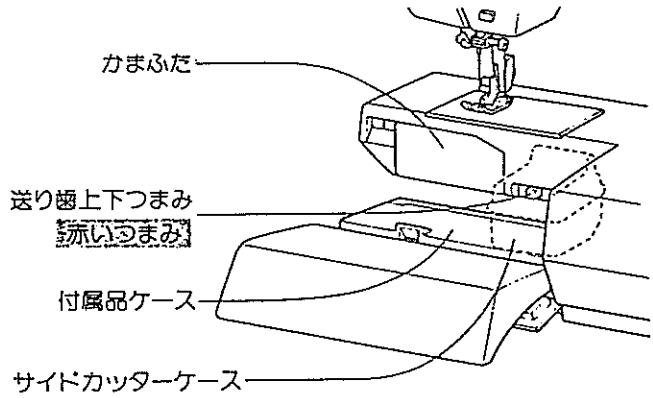
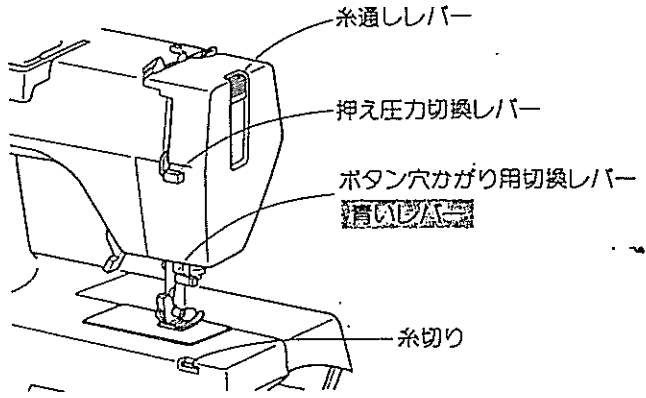
★.....手動操作ができます。

.....サイドカッターが使用できます。

押え記号

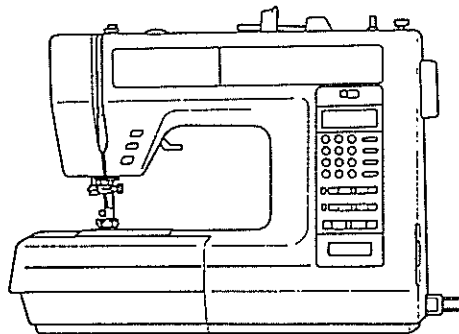
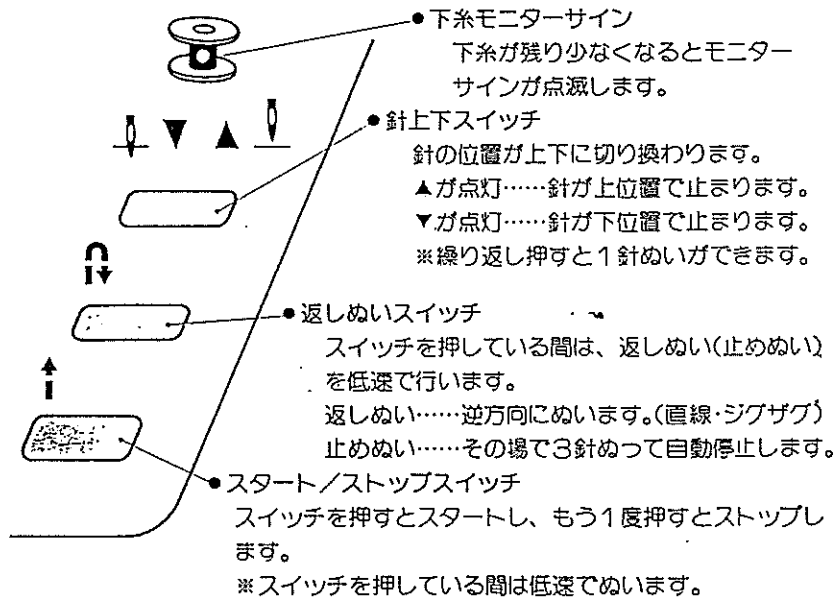
各部の名称

飾りぬい			
A面20~94 B面20~99	A面 95~99	00 95	98 99
N	N	N	J
メッ シー シ	マ ン シ ェ ル	カ フ セ ル	
止	止	止	
★	★	★	
飾			
り			
ぬ			
い			



用しているときは、
用できます。

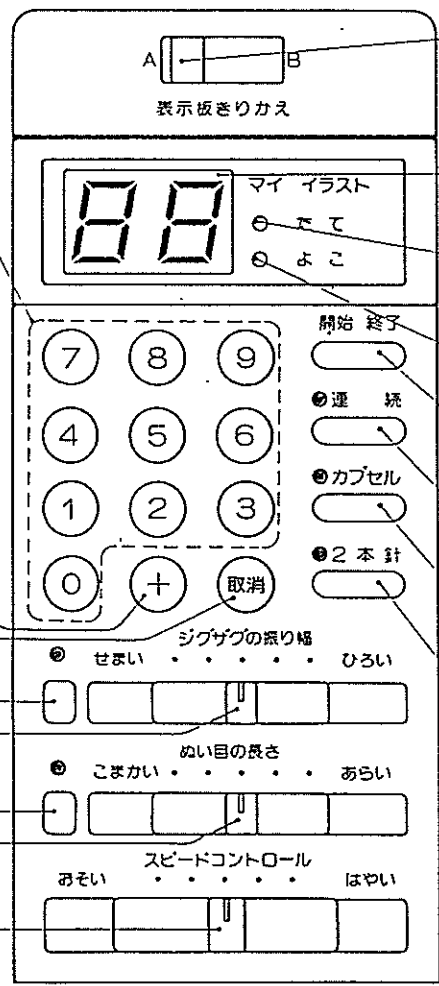
各部のはたらき



- カプセル
ミシンが記憶している180種類の模様の他に、100種類の模様を記憶しているカプセルがついています。
(29ページ参照)

- 模様選択キー
模様番号を指定するときに使うキーです。
※模様番号は必ず2ケタで指定してください。
- 組み合わせキー
模様を組み合わせたいときに使うキーです。
※実用ぬい模様は組み合わせることができません。
- 取消キー
模様を組み合わせている途中や、マイイラストでのデータのインプットで、番号まちがえて押したときにこのキーで取り消すことができます。
- ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ
ジグザグの振り幅調節レバー
マニュアルスイッチを押し、ランプを点灯させると、ジグザグの振り幅(模様の)をひろくしたり、せまくしたり、お好みに合わせて調節することができます。
- ぬい目の長さマニュアルスイッチ
ぬい目の長さ調節レバー
マニュアルスイッチを押し、ランプを点灯させると、1針1針のぬい目の長さを広くしたりこまかくしたり、お好みに合わせて調節することができます。
- スピードコントロールレバー
実用ぬい模様は、このレバーでスピードを変化させることができます。

操作パネル



- 表示板きりかえレバー
レバーを左にする……A面模様(ひらがな・漢字・マイイラスト)を表示します。
レバーを右にする……B面模様(アルファベット・イラスト・星座)を表示します。
- 表示窓
模様選択キーで指定した模様番号を表示します。
- マイイラストたてランプ
マイイラストのデータ入力時、次にたてデータをインポートすることを表示します。
- マイイラストよこランプ
マイイラストのデータ入力時、次によこデータをインポートすることを表示します。
- マイイラスト開始/終了キー
マイイラストのデータのインポートを、開始および終了するときに押します。
- 連続キー
指定した模様を、連続ぬいするときに押します。
- カプセルキー
カプセル内に収められている模様(100種類)をぬうときに押します。
- 2本針キー
2本針を使用するときに押します。

数字のインポートで、番号を
表示します。

ジグザグの振り幅(模様の幅)
調整することができます。

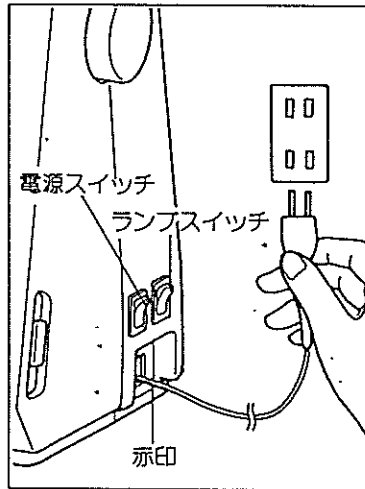
ぬい目の長さ(1針のぬい目の長さ)を
調整することができます。

スピードコントロール
調整することができます。

運転の準備

下糸の準備

1 電源を入れます



- ①電源コードを引き出し、コンセントに差し込みます。
 ※電源コードの赤印以上は引き出さないでください。
 ※電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから巻いてください。
 ②ランプは電源を入れてからつけます。

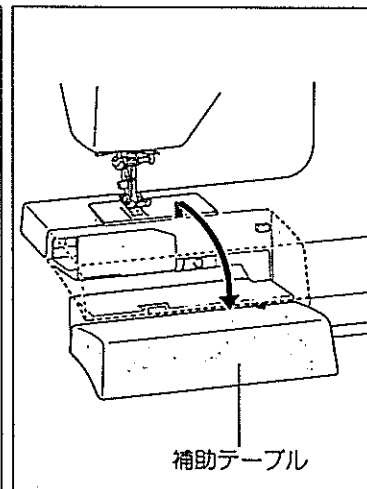
スイッチが入ります。



スイッチが切れます。

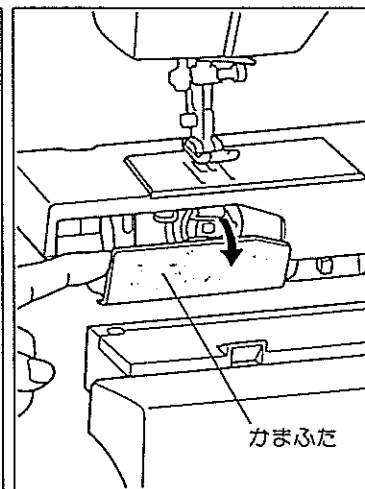


2 フリーアームにします

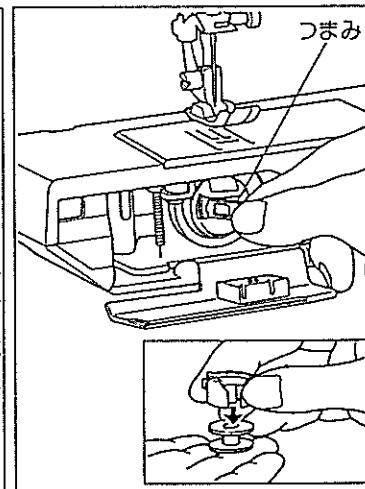


補助テーブルを持ち上げ、手前に引き下げます。

3 かまふたを開きます

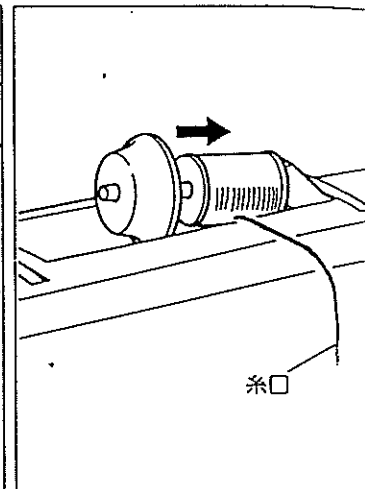


4 ボビンを取り出します

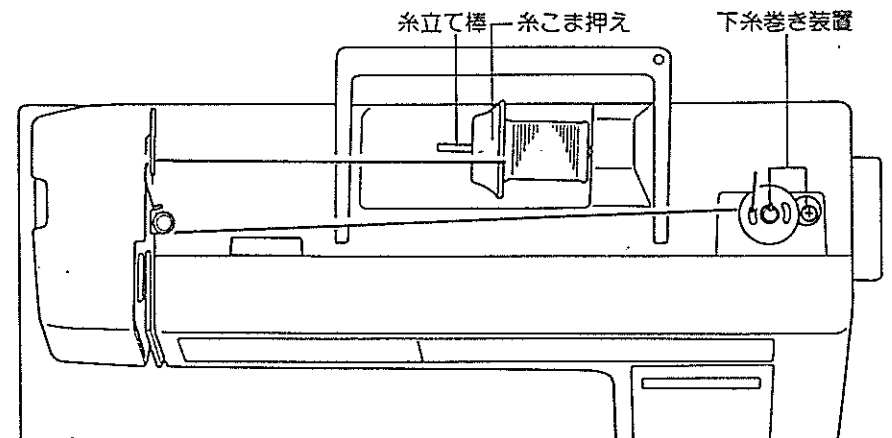


- ①つまみを持って、ボビンケースを取り出します。
 ②つまみを閉じて、ボビンを出します。

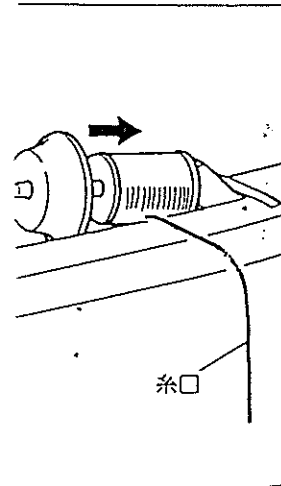
5 糸こまをセットします



糸こまが回らないように、糸こま押えをしっかり差し込みます。
 ※糸口は手前から出るようにセットします。

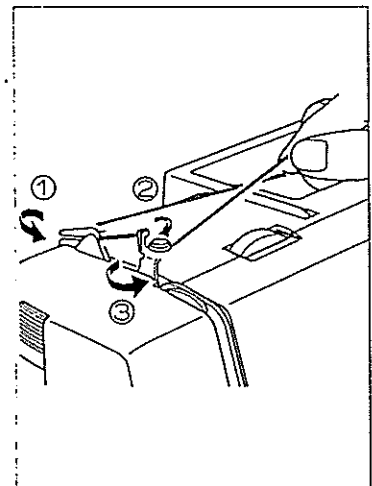


5. 糸をセットします

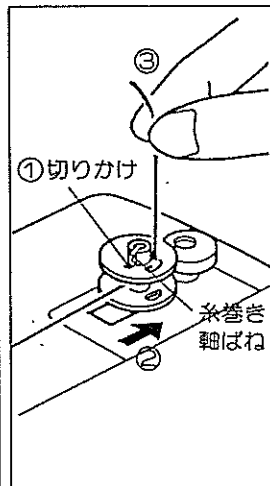


糸が回らないように、糸の頭をしっかりと差し込みます。
糸は手前から出るようにセットします。

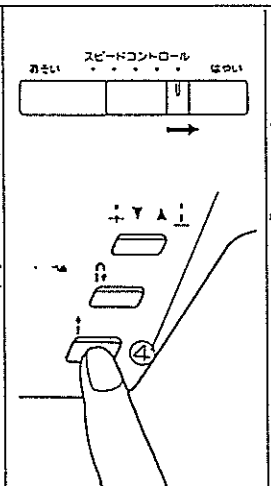
6. 糸案内にかけます



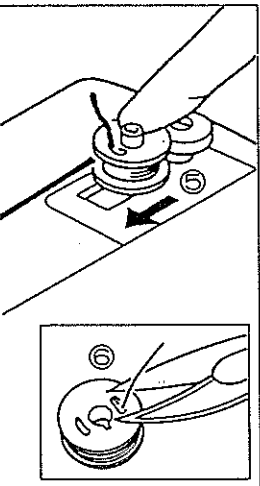
7. 下糸を巻きます



① ボビンの穴に糸端を通し、切りかけを糸巻き軸ばねに合わせてはめます。
② ボビンを右へ押し込みます。
③ 糸端を持ちます。

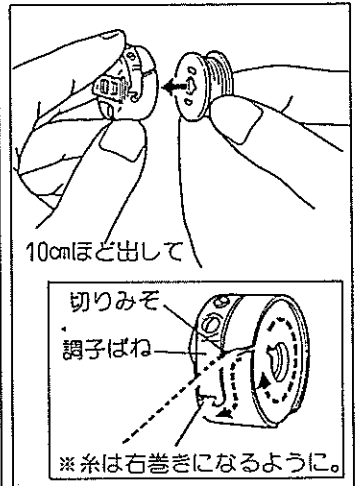


④ スピードコントロールレバーを“おそい”にしてスタートします。
※ 巻き終わるとボビンの回転が止まりますので、スタート/ストップスイッチを押してください。



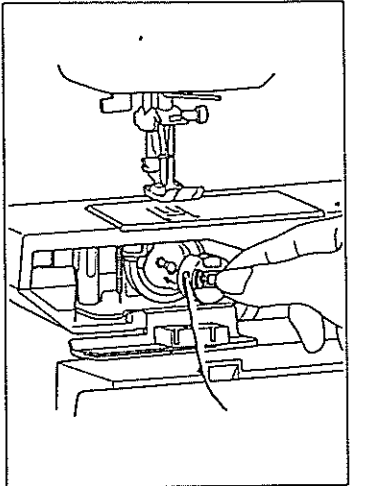
⑤ ボビンを左へもどして、糸を切り取ります。
⑥ ボビンの穴から出ている糸端は、もとから切り取ります。

8. ボビンケースに入れます

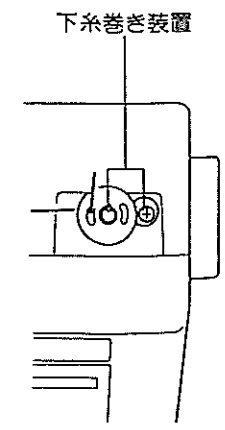


① ボビンケースのつまみを閉じます。
② 糸を、切りみぞから、調子ばねの下へすべり込ませます。

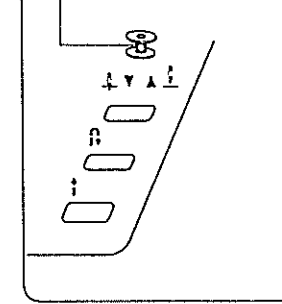
9. ミシンにセットします



つまみを持ってボビンケースを取り付けます。
※しっかりとセットされていないと、ミシンの始動とともにボビンケースが飛び出します。



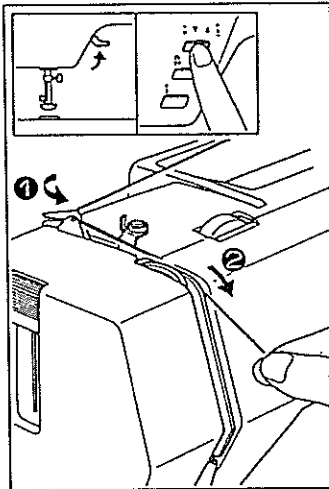
★ 下糸モニターサイン



このミシンは、下糸の残量が少なくなるとモニターサインが点滅してお知らせします（ミシンを止めるとおよそ7秒で点滅なくなります）ので、従来のミシンのように、ボビンを取り出して下糸を確認するという手間がはぶけます。
※ 糸の番手によって下糸の残量が変わります。また透明糸などの特殊糸は検知できませんのでご注意ください。
※ 下糸モニターサインの専用ボビン（モニターボビン・部品コード：137489-001）をご使用ください。
※ 市販のボビンを使用されてもめうことができますが、下糸モニターサインは正しく作動しません。

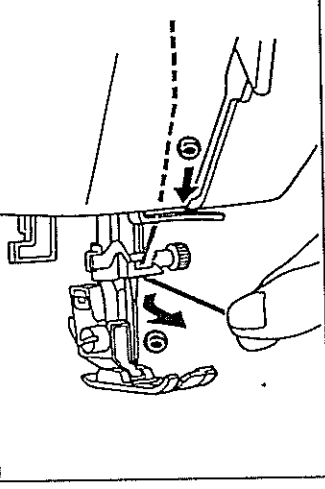
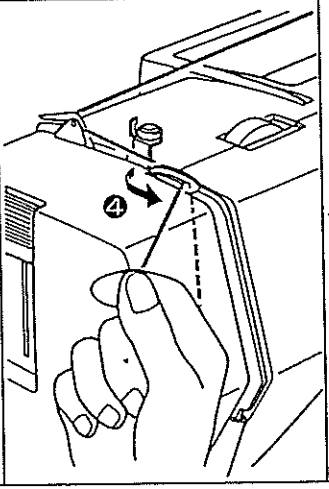
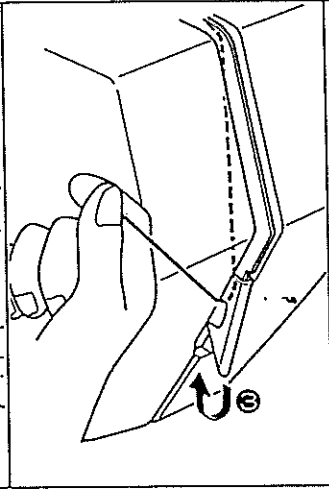
上糸のかけ方

1 順序よく糸をかけます

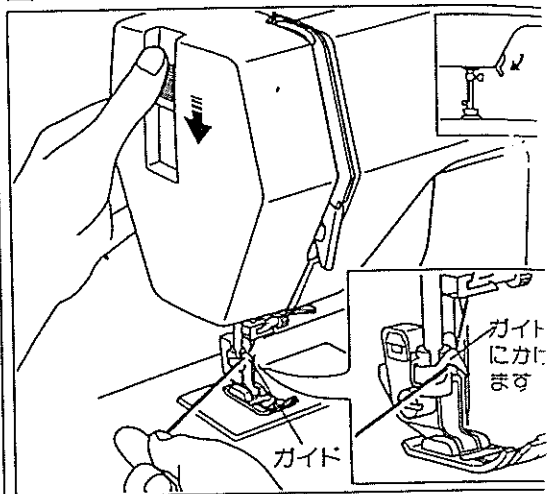


押えと針を上げてから糸かけをします。

※針は必ず針上下スイッチで操作してください。

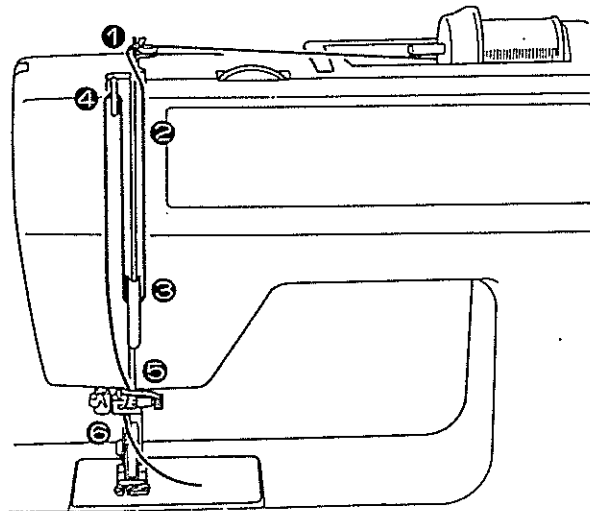


2 糸通しレバーを下げます



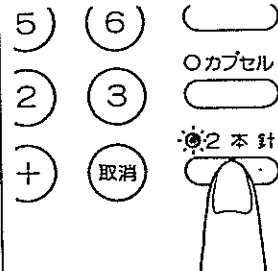
①押えを下げます。

②図のように糸を持ち、糸通しレバーを下げながら糸をガイドにかけます。

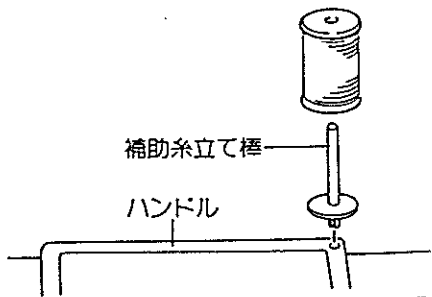


★2本針を使用するときには

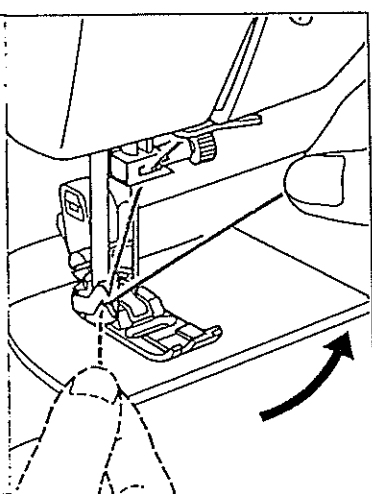
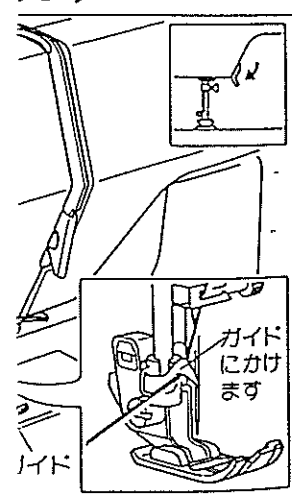
1. 2本針キーを押します。
- ※1本針のときよりも振り幅がせまくなります。



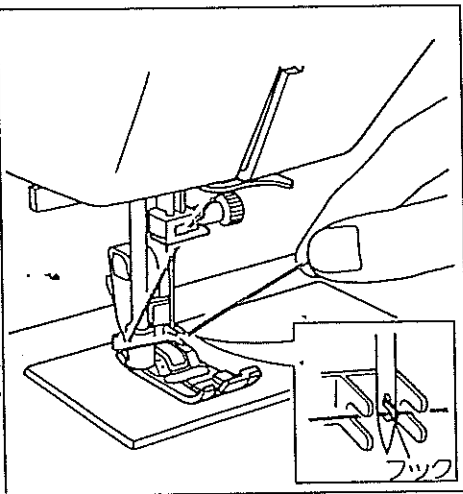
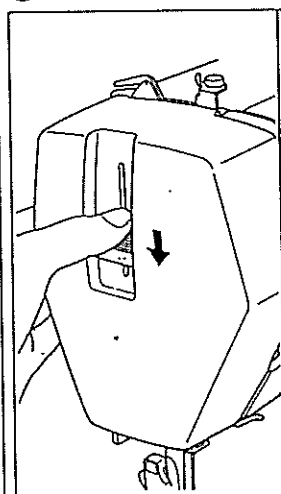
2. ハンドルに補助糸立て棒を取付け、糸こまをセットします。



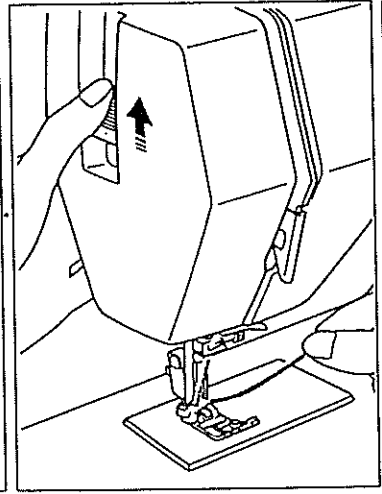
ずます



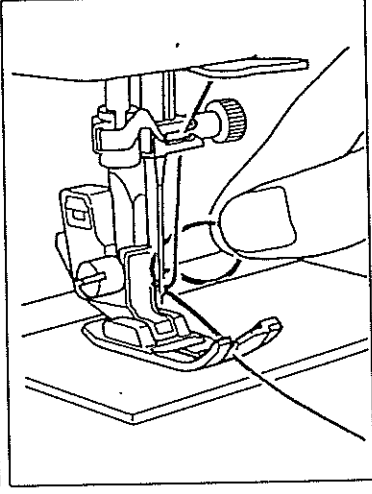
3 フックにかけます



4 糸通しレバーを上げます



5 上糸を引っ張り出します



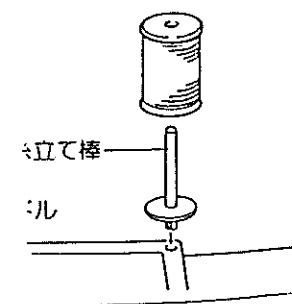
③ガイドにかけた糸を右へ持っていきます。

レバーを下までしっかり下げます。

糸をフックにかけます。
※糸を手前にかるく引き、フックにかかっているか確認してください。

糸をかるく持ったままレバーをゆっくり上げ、糸が引っ張られるのに合わせて糸をゆるめます。

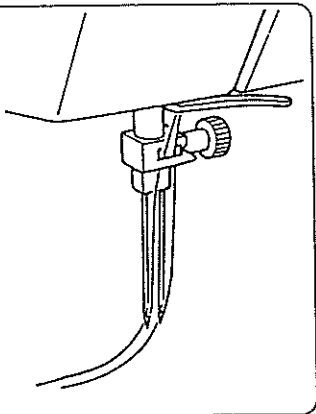
ルに補助糸立て棒を取り糸こまをセットします。



3. 1本針と同じように①～③の箇所に2本の糸をかけます。

針に2本の糸を別々に通します。

2本針をご使用のときは、糸通し装置は使えません。



ご注意)

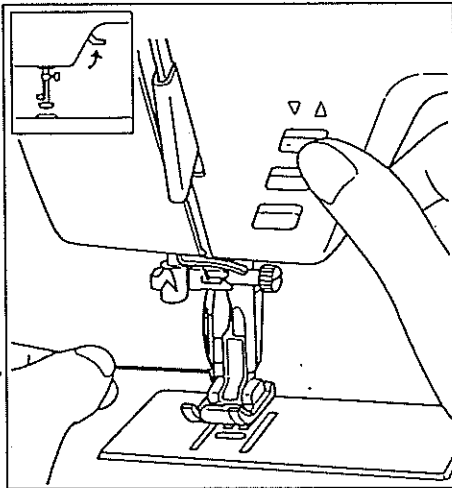
1. ミシンが動いているときに糸通しレバーを下げますと、糸通し装置がこわれて使用できなくなるだけでなく、針が折れ、けがのもとになりますのでご注意ください。
2. 糸通し装置をご使用になっているときは、プーリーを手で回さないでください。

3. 糸通し装置が使用できない針と糸の太さの組み合わせは下記の通りです。
※ナイロン透明糸は下記に関係なく、ミシン針14～16番の範囲内でご使用ください。

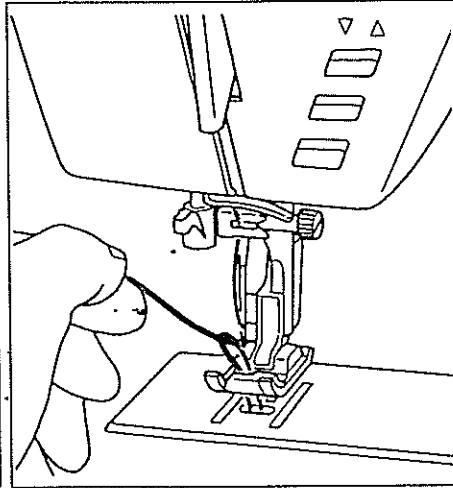
針	糸
9番	30番 50番 60番
11番	30番 50番
14番	30番 50番
16番	20番

下糸の引き出し方

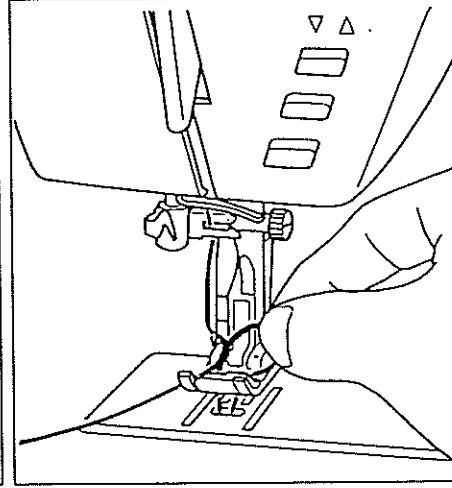
1 針上下スイッチを押します



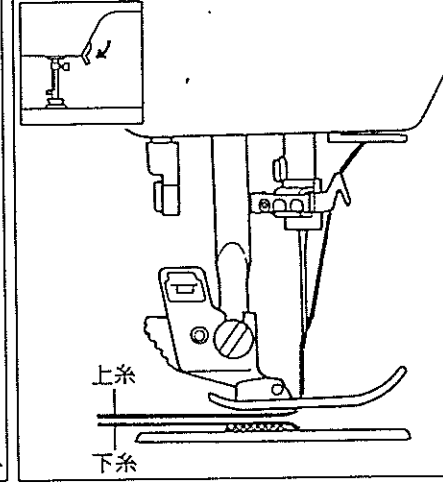
2 上糸を引きます



3 下糸を引っ張り出します

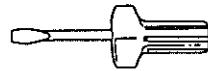
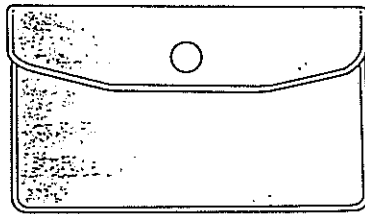


4 上糸・下糸を15cmほど出しておきます

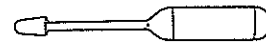


上糸をかるく持ち、針上下スイッチを2回押します。

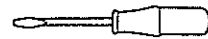
●付属品/バッグ



ねじまわし(中)



油差し



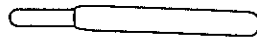
ねじまわし(小)



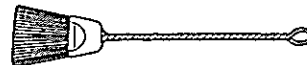
ピンセット



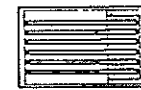
ハトメ穴パンチ



リッパー



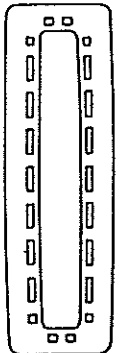
ミシンブラシ



ミシン針

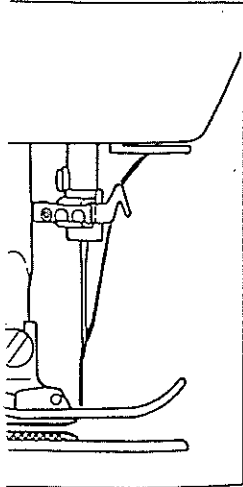
黄	針-#11	2本
赤	針-#14	2本
緑	針-#16	1本
ゴールド針-#11		1本
(ニット用)		

●刺しゅう枠

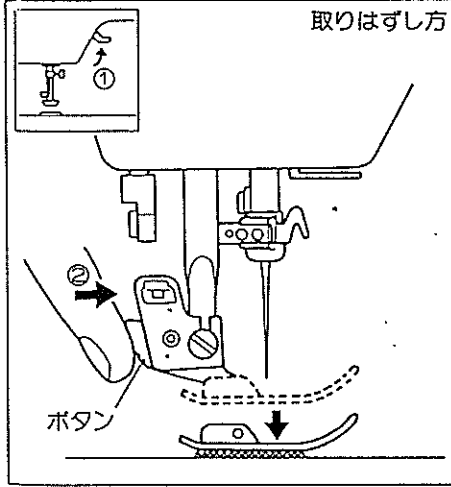


押えの付け替え方

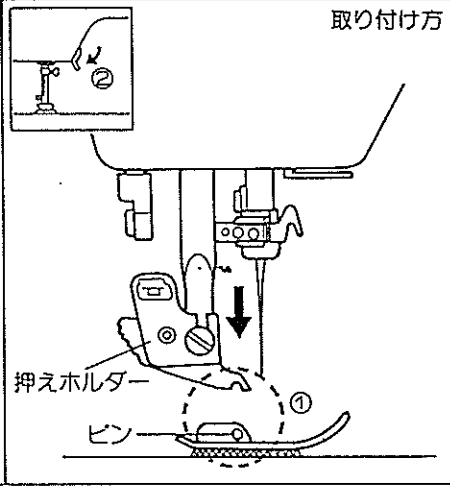
ほど出しておきます



■ 両押えを取り替えるには

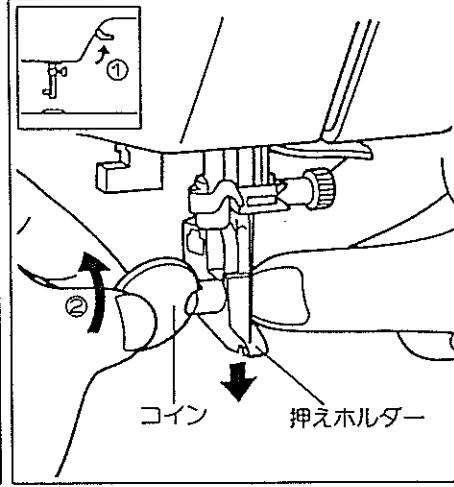


押えを上げ、押えホルダーのボタンを押します。

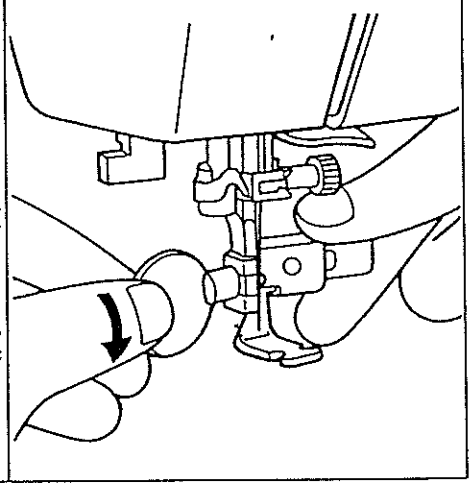


押えを取り替え、押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えレバーを下げます。

■ 片押え(I)に替えるには

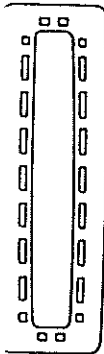


押えレバーを上げ、ねじをゆるめて押えホルダーをはずします。

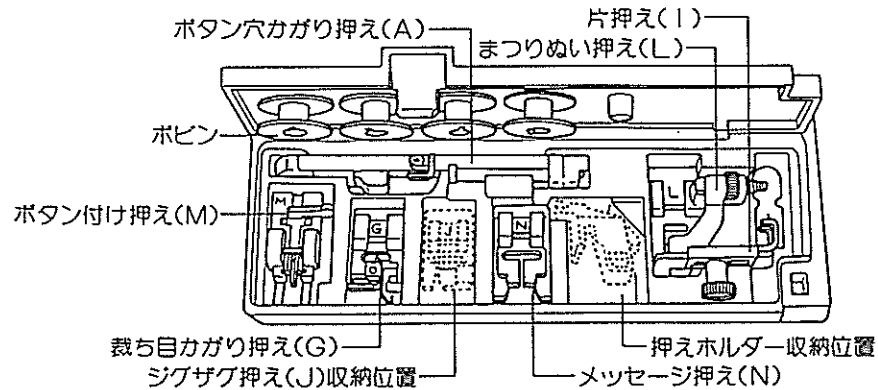


片押えを付け、ねじを締めます。

しゅう枠

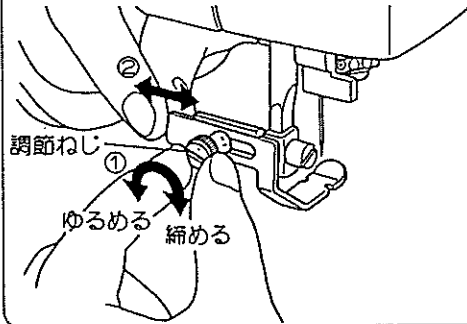


● 付属品ケース ※ () は押え記号です。

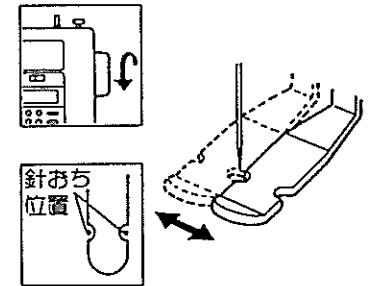


★ 片押えの左右を使い分けるには

調節ねじをゆるめて、片押えの位置を調節します。



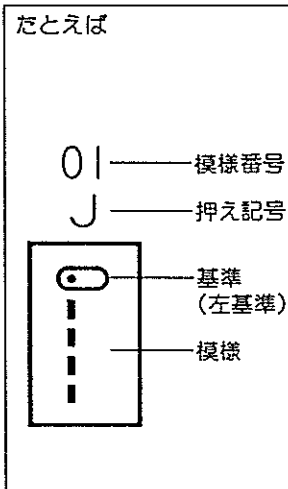
プーリーを回して、針おち位置を確かめます。



ぬってみましょう

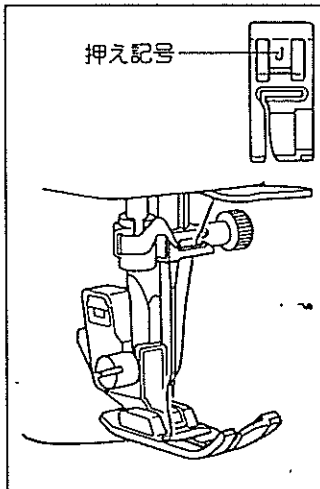
基本操作

1 模様を決めます



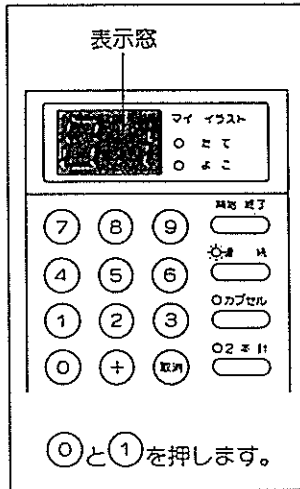
※直線模様(00, 01)に表示されている○、□は基準(押えに対する針おち位置)を示します。

2 押えを付け替えます



模様表示に記されている押えに付け替えます。

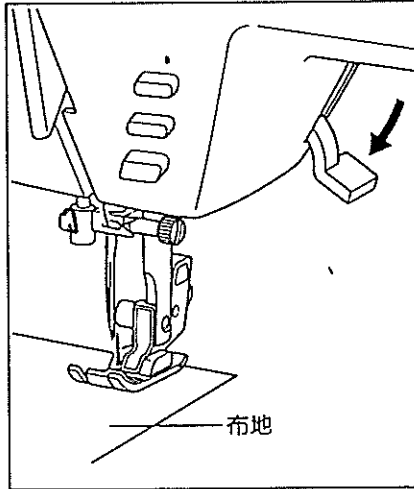
3 模様番号を指定します



模様選択キーを使って模様番号を指定します。
※表示窓には、指定した模様番号が表示されます。

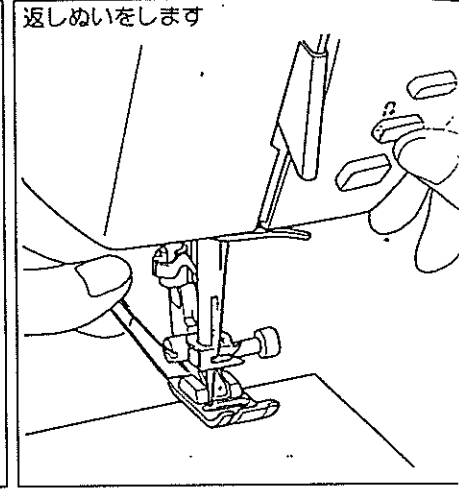
(電源スイッチを入れたときには、必ず表示窓は01と表示されます。)

4 布地を入れ、押えを下げます



※返しぬいをするときは、布地を3~4針ほど奥へ入れます。

5 スタートします



返しぬいスイッチを押し、3~4針返しぬいをします。
※返しぬいスイッチは、押している間返しぬいをします。

ご注意

模様番号は必ず2ケタで指定します。

01、02、03.....09

★模様を変更するには

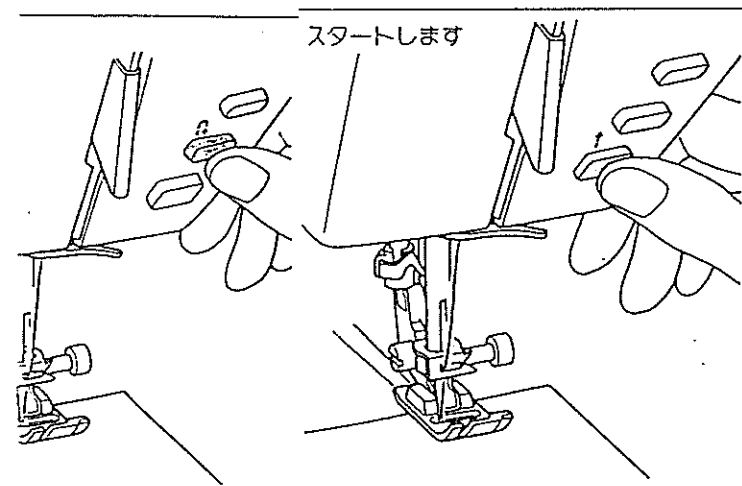
新しい模様番号をそのまま指定します。
表示窓には新しい模様番号が表示され、前の模様番号は自然に消されます。

ワンポイント アドバイス

- 押えあげてこ(押えレバー)について
- 布地を押さえま
- 布地を出し入れすることができま
- 厚地の重ねぬいなど入れにくいときに便利です。

さらにもう1段上がります。

まず

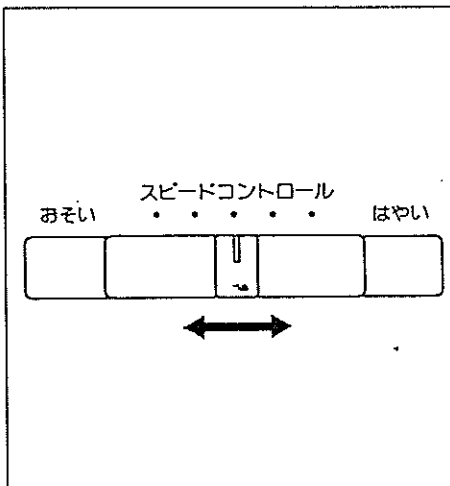


スタートします

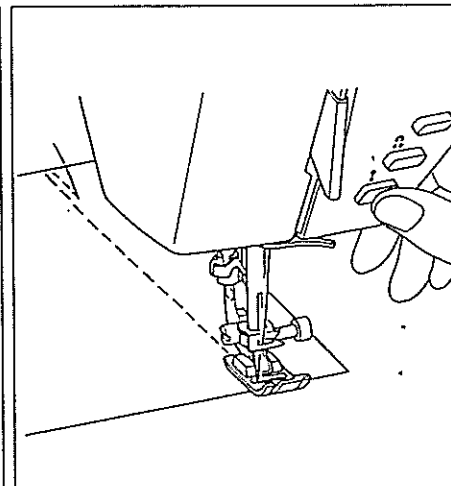
を押し、3~4針返し
は、押している間返

スタート/ストップスイッチを押します。
※スタート/ストップスイッチは押し続けるとその間低速でぬうことができるため、ぬい始めに使うと便利です。

6 ストップします

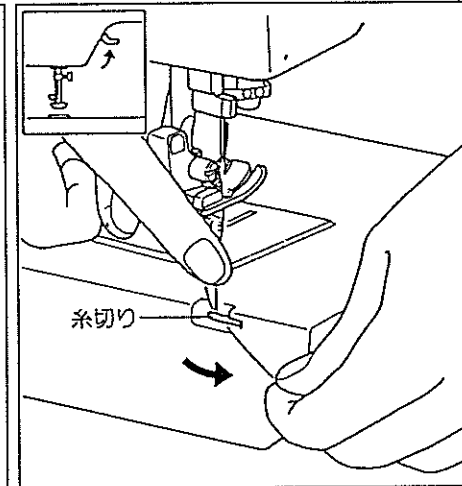


スピードコントロール
おそい はやい



もう1度スタート/ストップスイッチを押すとミシンは止まります。
※ぬい終わりの3~4針返しぬいをします。

7 糸を切ります



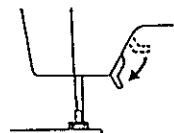
糸切り

の縫ねぬいなど入れ
はとときに便利です。

さらにもう1段
上がります。

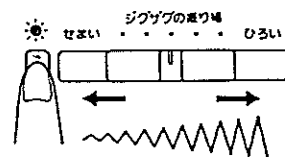
■ エラーメッセージ

“押えレバーを下げて下さい”
押えレバーを下げずにスタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押した場合。

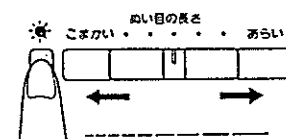


ワンポイントアドバイス

●ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ・ぬい目の長さマニュアルスイッチを押して、調節レバーを操作すると、模様を変化させることができます。



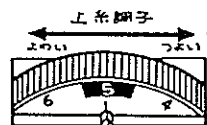
ジグザグの振り幅
せまい ひろい



ぬい目の長さ
こまかい あらい

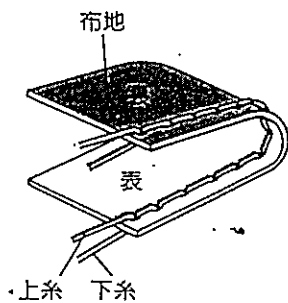
糸調子

通常は上糸調子ダイヤル
5に合わせてください。

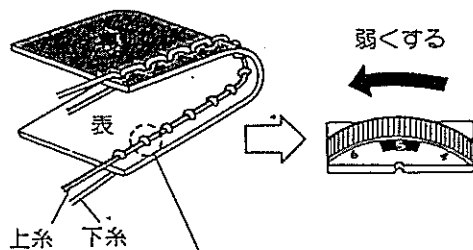


上糸調子ダイヤル

正しい糸調子

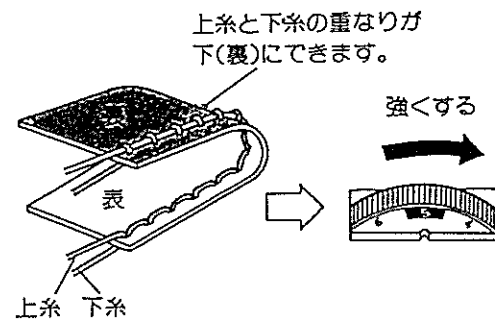


上糸が強い場合



上糸と下糸の重なりが
上(表)にできます。

上糸が弱い場合

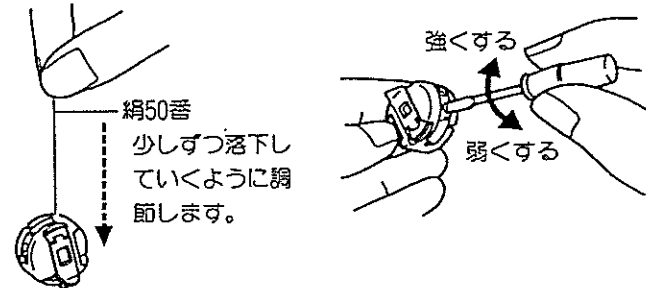


上糸と下糸の重なりが
下(裏)にできません。

糸調子が正しく調節されてい
ないと、ぬい目がきたなく、布地
にしわがよったり糸が切れたり
します。

ワンポイントアドバイス

●下糸の正しい糸調子



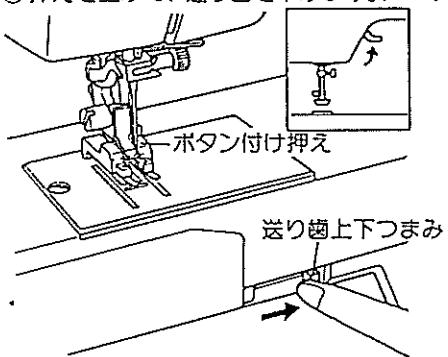
ボタン付け押え(M)の使い方



ボタン付け

1 押え(M)をセットし、送り歯を下げます

- ①ボタン付け押えに付け替えます。
- ②押えを上げて、送り歯を下げます。(▲▲)

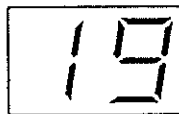


- ▲▲……送り歯が上がり布地を送ります。
- ▲▲……送り歯が下がり布地を送りません。

2 模様番号19を指定します



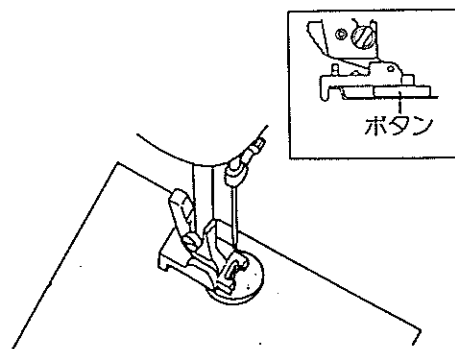
表示窓は



と表示します

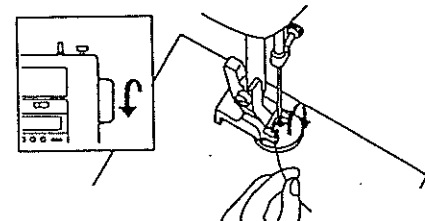
3 押えにボタンをセットします

- ①ボタンを押えにはさみます。
- ②布地のボタン付け位置に押えを下げます。



4 針おち位置を確かめ、スタートします

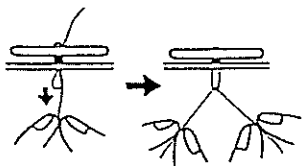
プーリーを回して、針がボタン穴に交互に入るか確かめてスタートします。



- ※ボタン付けは、自動的に止めぬいをし、止まります。
- ※ボタン付けが終わったら、必ず送り歯を上げてください。

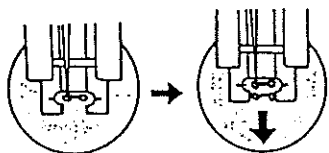
5 糸端を結びます

- ①ぬい始めの上糸と下糸をハサミで切り取ります。
- ②ぬい終わりの下糸で、ぬい終わりの上糸を布地の裏に引き出して、2本を結びます。



ワンポイントアドバイス

- 四つ穴ボタンを付ける場合
手前の二つの穴からぬっていきます。



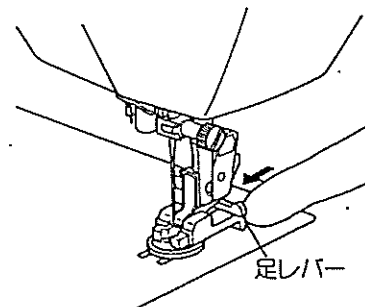
- ボタンをより強く付けたい場合
ボタン付けの操作を2回くり返します。

エラーメッセージ

- “赤いつまみを右にして、送り歯を下げてください”
ボタン付けのときに、送り歯を下げないでスタートした場合。
- “赤いつまみを左にして、送り歯を上げてください”
送り歯を下げたまま、他の模様でスタートした場合。

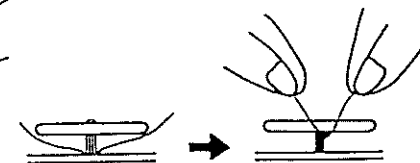
■ボタン足を付ける場合

- ①足レバーを前に出します。



- ②ボタン付けが終わったら

- 1.上糸の両端を、ボタンと布地の間に引き出し、ぬい終わりの上糸をボタン足に巻きつけて結びます。
- 2.下糸は、下糸同志で、布地の裏で結びます。

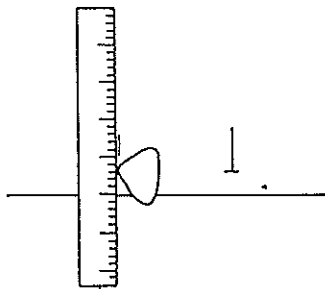


ボタン穴かがり押え(A)の使い方

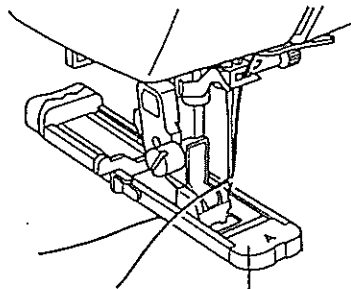


ボタン穴かがり

1 しるしを付けます
ボタン穴の位置をしるしま
す。

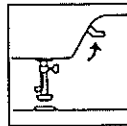


2 押え(A)をセットします



ボタン穴かがり押え

セットしたら、押
えレバーを上げて
おきます。



※(ボタンの直径+厚み)が
3cmまで、ボタン穴か
がりができます。

3 模様番号を指定します

たとえば

1の場合

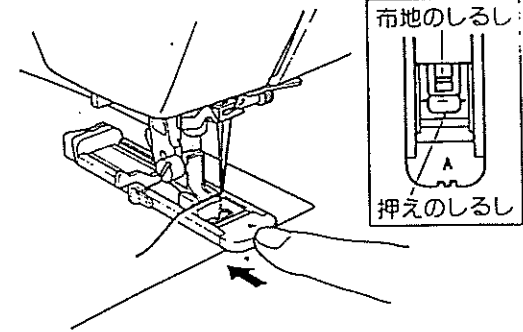


表示窓は



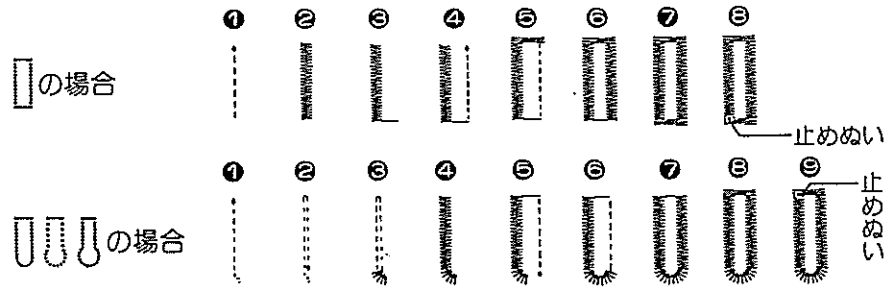
と表示します。

4 布地のしるしに合わせて押えを下げます
布地を入れ、指で押えを押しながら、布
地のしるしに押えのしるしを合わせて押
えを下げます。



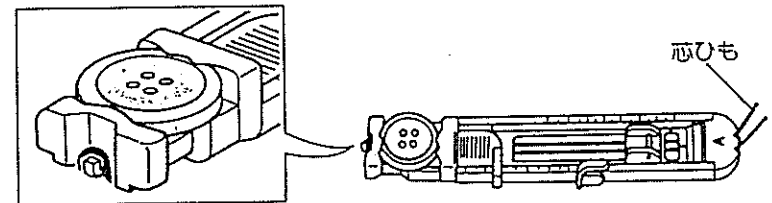
★ボタン穴かがりのぬわれていく順序

(最後の止めぬいは低速でぬい、自動的に停止します。)

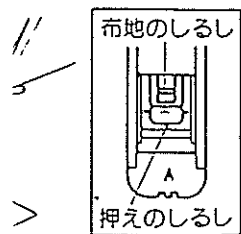


ワンポイントアドバイス

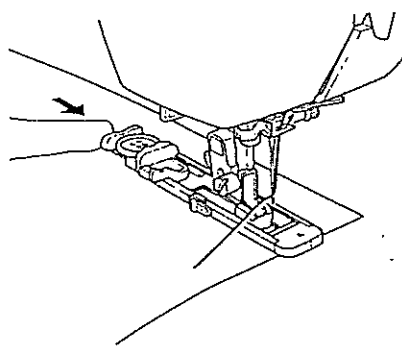
- のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。(ただし□の場合)
- ボタン穴かがりを失敗したときは、糸をほどいて、ぬい直してください。



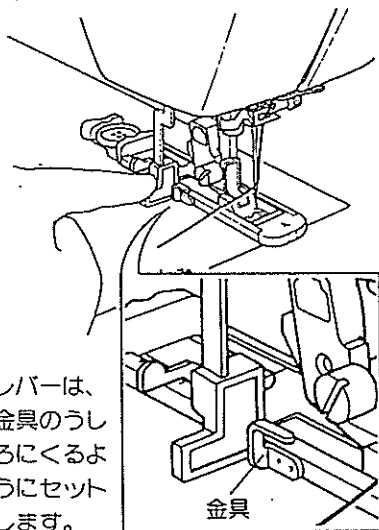
こ押えを下げます
を押しながら、布
らしを合わせて押



5 ボタンをセットします
台皿を引き出し、ボタンをのせては
さみます。



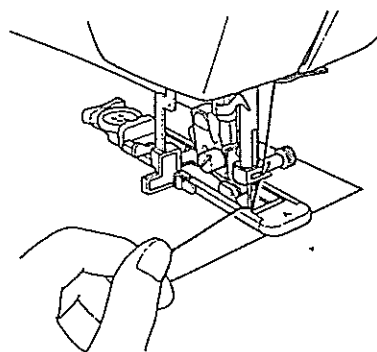
6 ボタン穴かがり用切換レバー
(青いレバー)を下げます



レバーは、
金具のうし
るにくるよ
うにセット
します。

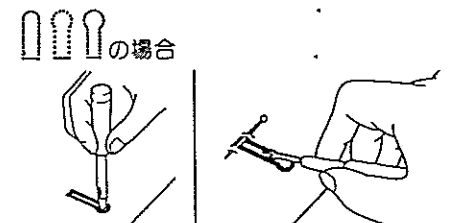
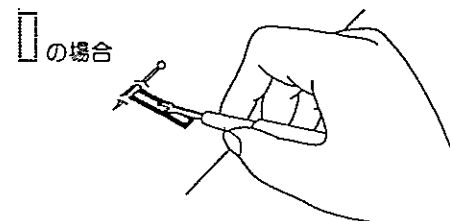
金具

7 スタートします
上糸を持ってスタートします。



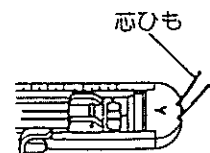
※手は布地にかるくそえてください。
※ぬい終わると自動停止します。

8 リッパーで切りひらきます
かんだめのところにまち針を刺して、リ
ッパーで切り開きます。
※ぬい糸を切らないように注意してください。



※ハトメ穴パンチでハトメに穴をあけてか
ら、リッパーを使用してください。

かがりに芯ひもを入
い直してください。



■ エラーメッセージ

“青いレバーを下げてください”

ボタン穴かがり、かんだめ、ダーニング
のときに、ボタン穴かがり用切換レバ
ーを下げないでスタートした場合。

“青いレバーを上げてください”

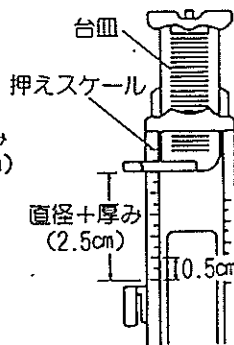
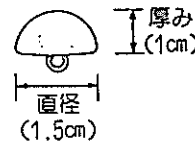
ボタン穴かがり用切換レバーを下げた
まま、他の模様でスタートした場合。

★ ボタンが台皿にのらない場合

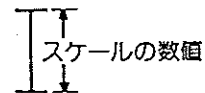
① ボタンの直径と厚みを測ります。

② 押えスケールの目盛りに①の数値をセッ
トします。

(例) 直径1.5cm、厚み1cmのボタンの場合
→スケールを2.5cmにセットしま
す。



③ しるしを付けます。



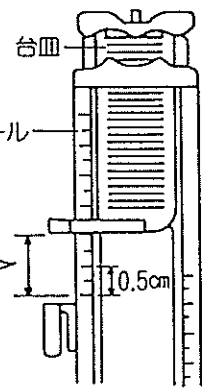
ボタン穴カガリ押え(A)の使い方

かんどめ

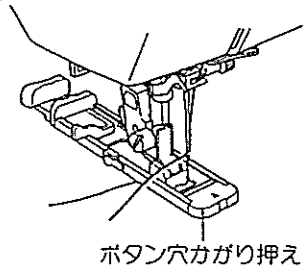
1 押え(A)を用意します
 かんどめの長さを調節します。
 ※かんどめの長さは、用途によって異なりますが、通常0.5cm~1cmの長さで使われます。

台皿をいっぱい押し込んだ状態が0.5cmで、最大3cmまでのかんどめができます。

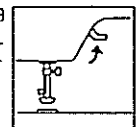
で上がり寸法
 押えスケール数値



2 押え(A)をセットします



セットしたら、押えレバーを上げておきます。



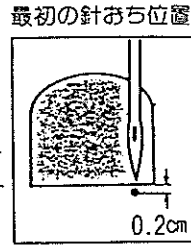
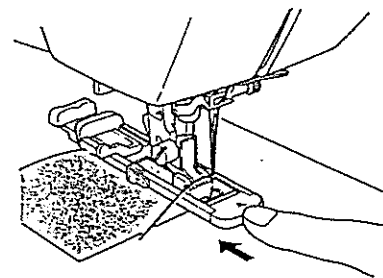
3 模様番号09を指定します



表示窓は

 と表示します

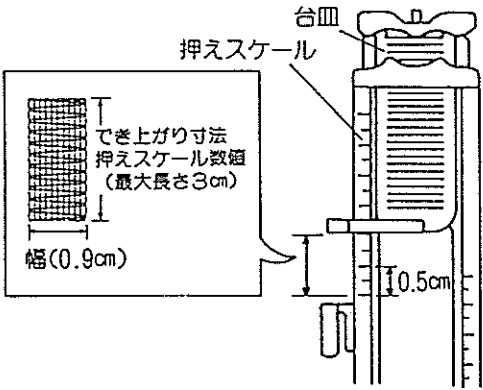
4 布地を押えに合わせて
 ポケット口が手前になるように布地を置き、押えを指で押しながら、最初の針おち位置を確認して押えを下げます。



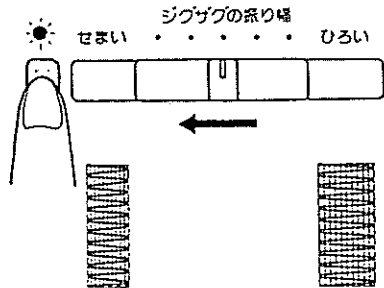
ボタン穴カガリ押え(A)の使い方

ダーニング(つくろいぬい)

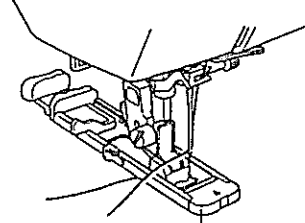
1 押え(A)を用意します
 ダーニングの長さを調節します。



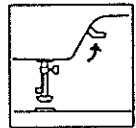
●幅をより細くしたいとき
 ジグザグの振り幅調節レバーで調節します。



2 押え(A)をセットします



セットしたら、押えレバーを上げておきます。



3 模様番号10を指定します

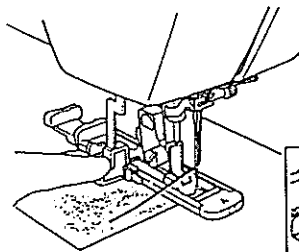


表示窓は

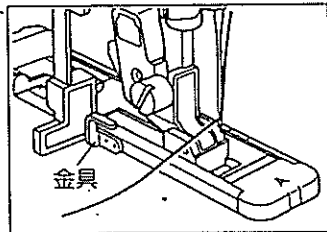
 と表示します

す
に布
がら、
押え

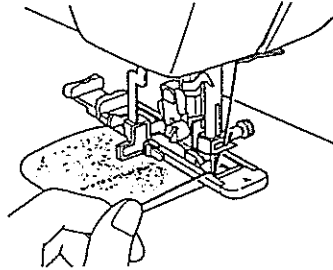
5 ボタン穴かがり用切換レバー(青いレバー)を下げます



レバーは金具のうしろにくるようにセットします。



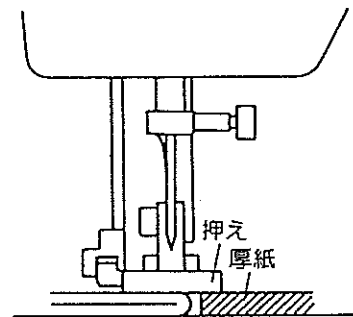
6 スタートします 上糸を持ってスタートします。



※自動的にかんどめをし、止めぬいをして止まります。

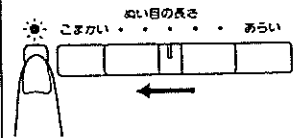
■厚地でかんどめをする場合

押えが水平になるように厚紙を使用します。

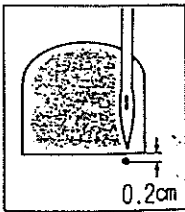


ワンポイント・アドバイス

かんどめのぬい目をより細かくしたいときは、ぬい目の長を調節レバーで調節しましょう。

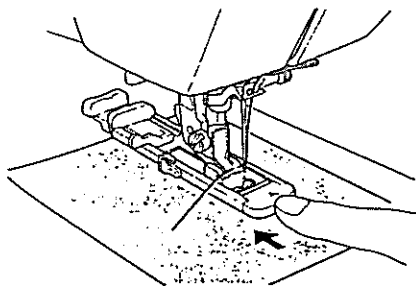


最初の針おち位置

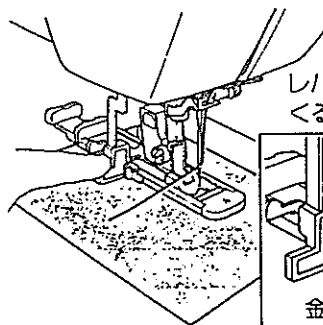


10を指定します

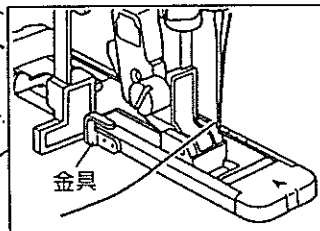
4 布地を押えに合わせます 押えを指で押しながら、ダーニングする場所に押えを合わせて、押えレバーを下げます。



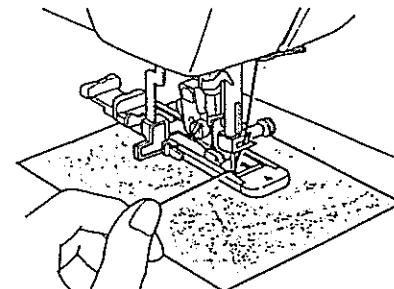
5 ボタン穴かがり用切換レバー(青いレバー)を下げます



レバーは金具のうしろにくるようにセットします。



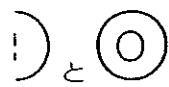
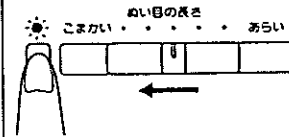
6 スタートします 上糸を持ってスタートします。



※自動的にダーニングをして止まります。

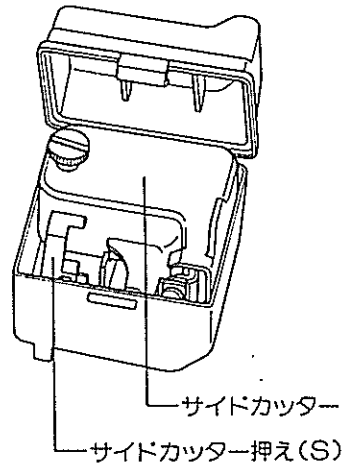
ワンポイント・アドバイス

ダーニングのぬい目をより細かくしたいときは、ぬい目の長を調節レバーで調節しましょう。

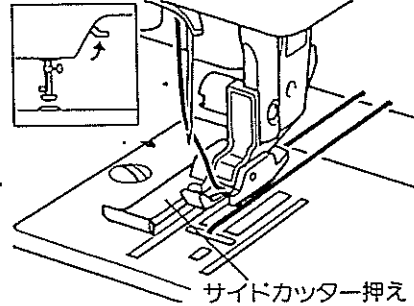


サイドカッターの使い方

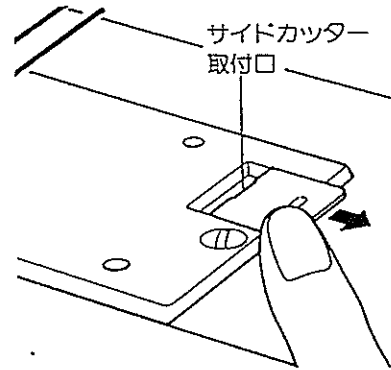
●サイドカッターケース



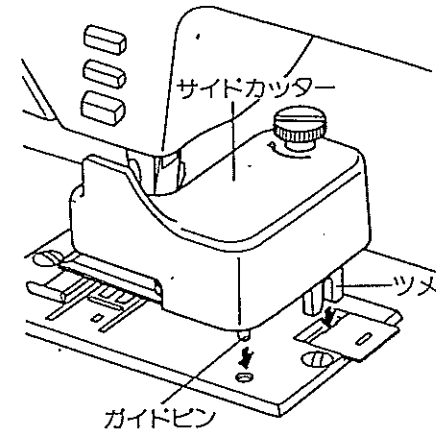
- 1 サイドカッター押え(S)に付け替えます
 ①サイドカッターケースからサイドカッター押えを取り出し、付け替えます。
 ②針に糸が通っていないときは糸通しをして、下糸とともに15cmほど出しておきます。
 セットしたら押えレバーは上げておきます。



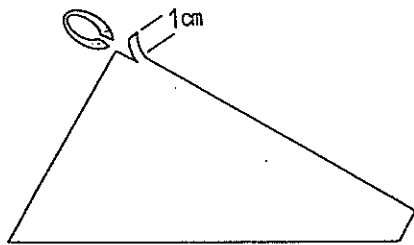
- 2 サイドカッター取付口を開きます
 サイドカッター取付口のふたを右へスライドさせて開きます。



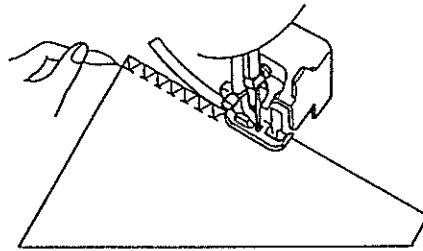
- 3 サイドカッターを取り付けます
 サイドカッターのガイドピンを穴に合わせ、ツメを取付口に差し込みます。



- 6 布地に切り込みを入れます
 布地に1cmほどの切り込みを入れ、ミシンにセットします。



- 7 スタートします
 糸は必ず押えの下をくぐらせ、かるく引っ張りスタートします。

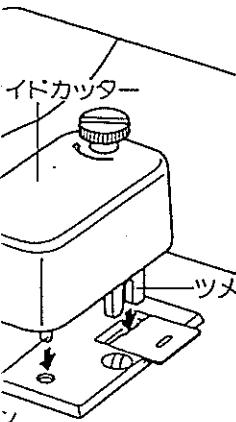


ワシポイント アドバイス

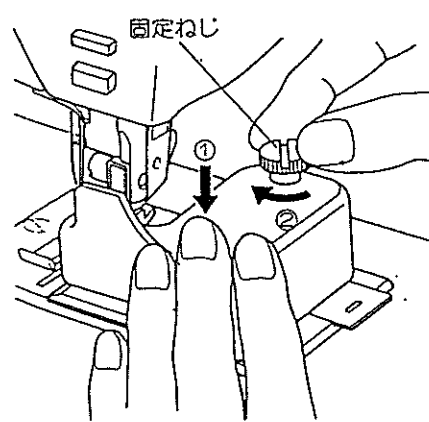
●地ぬいだけの場合
 ぬいしろ分は約0.5cmです。

- ご注意)
- サイドカッター取り付け後の糸通しは、付属のピンセットをご使用ください。
 - サイドカッターとサイドカッター押えは必ず併用してください。
 - サイドカッターはデニム3枚程度までとし、それ以上の厚地では使用しないでください。

側面を取り付けます
ガイドピンを穴に合
付口に差し込みます。



4 ねじを締め固定します
サイドカッターを押さえ、固定ねじを
締め付けます。



5 模様番号を指定します

たとえば

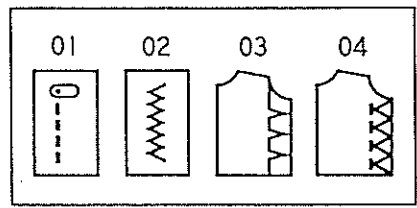


表示窓は



と表示します。

サイドカッター装着後の模様選択は、
下記の模様に限られます。



※布地、用途に合わせて模様、振り幅を
決めてください。
※上記以外の模様を選択中にサイドカッ
ターを取り付けると、自動的に03を選択します。

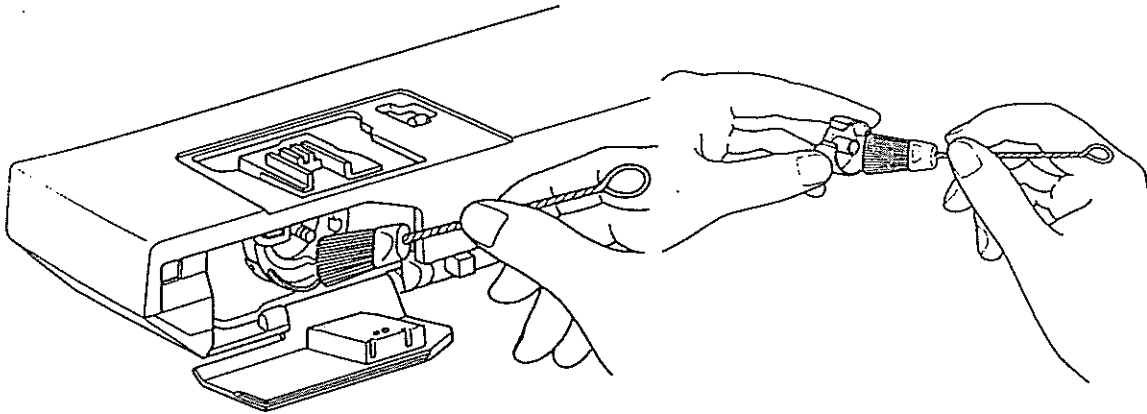
■ エラーメッセージ
"もう一度確認してください"
左記の4種類以外の模様を指定した場合

サイドカッター取り付け後の
は、付属のピンセット
を使用してください。

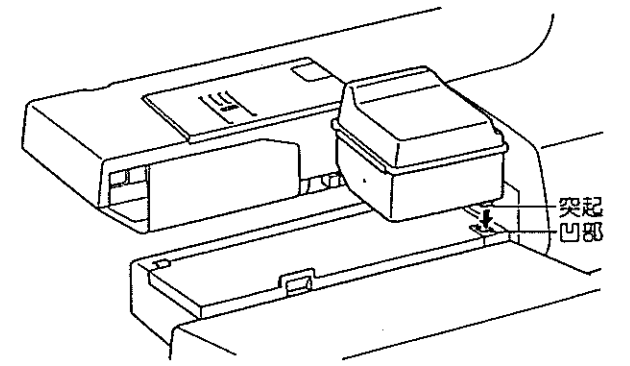
サイドカッターとサイドカッ
ターケースは必ず併用してくだ

サイドカッターはデニム3枚
程度とし、それ以上の厚
で使用しないでください。

● 使用後はきれいにしましょう。
※くずやほこりが付きますので、必ずボビンケース・送り歯・かま内部・センサーを掃除してください。



★サイドカッターケースのしまい方
サイドカッターケースの突起を付属品ケース右端の凹部に
合わせます。



メッセージ模様

ぬい方

■メッセージ模様の切り換え方

A面模様

表示板きりかえレバーを左にすると模様表示板がA面に切り換わり、A面の模様をぬうことができます。

表示板きりかえ

[A] 押え記号 N		35	一	41	二	47	三	53	四	59	五	65	六	71	七	77	八	83	九	89	十	91	月	93	時				
20	あ	25	か	30	さ	36	た	42	な	48	は	54	ま	60	や	66	ら	72	ん	78	二	84	才	90	年	92	日	94	分
21	い	26	き	31	し	37	ち	43	に	49	ひ	55	み	61	ゆ	67	り	73	や	79	三	85	小						
22	う	27	く	32	す	38	つ	44	ぬ	50	ふ	56	む	62	よ	68	る	74	ゆ	80	一	86	中						
23	え	28	け	33	せ	39	て	45	ね	51	へ	57	め	63	わ	69	れ	75	よ	81	学	87	組						
24	お	29	乙	34	そ	40	と	46	の	52	ほ	58	も	64	を	70	ろ	76	つ	82	校	88	生						

マイ イラスト
 95 96 97 98 99

B面模様

模様板きりかえレバーを右にすると模様表示板がB面に切り換わり、B面の模様をぬうことができます。

表示板きりかえ

[B] 押え記号 N		40	U	46	.	52	2	58	B	64	♡	70	☺	76	☺	82	☺	88	☺	94	☺						
20	△	25	F	30	K	35	P	41	V	47	?	53	3	59	9	65	♡	71	☺	77	☺	83	☺	89	☺	95	☺
21	□	26	G	31	L	36	Q	42	W	48	/	54	4	60	☺	66	☺	72	☺	78	☺	84	☺	90	☺	96	☺
22	C	27	H	32	M	37	R	43	X	49	_	55	5	61	☺	67	☺	73	☺	79	☺	85	☺	91	☺	97	☺
23	D	28	I	33	N	38	S	44	Y	50	O	56	6	62	☺	68	☆	74	☺	80	☺	86	☺	92	☺	98	☺
24	E	29	J	34	O	39	T	45	Z	51	1	57	7	63	☺	69	☺	75	☺	81	☺	87	☺	93	☺	99	☺

カプセル模様

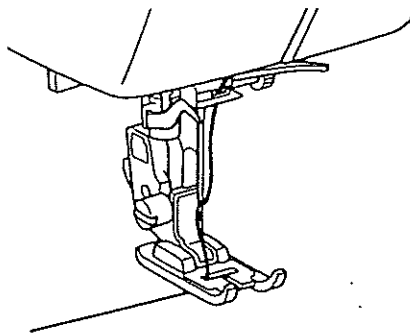
カプセルキーを押すとランプが点灯し、カプセル模様をぬうことができます。

カプセル

[00~95: 押え記号 N / 96~99: 押え記号 J]		35	ヤ	41	レ	47	イ	53	ヨ	59	C	65	i	71	O	77	U	83	LOVE	89	ℓ	95	☺												
00	ア	05	カ	10	サ	15	タ	20	ナ	25	ハ	30	マ	36	コ	42	ク	48	ケ	54	コ	60	d	66	j	72	P	78	V	84	TOP	90	d	96	☺
01	イ	06	キ	11	シ	16	チ	21	ニ	26	ヒ	31	ミ	37	ヨ	43	ワ	49	オ	55	☺	61	e	67	k	73	q	79	W	85	PARTY	91	☺	97	☺
02	ウ	07	ク	12	ス	17	ツ	22	ヌ	27	フ	32	ル	38	ラ	44	ヲ	50	ッ	56	_	62	f	68	l	74	r	80	X	86	HELLOW	92	☺	98	☺
03	エ	08	ケ	13	セ	18	テ	23	ネ	28	ヘ	33	メ	39	リ	45	ン	51	ヤ	57	a	63	g	69	m	75	s	81	y	87	ADDRESS	93	☺	99	☺
04	オ	09	コ	14	ソ	19	ト	24	ノ	29	ホ	34	モ	40	ル	46	ア	52	コ	58	b	64	h	70	n	76	t	82	Z	88	☺	94	☺		

■ 単独ぬいと連続ぬい

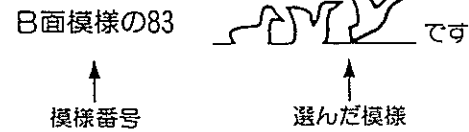
1 押え(N)をセットします



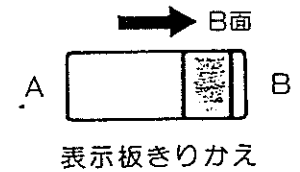
2 模様を選びます



3 選んだ模様の模様番号を調べます



4 メッセージ模様を切り換えます

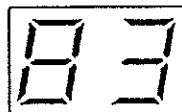


※ 2 で選んだ模様がかプセル模様の場合は、カプセルキーを押します。

5 模様番号を指定します



表示窓は



と表示します

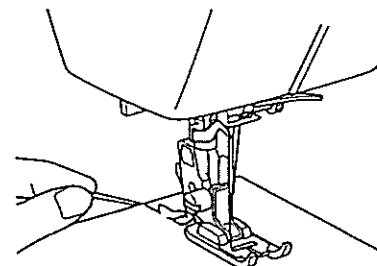
単独ぬいの場合

連続ぬいの場合
連続キーを押します。



6 スタートします

上糸と下糸を左へ出して押えを下げ、スタートします。

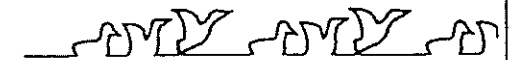


ぬい上がり

単独ぬいの場合……1 模様ぬって自動的に止まります。



連続ぬいの場合……スタート/ストップキーを押して止めます。



91 月 93 時
92 日 94 分

イラスト

96 97 98 99

94 ☆☆☆

95 ☆☆☆☆

96 ☆☆☆☆

97 ☆☆☆☆

98 ☆☆☆☆

99 ☆☆☆☆

95 ☆☆☆☆

96 ☆☆☆☆

97 ☆☆☆☆

98 ☆☆☆☆

99 ☆☆☆☆

99 ☆☆☆☆

■ 組み合わせぬい

1 組み合わせを考えます

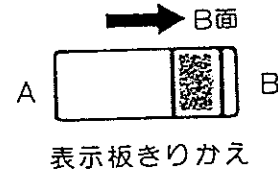


2 模様番号を調べます

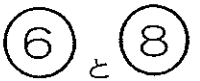
B面模様
68 + 66 + 68



3 メッセージ模様を切り換えます



4 模様番号を指定します



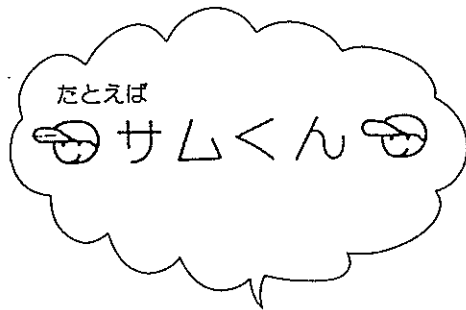
表示窓は



と表示します

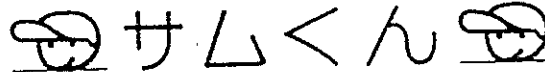
A面模様・B面模様・カプセル模様を組み合わせる場合

1 組み合わせを考えます

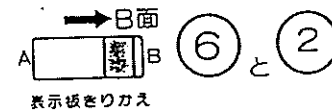


2 模様番号を調べます

B面 カプセル カプセル A面 A面 B面
62 + 10 + 32 + 27 + 72 + 62



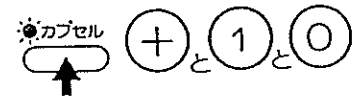
3 模様番号を指定します



表示窓は



と表示します



表示窓は



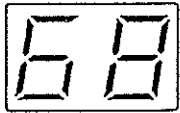
と表示します

※メッセージ模様を切り換えてから模様番号を指定してください。

番号を指定します



表示窓は



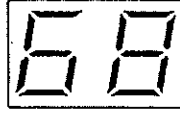
と表示します

表示窓は



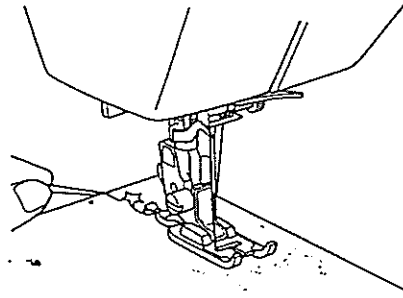
と表示します

表示窓は



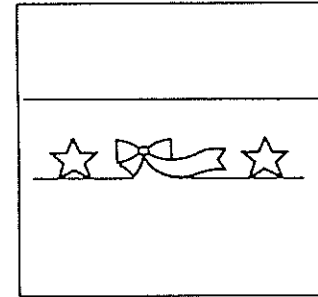
と表示します

5スタートします



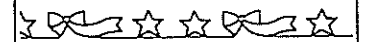
※一組ぬって、自動的に止まります。

ぬい上がり

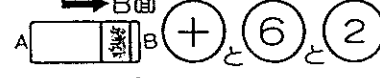
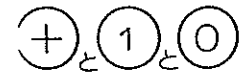


ワンポイントアドバイス

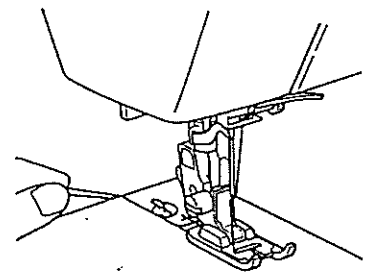
連続キーを押すことにより、
組み合わせたパターンで連続
ぬいができます。



※連続ぬいの場合、スター
ト/ストップキーを押して
止めます。



4スタートします



※一組ぬって自動的に止ま
ります。

表示窓は



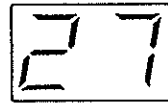
と表示します

表示窓は



と表示します

表示窓は



と表示します

表示窓は



と表示します

表示窓は



と表示します

指定してください。

■濁点模様の組み合わせ

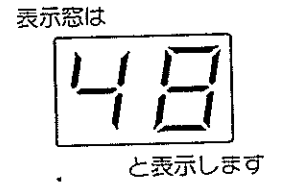
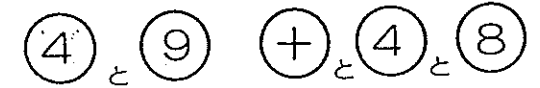
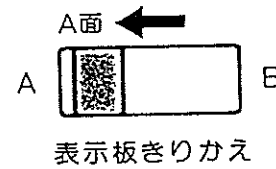
1 組み合わせを考えます 2 模様番号を調べます

3 メッセージ模様を切り換えます

4 模様番号を指定します



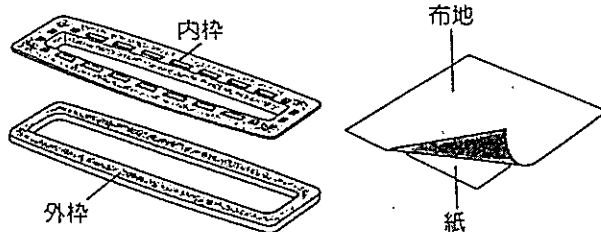
A面模様
49 + 48 + 78 + 67
ひは □ り



ワンポイントアドバイス

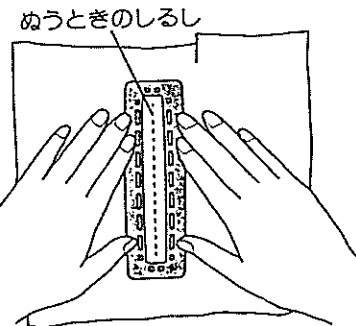
●ぬいにくい布地のときには

刺しゅう枠を使用するか、布地の下に紙を敷いてぬうと、きれいに仕上がります。また、伸縮性のある布地や、薄地で目とびのしやすい布地の場合には、ゴールド針と合わせてご使用ください。



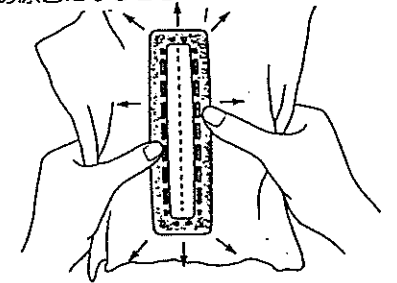
●刺しゅう枠の使い方

1 外枠の上に布地を置き、内枠をはめます。



2 ゆるみのないように布地を張ります。

※布地にゆるみがあると、目とび、布ちぢみの原因になることがあります。



す

5 スタートします

と 4 と 8

と + と 7 と 8

と + と 6 と 7

は
18

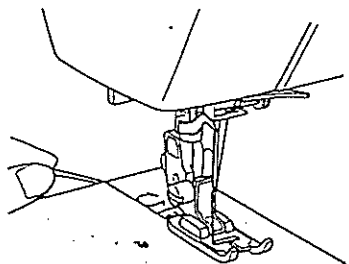
表示窓は
78

表示窓は
67

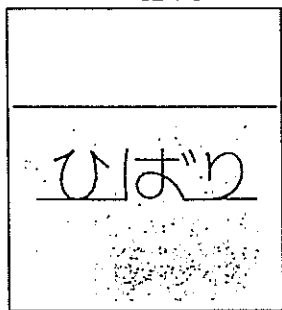
と表示します

と表示します

と表示します



ぬい上がり



※一組めって自動的に止まります。

■ エラーメッセージ

“もう一度確認してください”

- 模様番号を2ケタで指定しないでスタートした場合。
- 濁点□、半濁点□の模様番号のみを指定した場合。
- 濁点や半濁点が付けられる文字以外の模様、濁点や半濁点を組み合わせた場合。

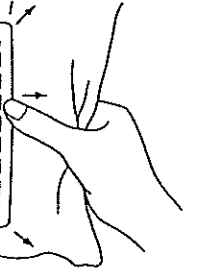
“これ以上は入りません”

- 20模様を超える組み合わせをした場合。
- ※濁点、半濁点は組み合わせた文字と合わせて、1模様とみなします。

“この模様は組み合わせができません”

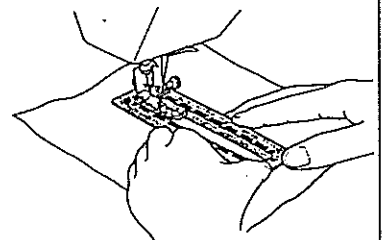
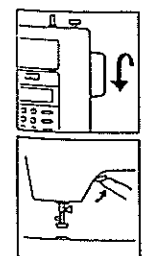
- 実用ぬい模様を組み合わせた場合。

生地を張ります。
と、目とび、布ちぢみ
があります。




3 かるく手をそえてぬいます。

※刺しゅう枠は、プーリーを回して針を最上位置で止め、押えあげてこをいっぱい押し上げたままセットします。



★ 模様の変形を整える場合

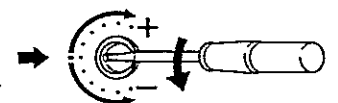
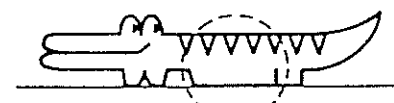
B面模様の84  で調節してください。

- ①ぬい目の長さマニュアルランプ・ジグザグの振り幅マニュアルランプが消えていることを確認します。
- ②B面模様の84を選択してぬってみます。
- ③ぬい上がりを下図の正しい模様と比較してみます。

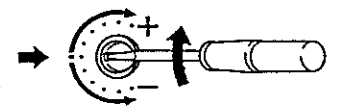


正しい模様

④模様が変形していたら、ぬい目の長さ微調節を回し正しい模様に合わせます。



ぬい目の長さ微調節



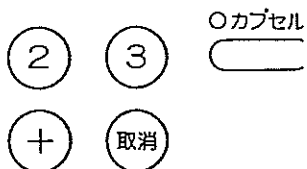
ぬい目の長さ微調節

後足に注目!!

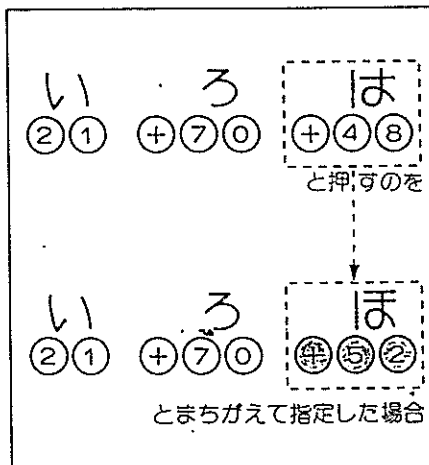
訂正のしかた

組み合わせ模様で模様番号をまちがえて指定した場合、取消キーを押すと、取り消すことができます。

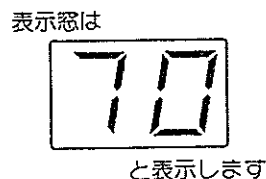
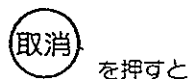
※取消キーは1回押すごとに、最後に指定した模様番号から順に取り消していきます。



●模様番号をまちがえて指定した場合



1 取消キーを押します
1回押すとまちがえた箇所が取り消されます。



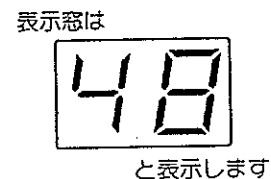
※⊕ⓅⓆが取り消されます。

2 組み合わせキーを押します

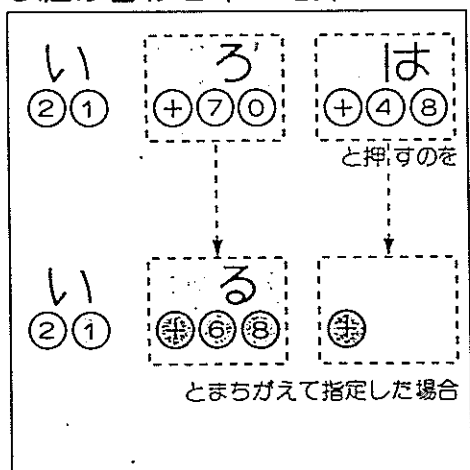


※取消キーを押すと⊕も取り消されるため必ず⊕キーを押してください。

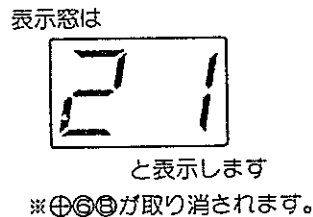
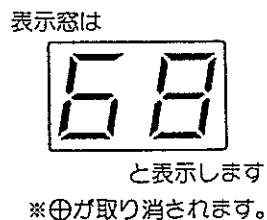
3 正しい模様番号を指定します



●組み合わせキーを押してからまちがいに気づいた場合



1 取消キーを2回押します
1回押すと組み合わせキー⊕が取り消され、もう1回押すとまちがえた箇所が取り消されます。

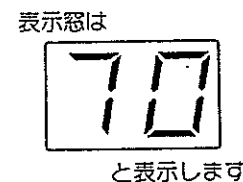


2 組み合わせキーを押します



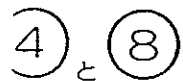
※取消キーを押すと⊕も取り消されるため必ず⊕キーを押してください。

3 正しい模様番号を指定します



④模様番号を指定している途中でまちがいに気づいた場合

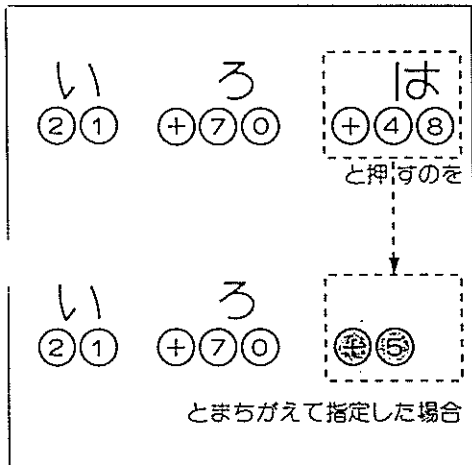
い模様番号を指
ます



は



と表示します

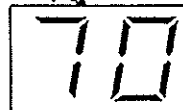


1 取消キーを押します
1回押すとまちがえた箇所が
取り消されます。



を押すと

表示窓は



と表示します

※~~4~~が取り消されます。

2 組み合わせキーを押します

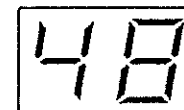


※取消キーを押すと~~+~~
も取り消されるため
必ず~~+~~キーを押して
ください。

3 正しい模様番号を指定します



表示窓は



と表示します

④濁点模様をまちがえて指定した場合

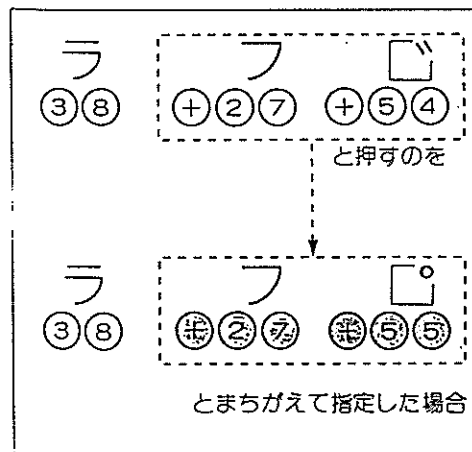
しい模様番号を
定します



示窓は



と表示します



1 取消キーを押します
1回押すと濁点だけでなく、濁点を組み合
わせた文字もいっしょに取り消されます。



を押すと

表示窓は



と表示します

※~~27~~~~+~~~~54~~が取り消されます。

2 組み合わせキーを
押します



※取消キーを押すと~~+~~
も取り消されるため
必ず~~+~~キーを押して
ください。

3 正しい模様番号を指定します

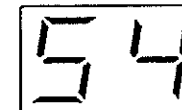


表示窓は



と表示します

表示窓は



と表示します

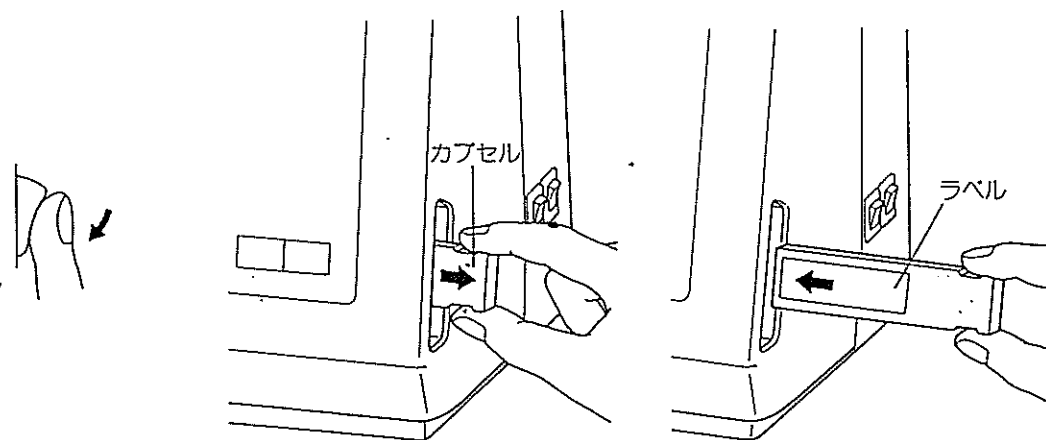
カプセルについて

別売りのカプセルに付け替えると、より多くのメッセージ模様を楽しめます。

1 電源スイッチを
切ります

2 カプセルを引き抜きます

3 他のカプセルを奥までいっ
ぱいに差し込みます

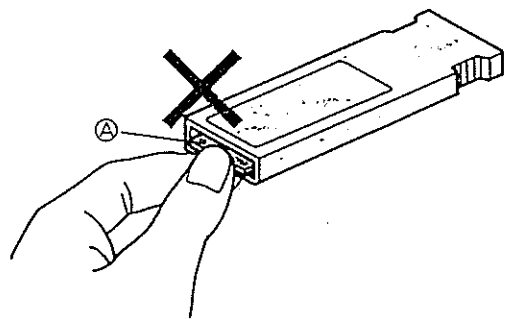


ご注意

●カプセルのA部は、指で触れないでください。
故障の原因になります。

●電源が入ったまま、カプセルを着脱しな
いでください。

●カプセルキーを押してもランプが点灯し
ないときは、カプセルをしっかりセット
し直してください。



マイイラスト

マイ イラスト

95 96 97 98 99

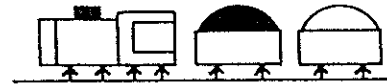
- A面のマイイラスト、95～99番の5種類は、あなた
の考えた模様を記憶します。（電源を切っても約24
時間記憶しています。）
- 記憶させた番号に、さらに模様を記憶させると前の
データは消えます。
- ミシンに記憶させた模様は、メッセージ模様と同じ
方法でぬうことができます。
- マイイラストは、メッセージ模様との組み合わせも
できます。

模様の考え方

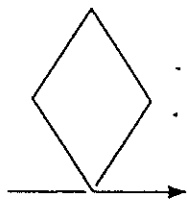
■ 模様の考え方として、メッセージ模様を参考にしましょう

● ぬってみたい模様を、一筆書きの要領で描きます

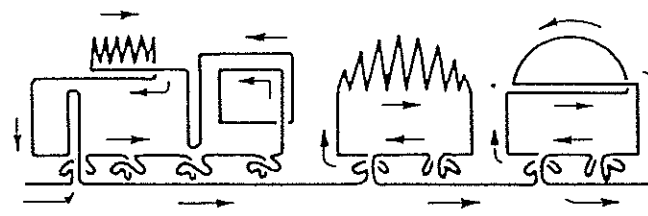
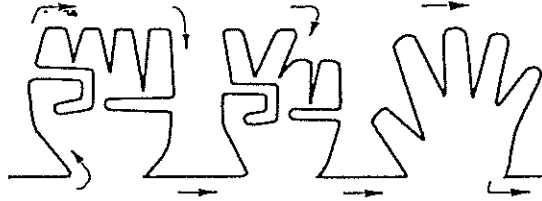
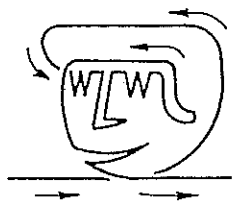
ぬう順序によってきれいな仕上がりになります。



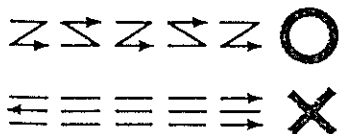
基本的に



の順でぬいます



● 太い線にしたいときは…
三重ぬいの要領で行います。

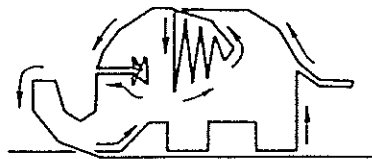


例えば

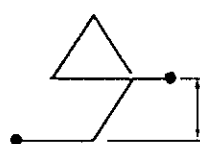
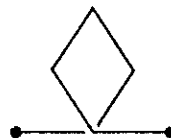


● 細かいジグザグが入るときは…
細かいジグザグ模様は、図のように右方向へぬいます。

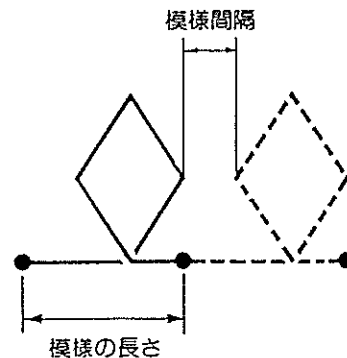
例えば



● 模様の描き始めと、描き終わりの高さを同じにします



● 次の模様までの間隔を取り
ます



の5種類は、あなた
電源を切っても約24

を記憶させると前の

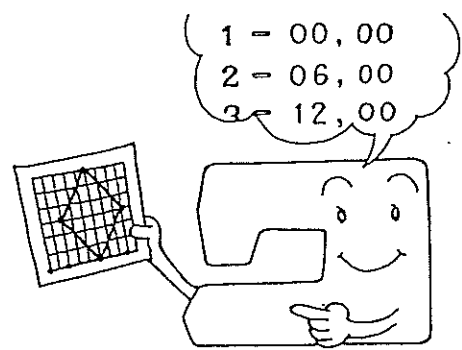
ッセージ模様と同じ

様との組み合わせも

データの作り方

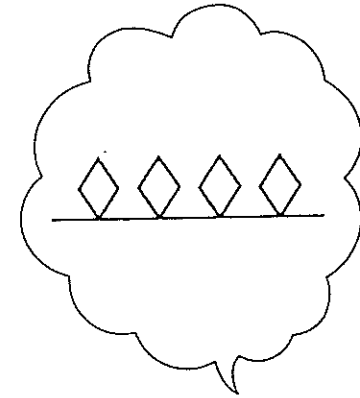
■ 模様をマシンに記憶させるには

1 マシンは模様を記憶するのではなく、模様を数値（データ）におき変えて記憶します。

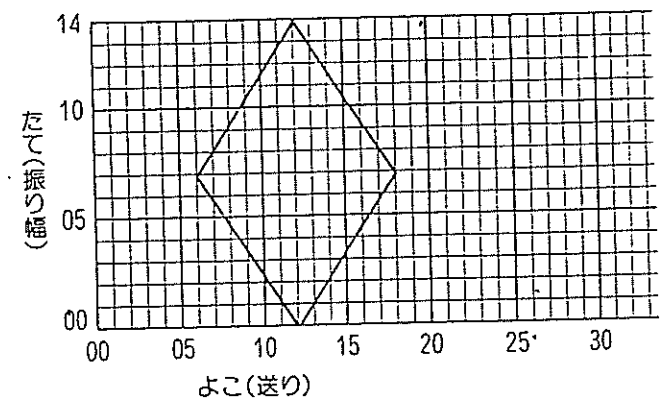


■ 順序よく作りましょう

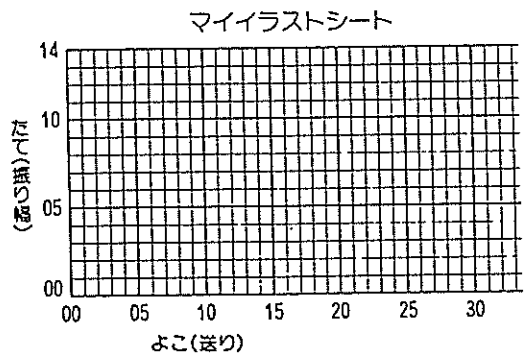
例えば、下図のような模様のデータを作ってみます。



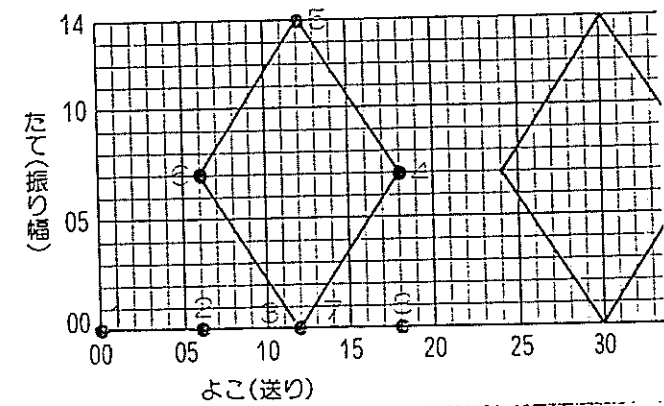
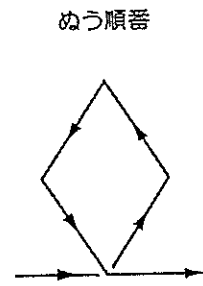
1 マイイラストシートに模様を描きます
模様はマイイラストシートのグラフ内に描きます。



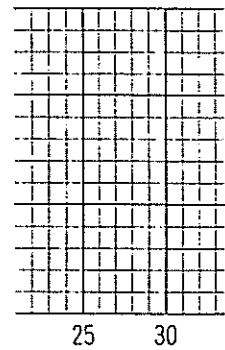
2 模様を数値におき変えるために、マイイラストシートを使います。



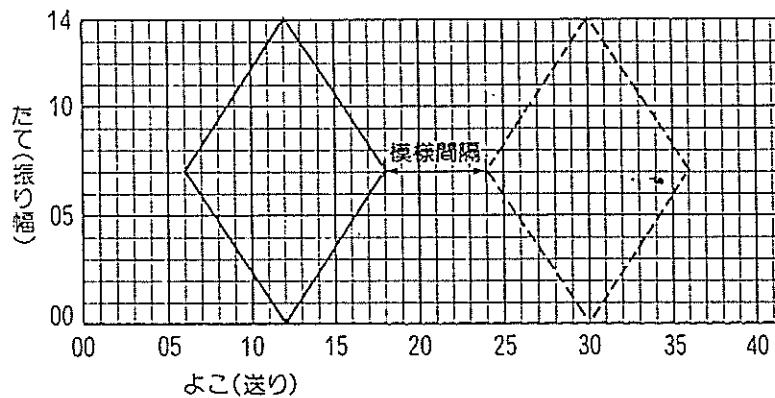
4 ぬう順番に番号を付けます



苗きます
に描きます。



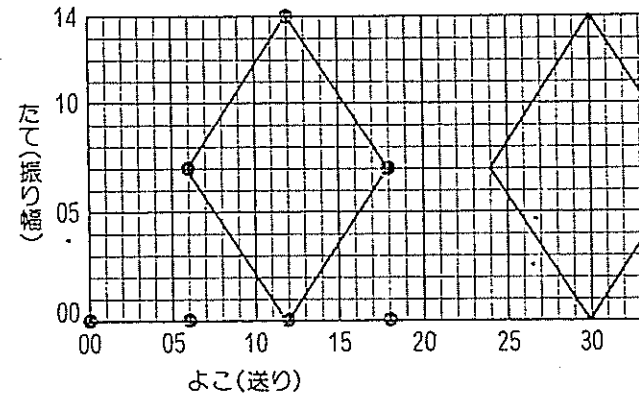
2 模様間隔を決めます



3 目盛りとの交点に点(針おち位置)を付けます

針が一度に移動できる範囲は、よこ方向に6目盛以内です。

※点の数は70以内で付けてください。

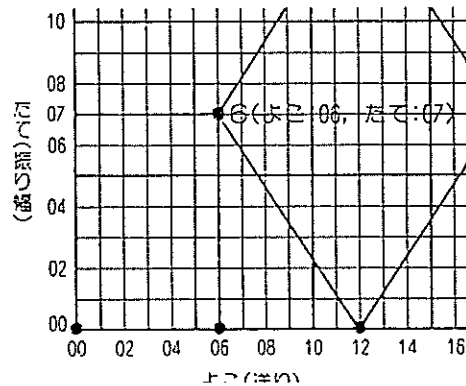


ワンポイントアドバイス

ぬい目の長さは、模様を美しく仕上げるための大切なポイントです。次の事に気を配りましょう。

- ぬい目の長さをそろえます。
- 1針での移動長さは、2~5目盛が最適です。

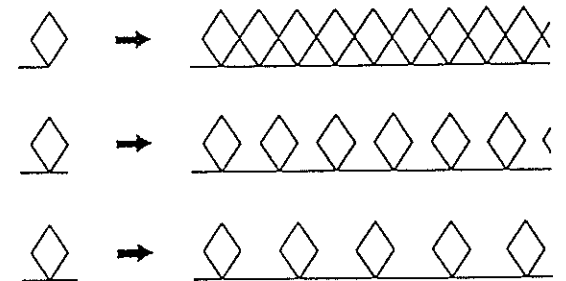
5 データ表に点の位置を記入します



ぬい順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9
よこ	00	06	12	18	12	06	12	18	24
たて	00	00	00	07	14	07	00	00	00

ワンポイントアドバイス

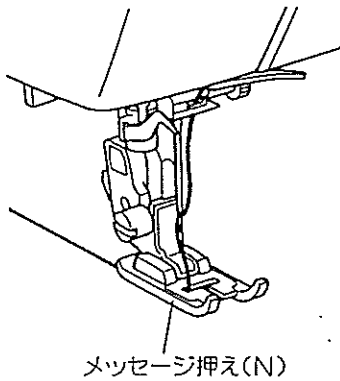
模様間隔のちがいにより、一つの模様からいろいろなパターンが作り出せます。



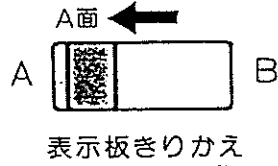
データの入力方法

ぬう順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9
よこ	00	06	12	18	12	06	12	18	24
たて	00	00	00	07	14	07	00	00	00

1 押え(N)をセットします



2 表示板きりかえレバーを左にしてA面にします



3 マイイラストの模様番号を指定します

たとえば

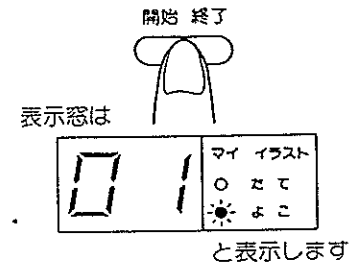


表示窓は



と表示します

4 開始/終了キーを押します



表示窓…

インプットするデータのぬう順番を表示します。

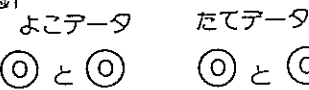
たて/よこランプ… たてデータか、よこデータのどちらをインプットするかを表示します。

5 模様選択キーでデータをインプットします

1針目のデータを入れます。

ぬう順番	1
よこ	00
たて	00

1針

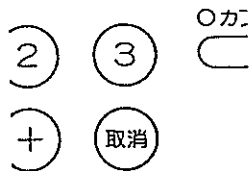


※データは、よこ・たての順にインプットします。

★インプットをまちがえたとき

取消キーを押します。

※取り消しは、1回押すごとに最後にインプットした番号から順に取り消していきます。



例1

ぬう順番	1	2	3	4	5
よこ	00	06	12	18	12
たて	00	00	00	07	14

とインプットするのを

ぬう順番	1	2	3	4	5
よこ	00	06	12	18	12
たて	00	00	00	07	04

とインプットした場合

1 取消キーを押します



まちがえた箇所



と表示します

※ぬう順番5のたてデータ04が消えます。

2 正しい番号を押します



表示窓は



と表示します

※残りのデータをインプットしていきます。

例2

途中でのまちがいに気がついた場合

ぬう順番	5	6	7	8	9
よこ	12	06	12	18	24
たて	14	07	00	00	00

とインプットするのを

ぬう順番	5	6	7	8	9
よこ	12	06	12	18	24
たて	14	07	10	00	00

とインプットした場合

キーでデータをインプットします
データを入れます。

	ぬう順番	1
	よこ	00
	たて	00

データ たてデータ
: ① ①と①

データは、よこ・たての順で
インプットします。

2針目のデータを入れます。

	ぬう順番	2
	よこ	06
	たて	00

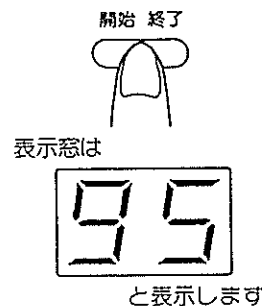
2針

よこデータ たてデータ
: ①と⑥ ①と①

3針～9針のデータを入れます。

ぬう順番	3	4	5	6	7	8	9
よこ	12	18	12	06	12	18	24
たて	00	07	14	07	00	00	00

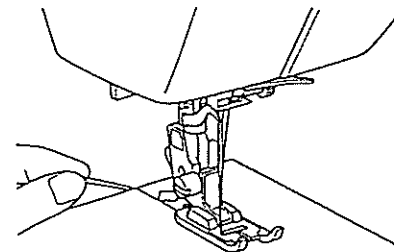
6 開始/終了キーを押します



※開始/終了キーを押さないでスタートすると低速で試しぬいをし、インプットした模様(データ)の確認ができます。

7 スタートします

上糸と下糸を左へ出して押えを下げ、スタートします。



まちがいに気がついた場合

5	6	7	8	9
12	06	12	18	24
14	07	00	00	00

インプットするのを

5	6	7	8	9
12	06	12	18	24
14	07	10	00	00

インプットした場合

1 取消キーを押します
表示窓にまちがえた箇所が表示されるまで取消キーを押します。

取消 を5回押します

まちがえた箇所

	マイ イラスト
	○ たて
	● よこ

と表示します

※うしろのデータから
00, 24, 00, 18, 10
に消えます。

2 正しい番号を押します



表示窓は

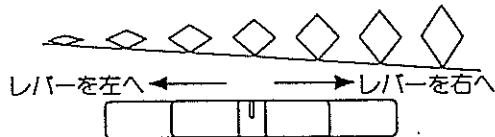
	マイ イラスト
	○ たて
	● よこ

と表示します

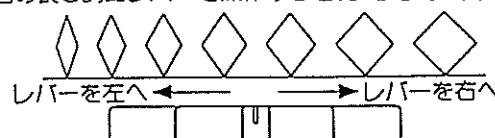
残りのデータをインプット
していきます。

ワシポイントアドバイス

- ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ・ぬい目の長さマニュアルスイッチを操作すると、模様の変化が楽しめます。
- ジグザグの振り幅調節レバーを操作すると、たて方向に変化します。



- ぬい目の長さ調節レバーを操作すると、よこ方向に変化します。




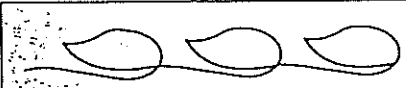
エラーメッセージ

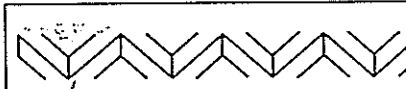
“もう一度確認してください”

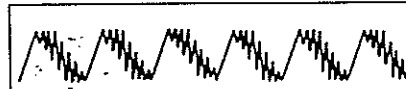
- よこデータをインプットした場合
よこ方向の針移動可能範囲(6目盛)を越えてデータをインプットしたとき。
 - たてデータをインプットした場合
たて方向の針移動可能範囲(14目盛)を越えてデータをインプットしたとき。
- “これ以上は入りません”
70番目(ぬう順番の番号)のデータをインプットし終わつたとき。

マイイラスト作品例

											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
										よこ	00	06	09	12	15	19	25	31	37	43	46	47	47	46	43	37	31	28	27	27
										たて	14	13	11	07	04	02	01	00	00	01	03	06	08	11	13	14	13	11	08	06
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
28	31	37	40	41	40	37	34	33	34	37																				
03	01	00	02	04	06	07	08	10	12	14																				

											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
										よこ	00	04	10	16	22	28	33	39	41	41	39	35	30	26	23	19	15	09	13	19
										たて	04	04	03	02	01	00	00	02	04	08	11	13	14	14	13	11	10	11	07	04
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
25	31	36	41																											
03	02	03	04																											

											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
										よこ	00	04	09	04	00	00	05	09	13	18	18	14	09	14	18	22	27	22	18	18
										たて	07	04	00	04	07	14	10	07	04	00	07	10	14	10	07	10	14	10	07	00
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
23	27	31	36	36	32	27	32	36																						
04	07	10	14	07	04	00	04	07																						

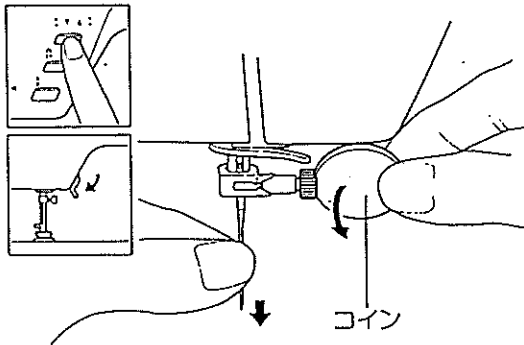
											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
										よこ	00	02	04	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
										たて	00	04	08	14	12	14	09	14	06	14	03	11	00	08	00	05	00	02	00	
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	

針とランプの交換

針の付け替え方

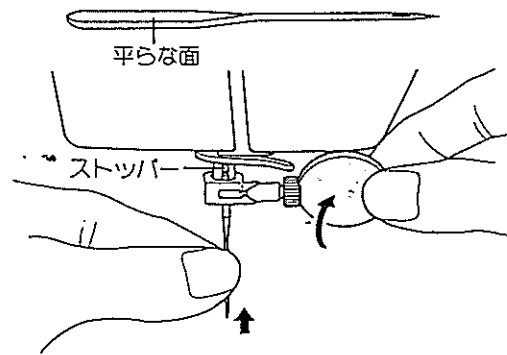
1. 針を取りはずします

- ① 針上下スイッチで針を上げ、押えを下げます。
- ② ねじをゆるめ、針を抜きます。



2. 針を取り付けます

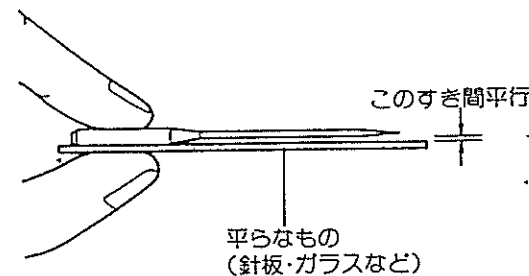
- 針の平らな面をうしろにして、ストッパーに当たるまで差し込み、ねじを締めます。



ワンポイントアドバイス

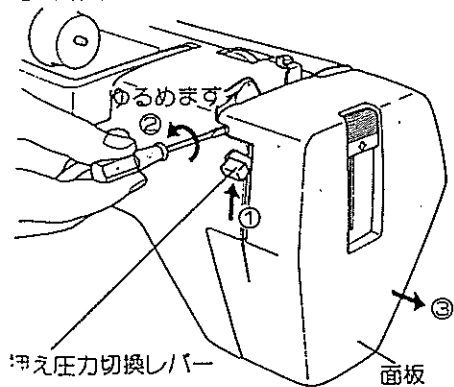
●正しい針の調べ方

針の平らな面に、平らなものをあて、針とのすきまが平行なものが正しい針です。

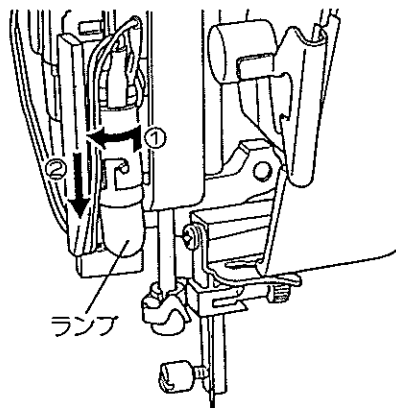


ランプの交換 ※ランプ(12V4W)は最寄りのブラザー販売店でお求めください。

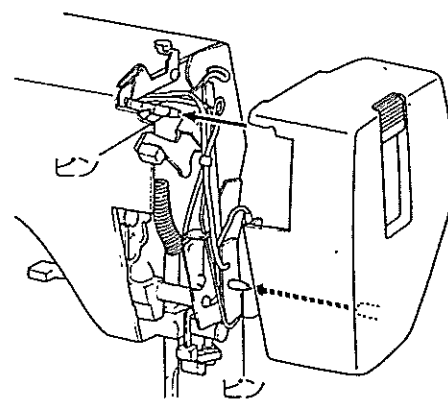
- ① 押え圧力切換レバーを上げます。
- ② 面板のねじをゆるめ、
- ③ 面板を取りはずします。



- ④ ランプを矢印の方向へ動かして取り替えます。

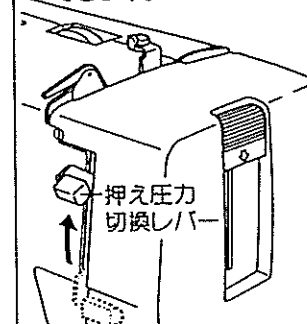


- ⑤ 2本のピンに合わせ面板を取り付け、ねじを締めます。



ワンポイントアドバイス

- 押え圧力切換レバーについて
レバーを上げると押えの圧力を開放にすることができます。



こんなことも知っておきましょう

スイッチについて

一つのスイッチを押しながら、他のスイッチ操作はできません。

安全性を考えた自動停止について

- 下記のような場合に自動停止します。
- ジグザグの振り幅マニュアルスイッチ、ぬい目の長さマニュアルスイッチ以外のスイッチを押した場合。(返しぬいスイッチについては、1ページ参照)
- 押えあげてこを上げた場合。
- 下糸巻き装置を動かした場合。

ブザー警告について

- 糸がらみなどでミシンがロックした場合
- ミシンは自動的に止まります。
- 停止後5秒経過すると、運転可能状態にもどりません。
- ロックした原因を直さないとスタート・ストップスイッチを押さないでください。
- 糸がらみなどでロックした原因を直すときは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

停電について

- 運転中に停電が発生した場合
- 電源プラグを抜いてください。
- 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

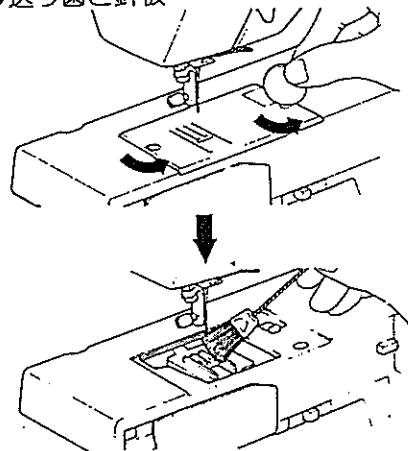
お手入れ

■掃除

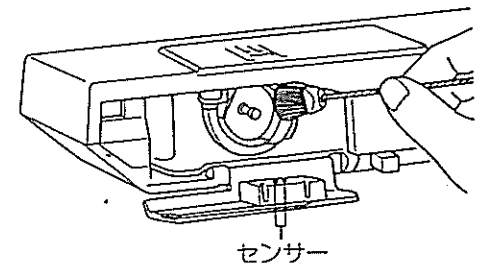
下図の箇所は糸くずやほこりがたまりやすく、故障の原因になる場合がありますので、いつも清潔にしておきましょう。

※下図の箇所以外は分解しないでください。

●送り歯と針板



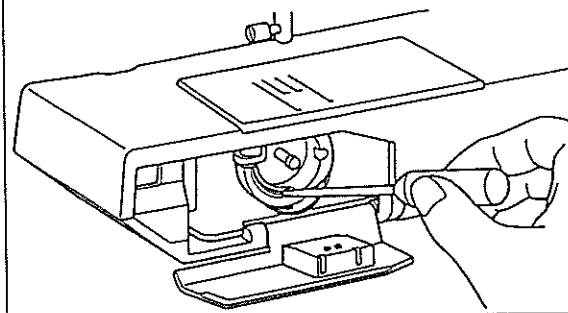
●かま内部とセンサー



■注油

使用前に一滴注油してください。

※かま以外は注油しないでください。

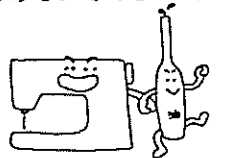


●いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

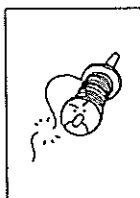
●ミシンの大敵

ストーブやアイロンは近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。

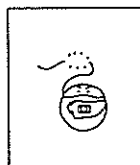


こんなときにはここをチェック

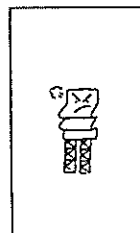
ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。
もし、それでも直らない場合は、最寄りのプラザ販売店にお申し付けください。



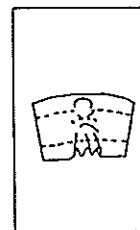
- 上糸が切れる
 - ①糸のかけ方は正しいですか。
 - ②糸調子が強すぎませんか。
 - ③ミシン糸と針の組み合わせは正しいですか。
 - ④プーリを逆回転していませんか。



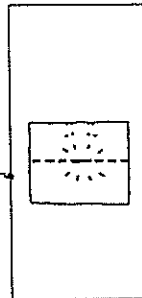
- 下糸が切れる
 - ①ボビンケースの調子ばねを強く締めすぎていませんか。
 - ②ボビンケースに糸が正しく通っていますか。



- 布地を送りにくい
 - ①ぬい目の長さがかまかすぎませんか。
 - ②押え圧力切換レバーが上になっていませんか。
 - ③糸くずが針板の下部にたまっていませんか。



- ぬい目に輪ができる
 - ①糸調子は正しいですか。
- ぬい物にしわがよる
 - ①糸調子が強すぎませんか。
 - ②糸のかけ方は正しいですか。
 - ③布地・ミシン糸・針の組み合わせは正しいですか。



- ぬい目がとぶ
 - ①針は正しく付いていますか。
 - ②針が曲がったり、針先がつぶれていませんか。
 - ③布地・ミシン糸・針の組み合わせは正しいですか。
 - ④糸のかけ方は正しいですか。



- 針が折れる
 - ①針は正しく付いていますか。
 - ②布地を不当に引っ張ってはいませんか。
 - ③布地・ミシン糸・針の組み合わせは正しいですか。
 - ④針が曲がったり、針先がつぶれていませんか。
 - ⑤送んだ模様と押えの組み合わせは正しいですか。



- 回転が出ない・音が高い
 - ①送り歯にごみがたまっていませんか。

ミシン講習整理券について

このミシンには、講習整理券が3枚ついています。

いろいろ身近な作品づくりをお楽しみいただくために、次の基準によりお買い上げの販売店、または指定教室が責任をもって、ミシンの使い方とソーイングについてアドバイスさせていただきます。また、お楽しみにならないお客様には、出張講習の制度もございます。（詳しくはお買い上げの販売店へお問い合わせください。）

①講習整理券で、次のような3回の講習が受けられます。
(1回1枚で2時間程度)

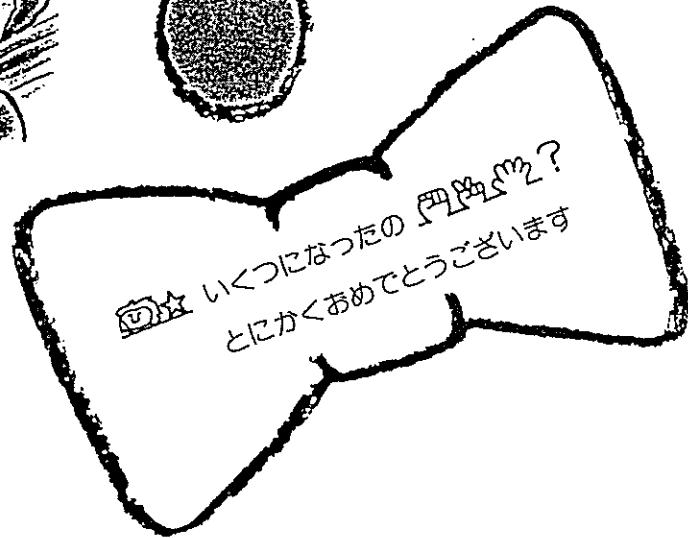
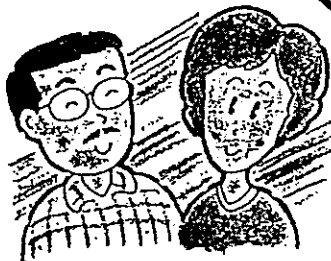
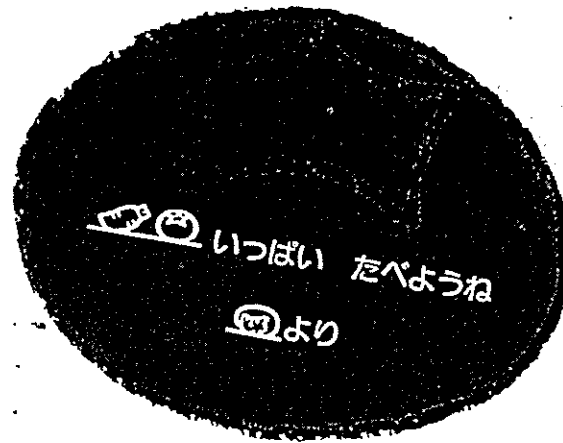
第1回目	ミシンの使い方
第2回目	ミシンの活用のしかた
第3回目	作品作り

②受講される場合は、〈取扱説明書〉〈ソーイングの基礎〉〈サービスセット〉をご用意ください。

③講習整理券は、受講された場合の整理に使用しますので、ご署名、捺印をして1枚ずつ切り取ってお渡しく下さい。

④講習整理券の有効期間は、お買い上げ日より1年間となっていますので、お早目に受講ください。

私のこころを伝えるワード・ア・ラ・カルト。



◎お父さん、お母さんへ

お母さん ありがとう
ななかよし と がすき
Be young forever!

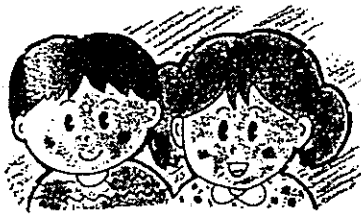
◎お誕生日

Happy Birthday to
your Seventeen
BIRTHDAY PRESENT



◎お友達へ

からのごめんなさいに
をかけてあくります



やったね そつぎようだ!
そつぎようきねん
あがさいたら あそびに

◎恋人やボーイフレンドへ

St. Valentine Day

ゆうこよりをこめて



◎お子様へ

トシくん 5才のおたんじょう日
おめでとう 1984年5月5日
マコちゃんの そつぎようを
おいわいします。1984 3.25
ボクとママのおやくそく

◎ご結婚 On Your Wedding Day

ごけっこん おめでとう
いつまでも あつあつの ふたりで いてね みゆき
A Happy Marriage!

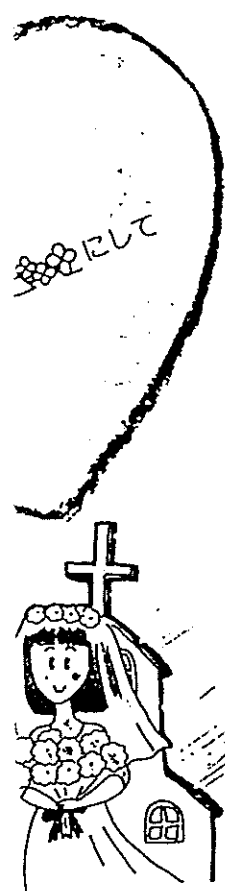
◎そのほか

ドレミファソ

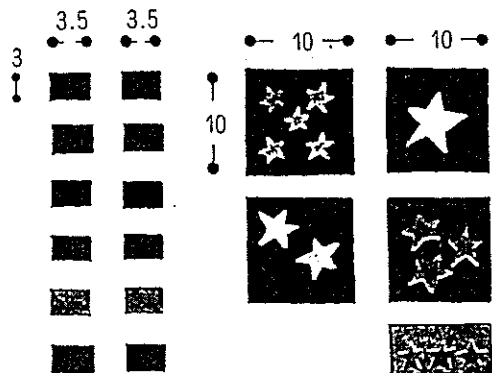
Let us have time

◎グリーティング よいたびでありますように!

はやくよくなってね



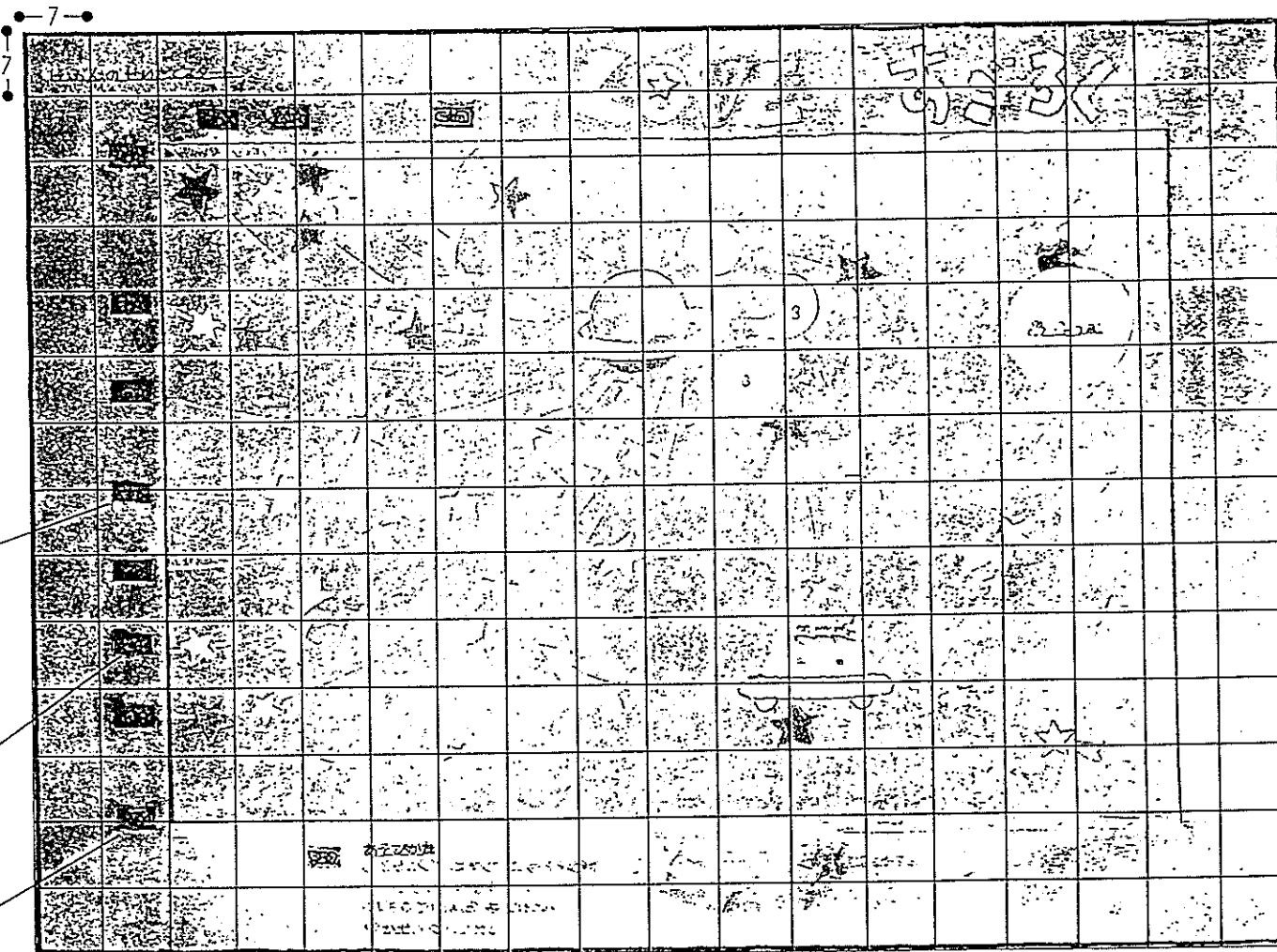
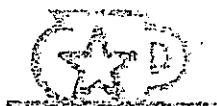
●LOVE すごろく(A)



2枚を合わせ
中にわたをつめる



中にわたを
つめる



作り方の注意

単位はすべてcm。

⊙は〈ソーイングの基礎〉の参照ページ。

※布地は好みのものを選ぶ。裏面は赤1枚。

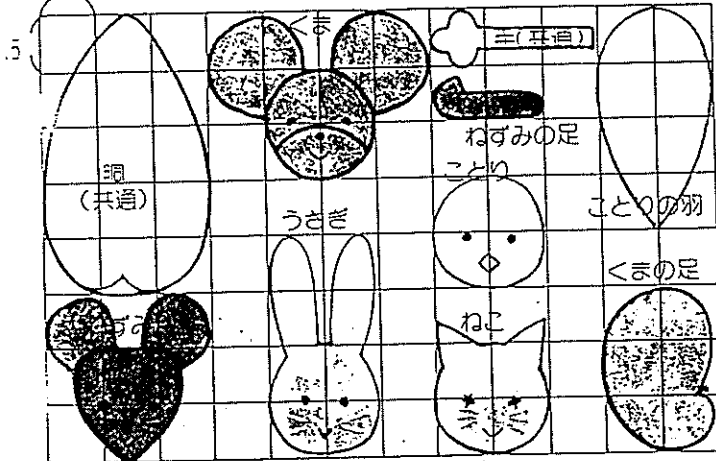
※ぬいしろはすべて1cm。

※アップリケはジグザグで付ける。

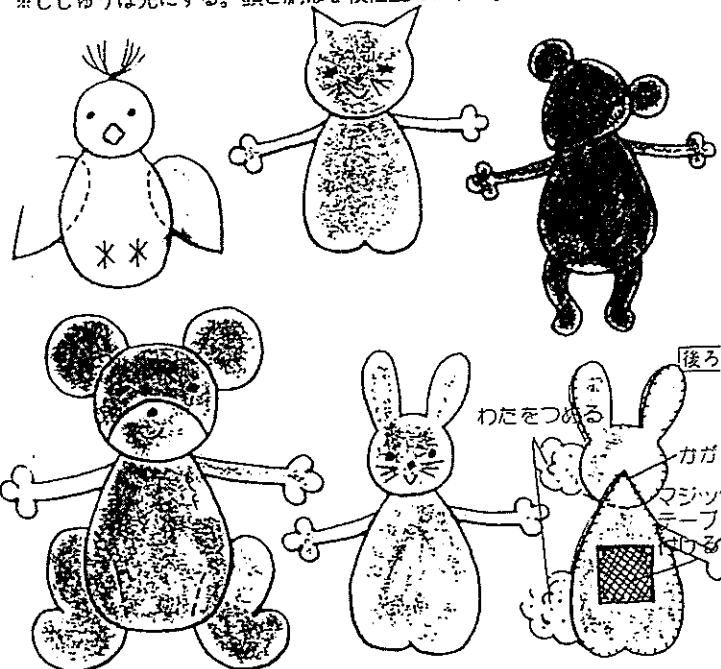
※ヘリコプターと自転車は別売りカプセルの模様です。

●おけいこ ハウス(B)

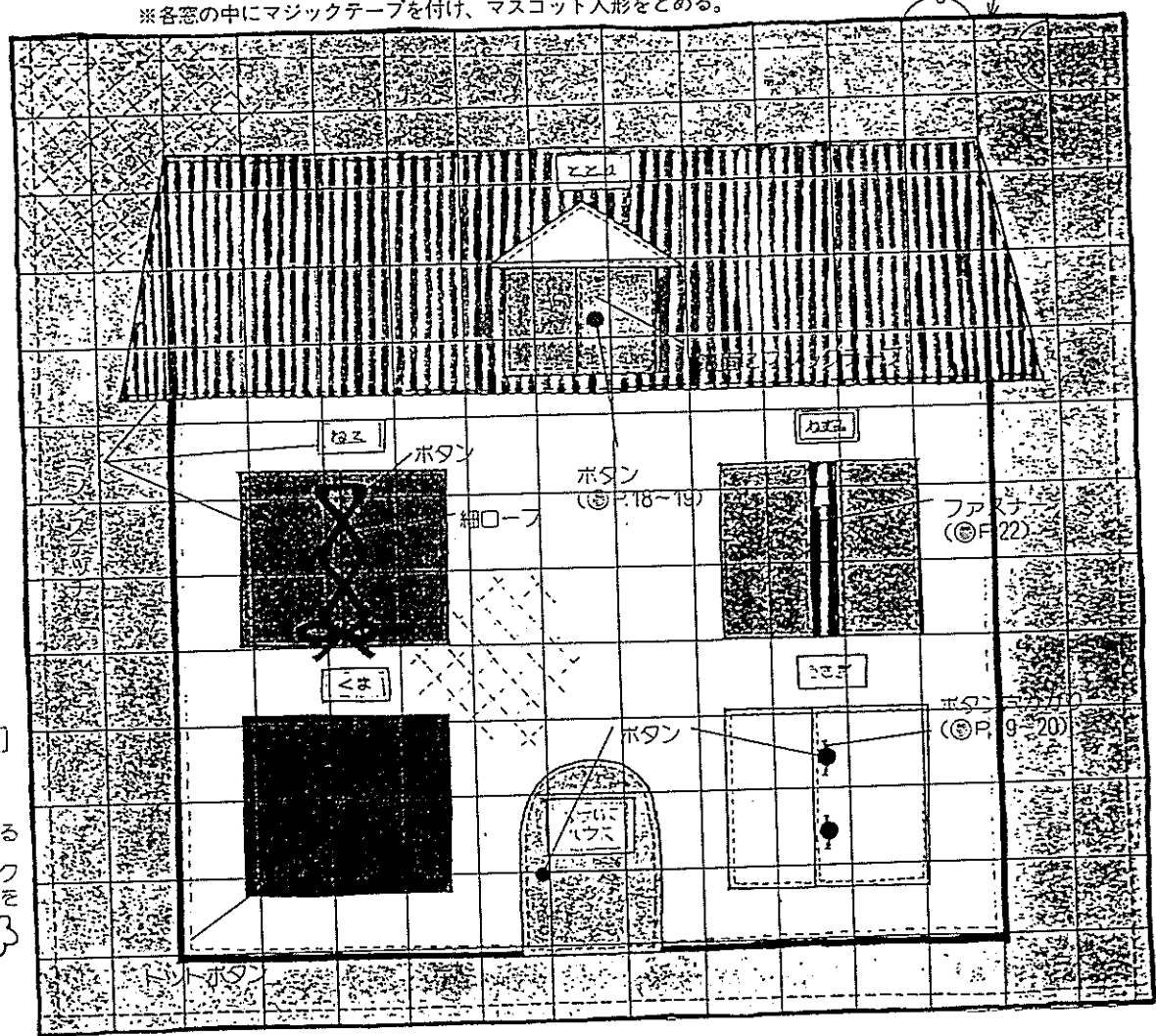
1.5



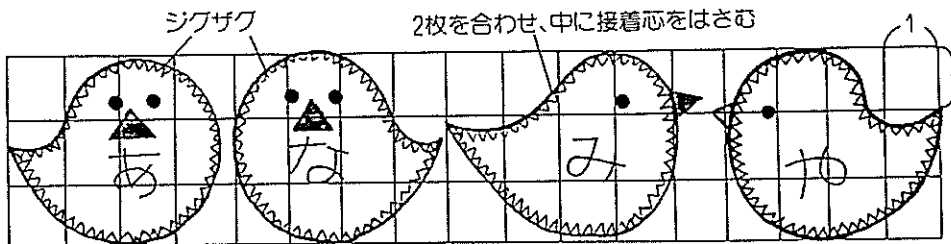
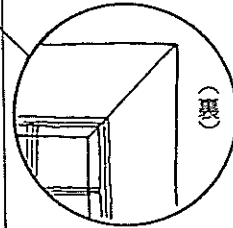
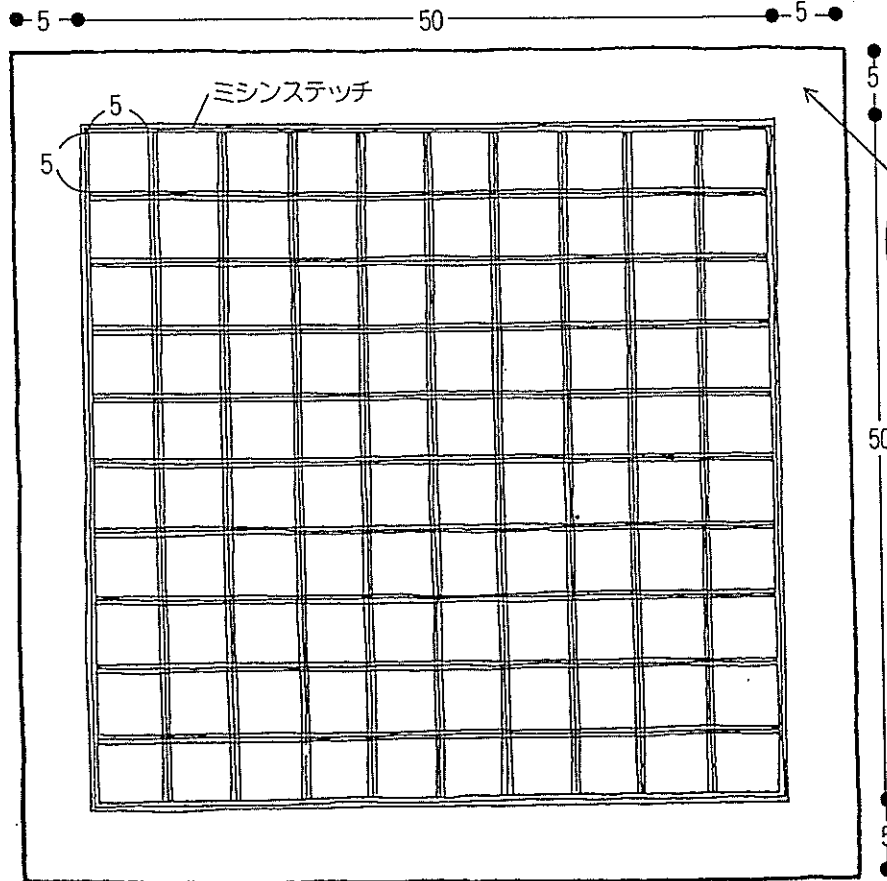
※しゅうは先にする。頭と胴は2枚仕立てにする。



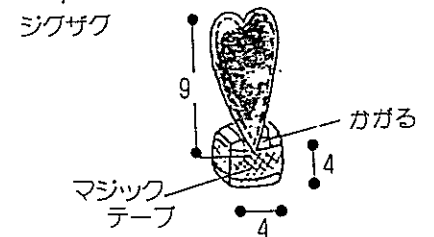
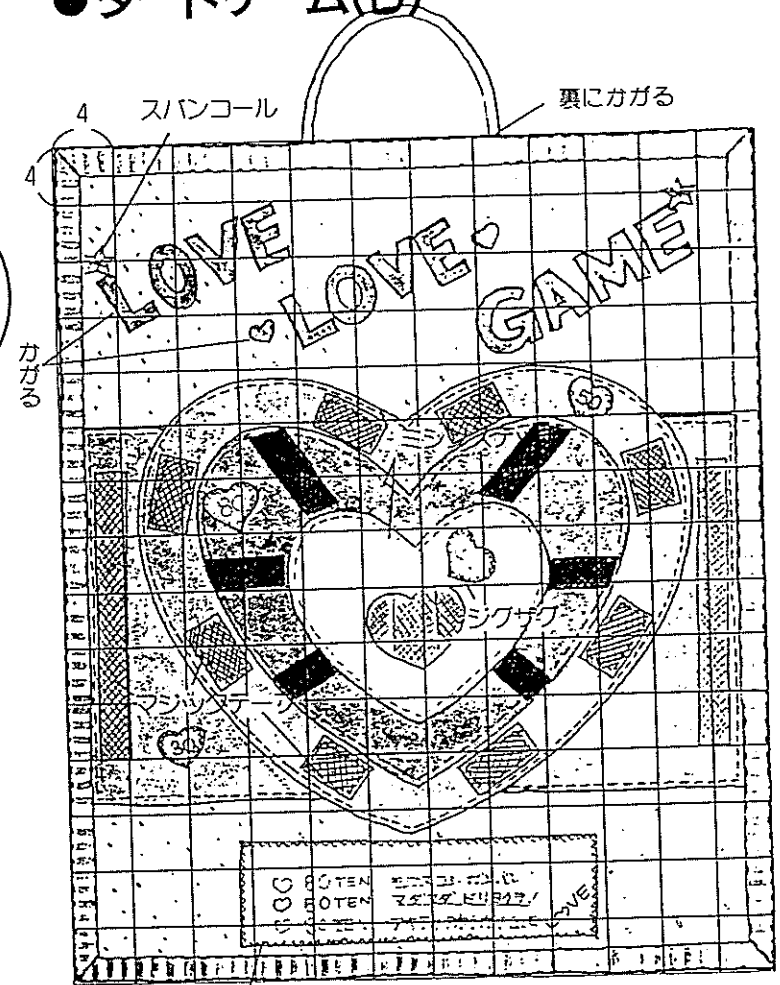
※各窓の中にマジックテープを付け、マスコット人形をとめる。



●ひよこの パズル(C)

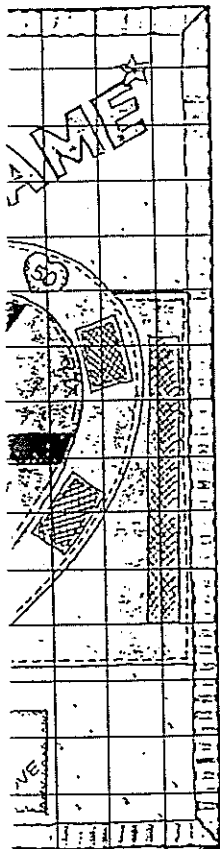


●dartゲーム(D)

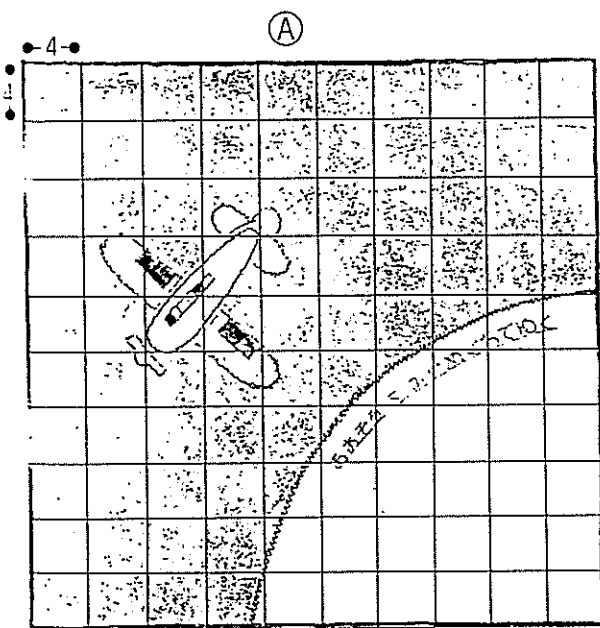


●パズル クッション(E)

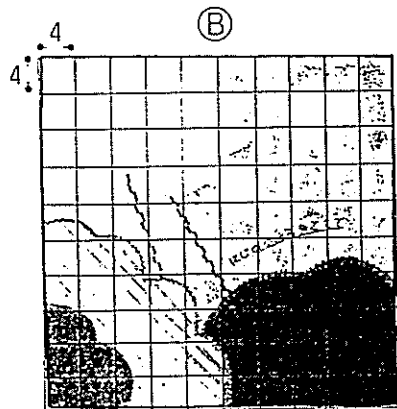
裏にかがる



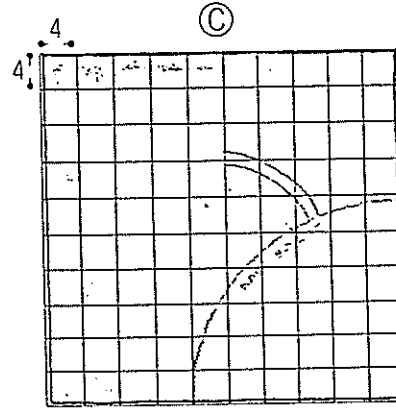
る



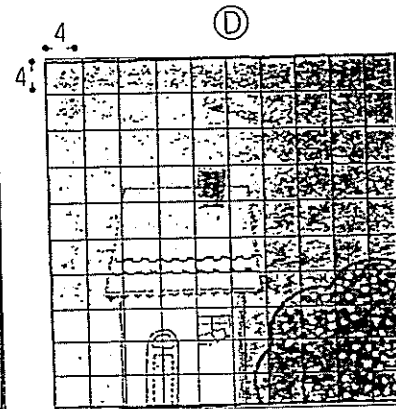
おおぞらをかけめぐってゆく



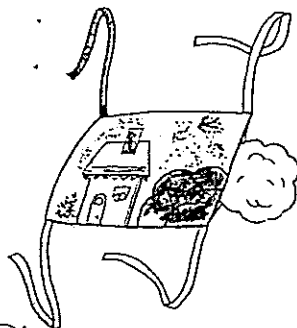
にじのはらをこえて



あのにじをのぼって

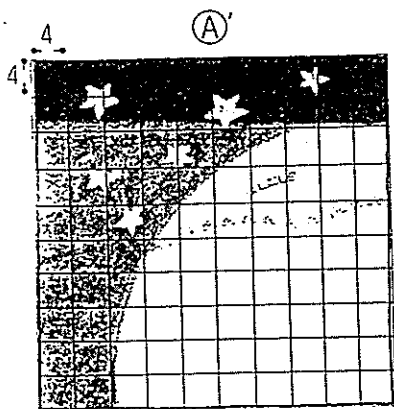


わたしのたいせつなこいのおはなし

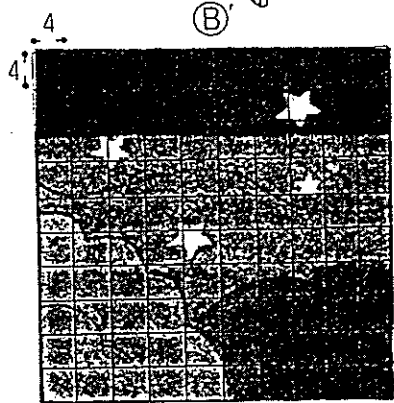


※アップリケは
ジグザグで
つける

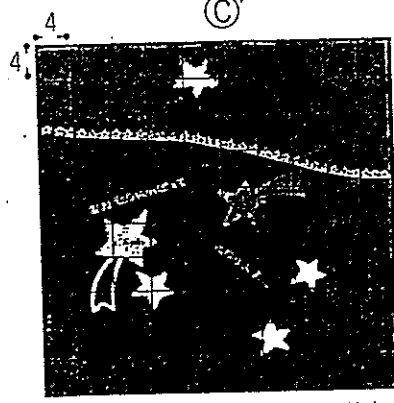
①と①' を中表に合わせて
②と②' を表に返して
③と③' をわたをつめ、口を
④と④' とじる。



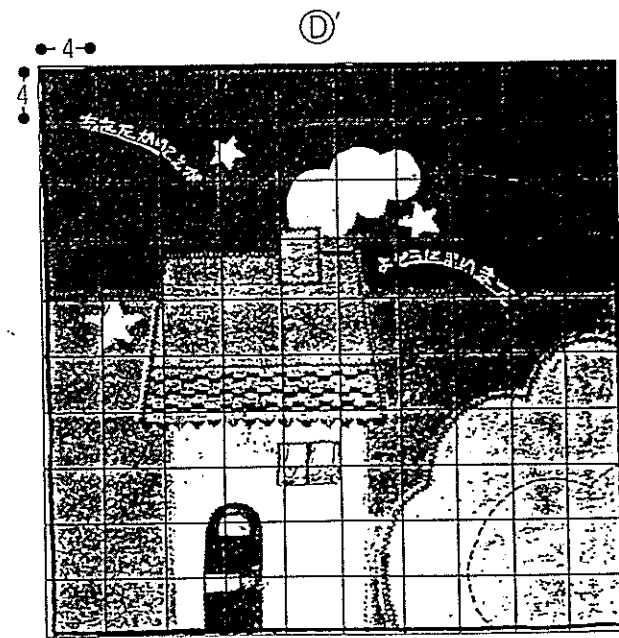
月にとどくと それはあいのほし



くらののをこえて

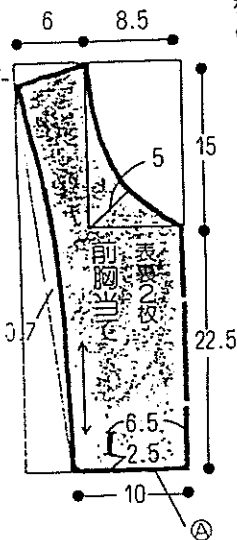
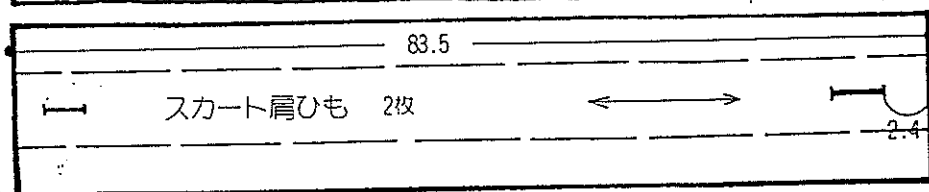
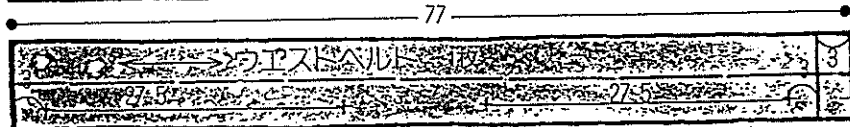
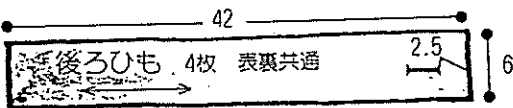
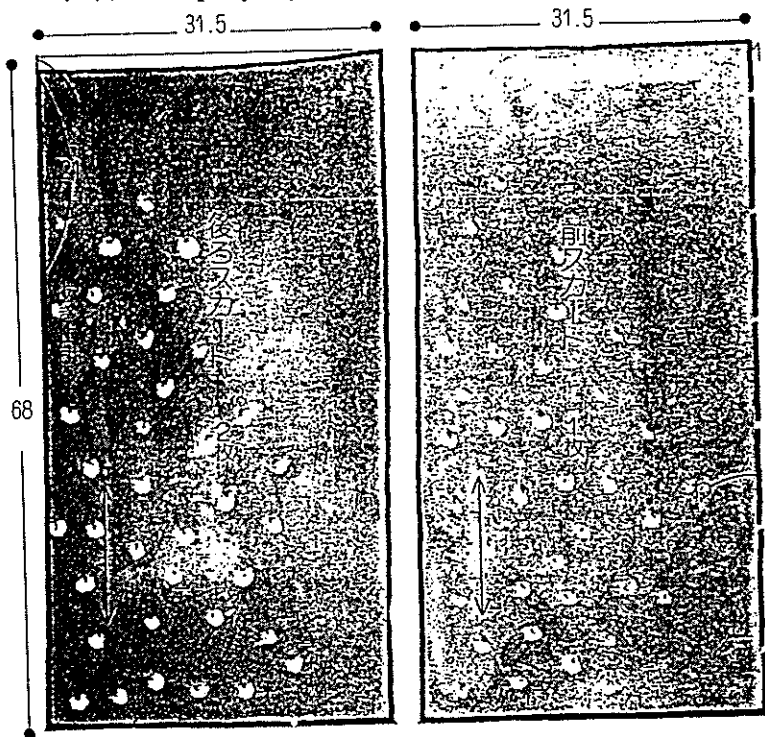


おおぞらにのぼって ほしになります



あたたかいこえがよぞらにいます

●スカート(F)

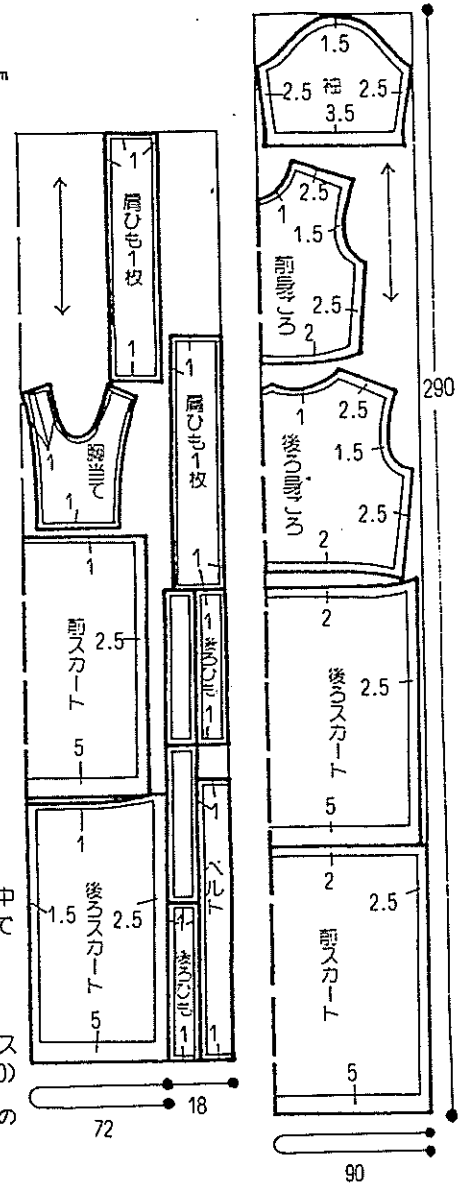


- 作り方**
- ①後ろ中央をあき止まりまでぬい、ぬいしろを割って始末する。(◎P.5)
 - ②ファスナー付け。(◎P.21)
 - ③脇をぬい合わせ、ぬいしろの始末をする。裏布も同様。
 - ④裏布のあき部分をファスナーにまつ。
 - ⑤表布と裏布を合わせ、ギャザーをよせる。(◎P.13)
 - ⑥ベルトを付ける。(◎P.39)
 - ⑦すそを上げる。(◎P.8~9)
 - ⑧ホック、ボタンを付ける。(◎P.17~19)

- 肩ひもの作り方**
 中表にぬい合わせ、表に返し、ぬい目は裏の中央にくるようにし、両端のぬいしろを折り込んでまわりにステッチをかける。
 ボタン穴カガリ(◎P.19~20)

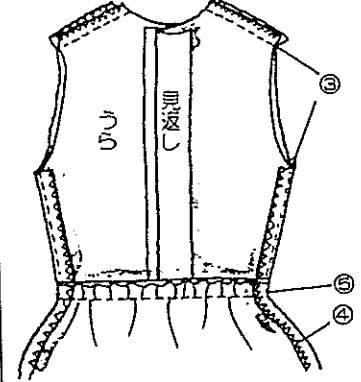
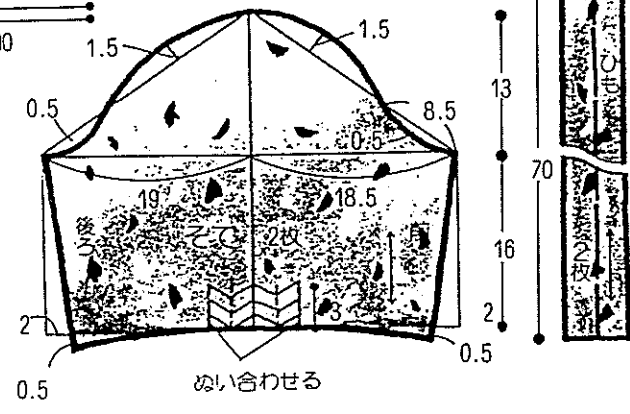
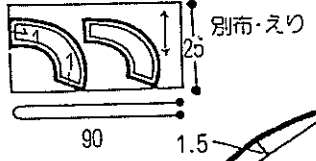
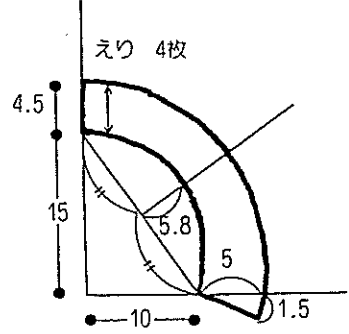
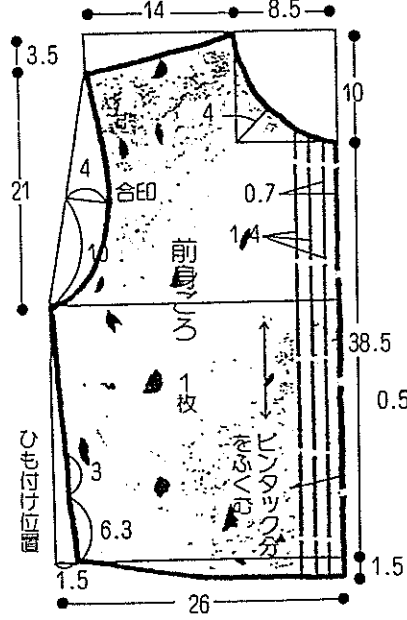
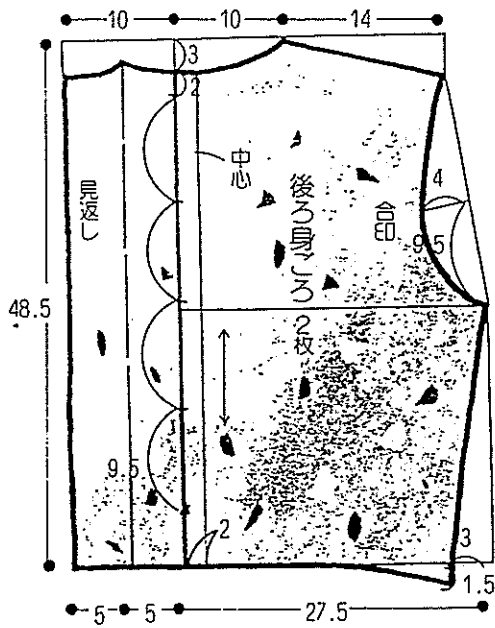
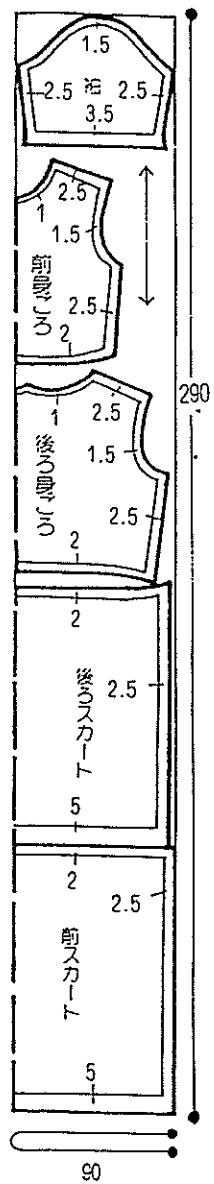
- 胸当ての作り方**
 ④部を残して中表にぬい合わせ、表に返してステッチをかける。ボタン穴カガリ(◎P.19~20)
 ※スカートの場合ウエスト寸法を自分のウエスト寸法に合わせる。

●ワンピース(F)



- 材料**
- スカート
 - 表布 化繊のプリント90cm幅 150cm
 - 裏布 90cm幅 150cm
 - 幅3cmのインサイドベルト 60~70cm (ウエストサイズに合わせて)
 - 20cmのファスナー 1本
 - かぎホック 1組
 - スリースタイルスカート
 - ウール地 スカートのみ90cm幅150cm
 - 胸当て付き 90cm幅190cm
 - 肩ひも付き 90cm幅240cm
 - 裏地 90cm幅150cm
 - くるみボタン直径2.5cm 2個
 - ベルト芯77cm
 - 20cmのファスナー 1本

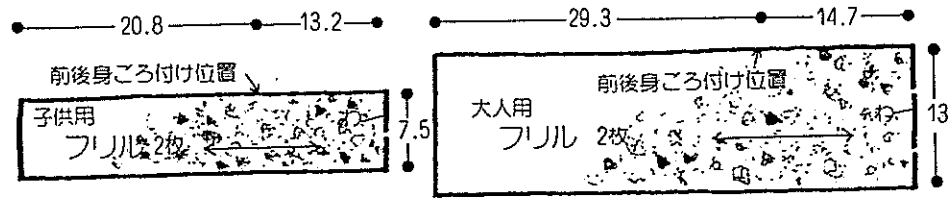
ース(F)



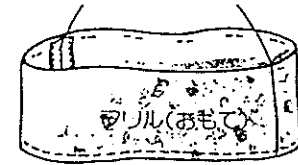
材料
化繊のプリント地90cm幅 290cm
えり(別布) 90cm幅 25cm
肩パット 1組
接着芯
ボタン直径1.8cm 5個

- 作り方
- ①前身ごろにピンタックをとる。(㊦P.15)
 - ②ウエストひもは中表にぬい合わせ、表に返してステッチ。
 - ③中表にぬい合わせ、ぬいしろの始末。(㊦P.5) 脇はウエストひもをはさんでぬう。
 - ④スカートの前をぬい合わせ、ぬいしろの始末
 - ⑤ウエストにギャザーをよせ(㊦P.13)、身ごろとはぎ合わせ、ぬいしろの始末をして上に倒し、表からステッチ。
 - ⑥そで口はぬい止まりまでぬい、ぬい目が中央にくるように折り、開く。
 - ⑦そで付け。(㊦P.34)
 - ⑧えり付け。(㊦P.26)
 - ⑨すそ上げ。(㊦P.9)
 - ⑩ボタン穴かがり、ボタン付け。(㊦P.18~20)
 - ⑪肩パットを付ける。(㊦P.34)

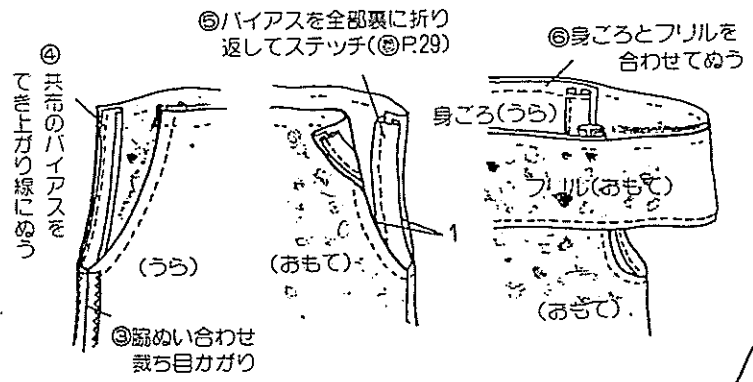
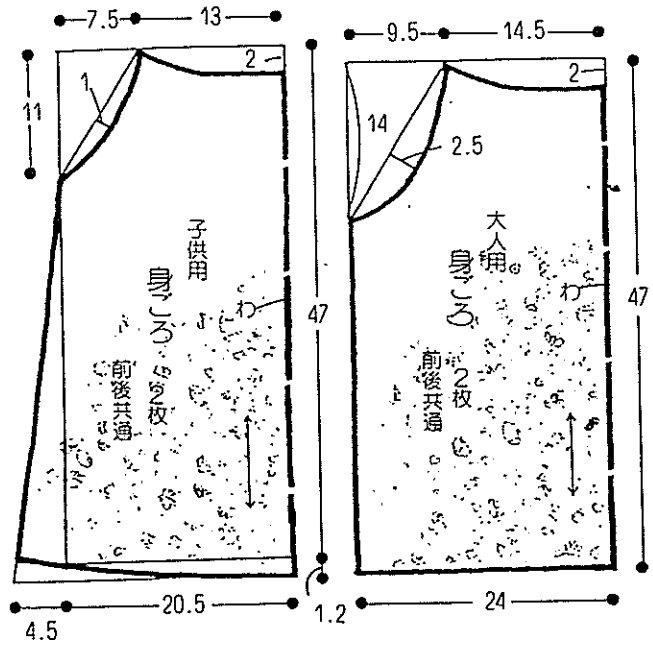
●ブラウス&子供用サンドレス(G) 材料 綿ブロード 90cm幅 220cm ※バイアス布は残り布を正バイアスに2cm幅130cm分とる ゴム 120cm



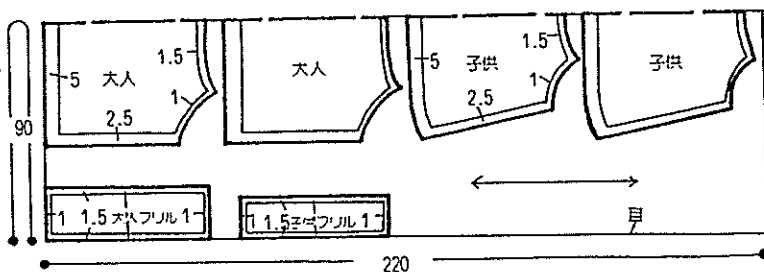
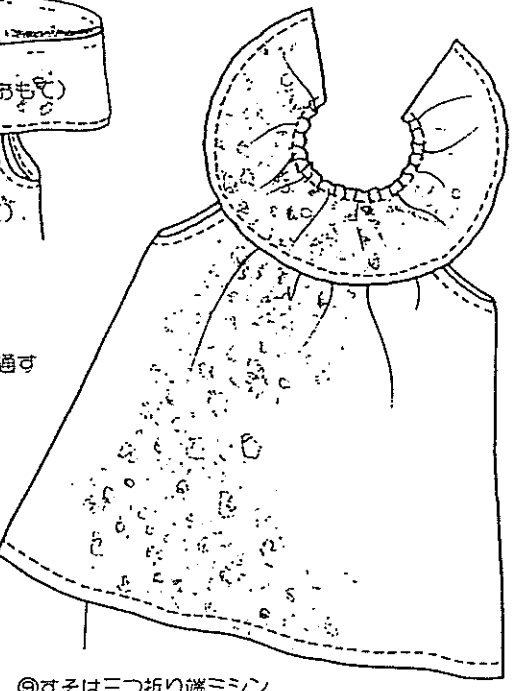
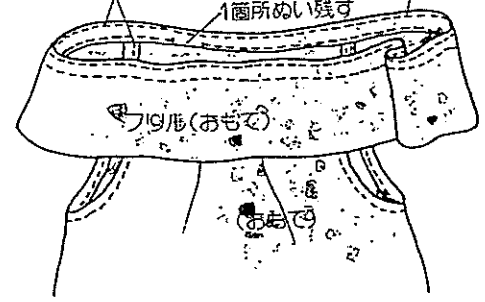
①ぬい合わせ裁ち目カガリ(◎P.5)



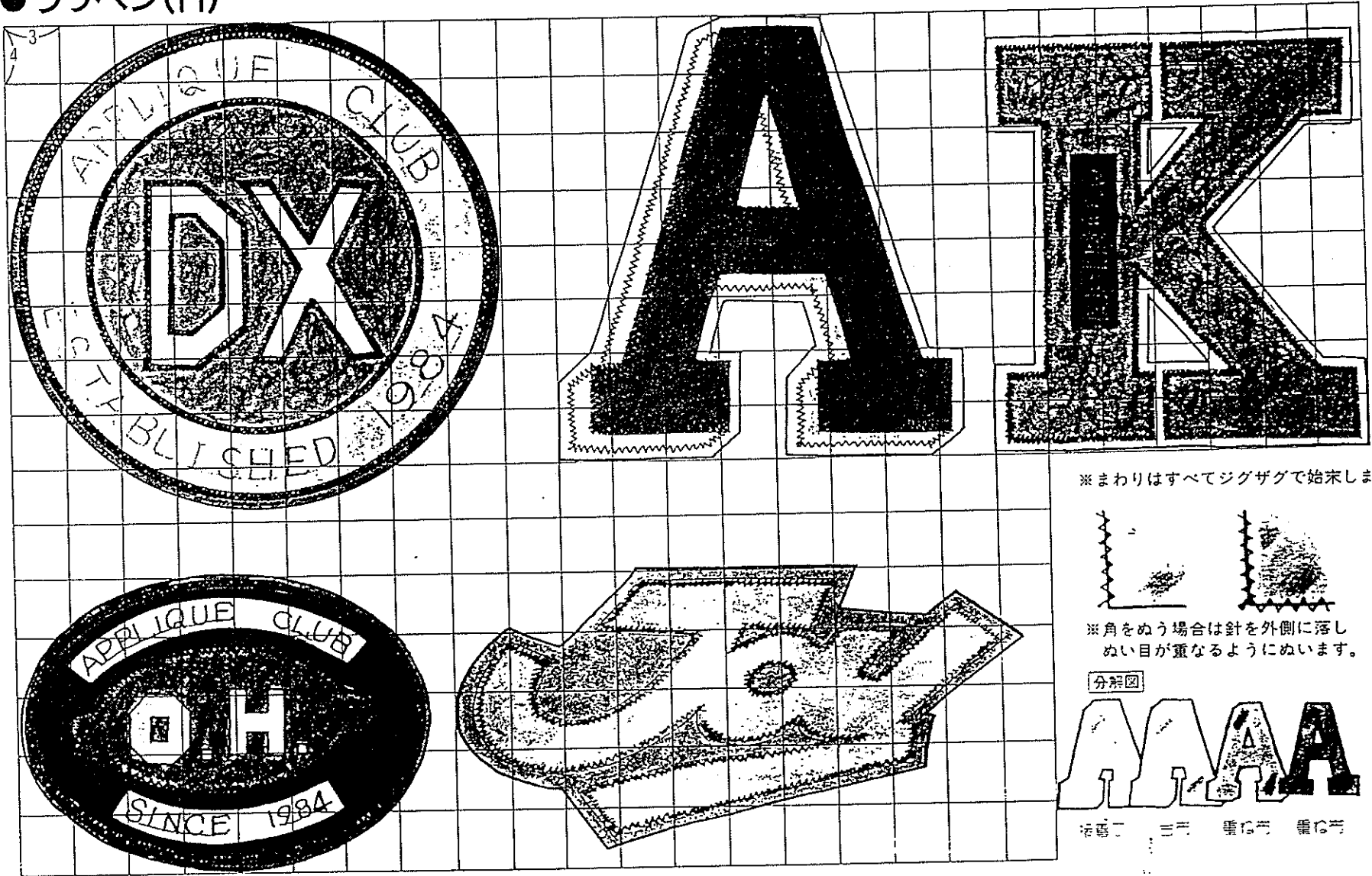
②三つ折り端ミシン(◎P.13)



⑦フリルと身ごろをいっしょに内側へ折ってぬう



●ワッペン(H)

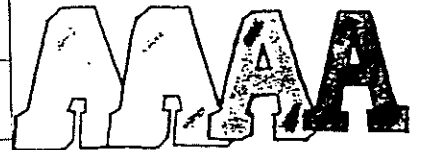


※まわりはすべてジグザグで始末します。



※角をぬう場合は針を外側に落としぬい目が重なるようにぬいます。

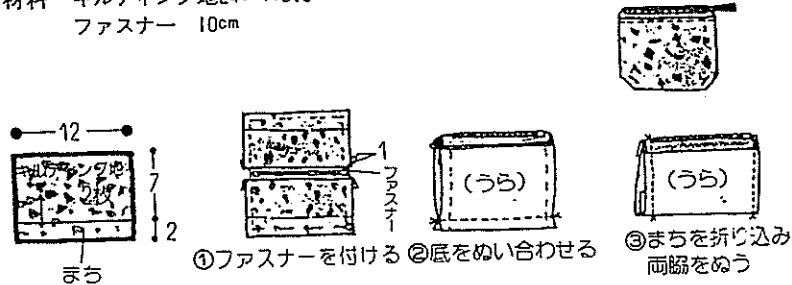
分標図



※角をぬう場合は針を外側に落としぬい目が重なるようにぬいます。

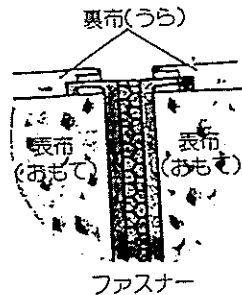
●小銭入れ(I)

材料 キルティング地 24cm×9.5cm
ファスナー 10cm

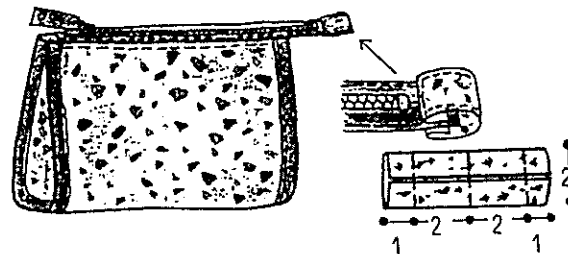


●ポーチ(I)

材料 表地 キルティング地 28cm×38cm
裏布 ビニール地 28cm×38cm
ファスナー 24cm
バイアス 2cm幅 760cm

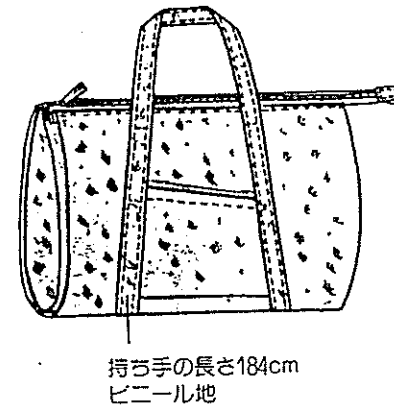
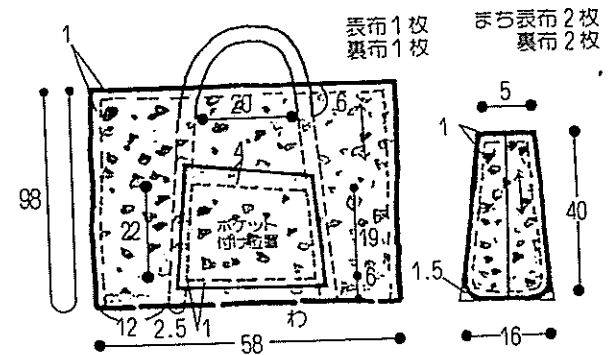


- ①表布・裏布のぬいしろを裏に折りファスナーを付ける。
- ②まちの表布と裏布の上部をぬい合わせ、表に返しステッチ。
- ③本体にまちをしつけて止め/バイアステープでくるむ。(◎P.10-11)



●バッグ(I)

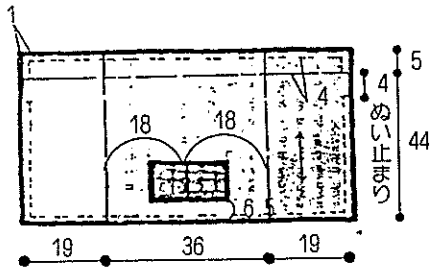
材料 表布 キルティング地 74cm×90cm
裏布 ビニール地 50cm幅138cm
ファスナー 65cm



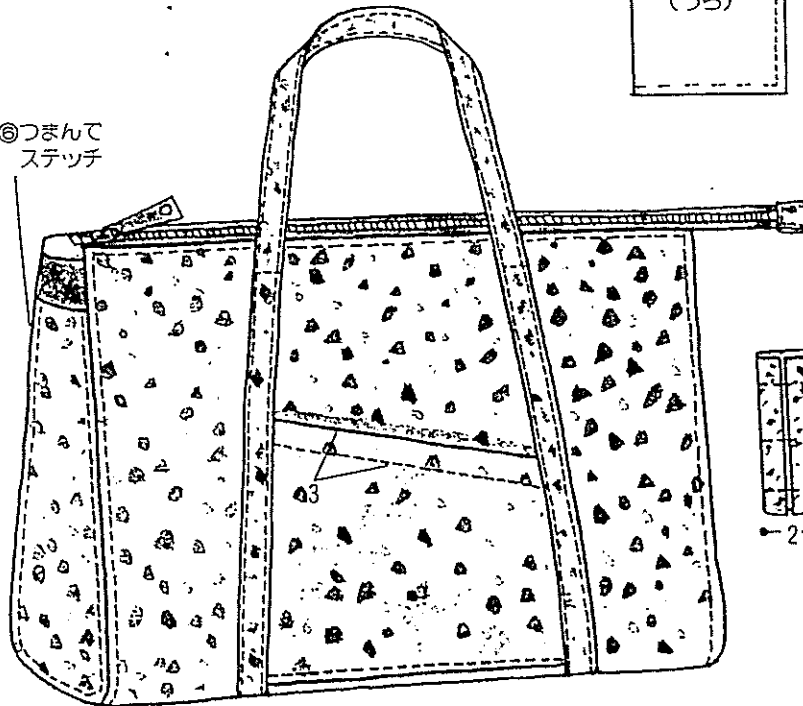
- ①ポケットは口を三つ折りし端ミシンでおさえ、底のぬいしろを折り指定の位置にしつけをする。
- ②持ち手は接ぎ目が目立たないところにもついでいぎ、点線部分だけぬい付ける。
- ③表布・裏布にファスナーを付ける。(ポーチのファスナー付け参照)
- ④まちの表布と裏布の上部をぬい合わせ裏に返してステッチ。
- ⑤本体を裏返してまちとぬい合わせる。まち目の端末(◎P.5)

●リュックサック(I)

材料 キルティング地90cm幅 44cm 別布10cm角
 ひも 180cm
 バイアス 2cm幅60cm
 Dかん2個 スナップ1組



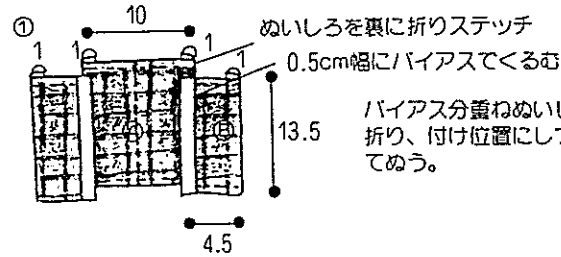
◎つまんでステッチ



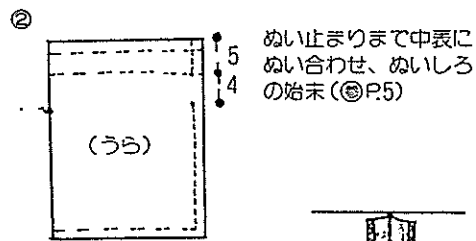
三つ折りし端、底のぬいし位置にしつけ

が目立たないいぎ、点線取る。アスナーを付フアスナー付

布の上部をぬいてステッチ。まちとぬい合の始末(◎P.5)

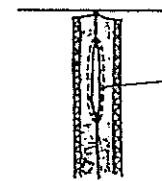


バイアス分蓋ぬいしろを裏に折り、付け位置にしつけをしてぬう。



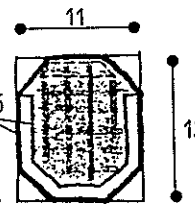
(うら)

ぬい止まりまで中表にぬい合わせ、ぬいしろの始末(◎P.5)

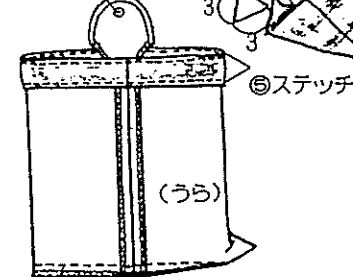


◎まわりにステッチ

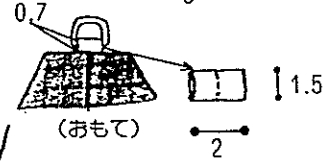
裏にスナップ ◎ひもはしに付ける



◎底をぬい合わせぬいしろの始末

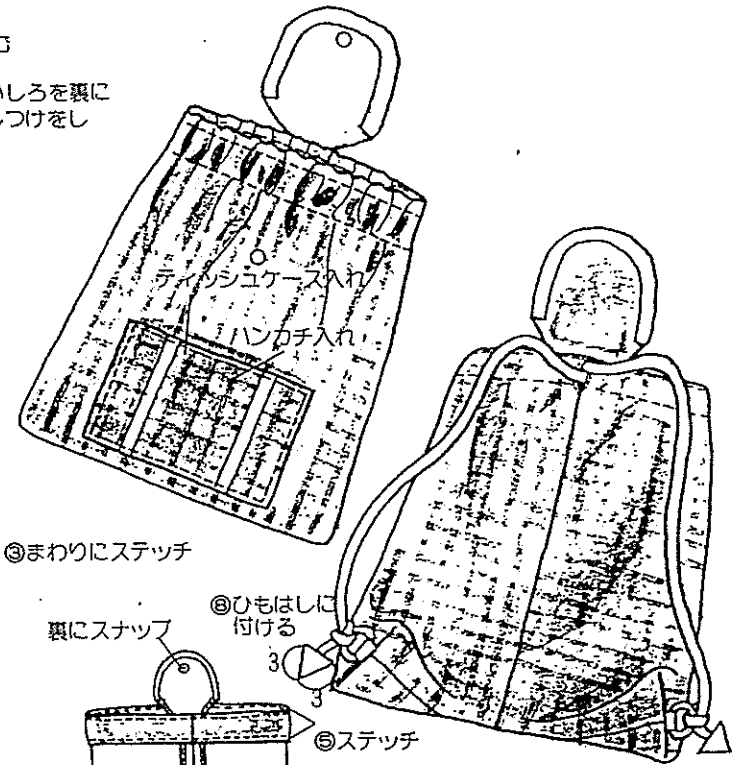


◎底をぬい合わせぬいしろの始末



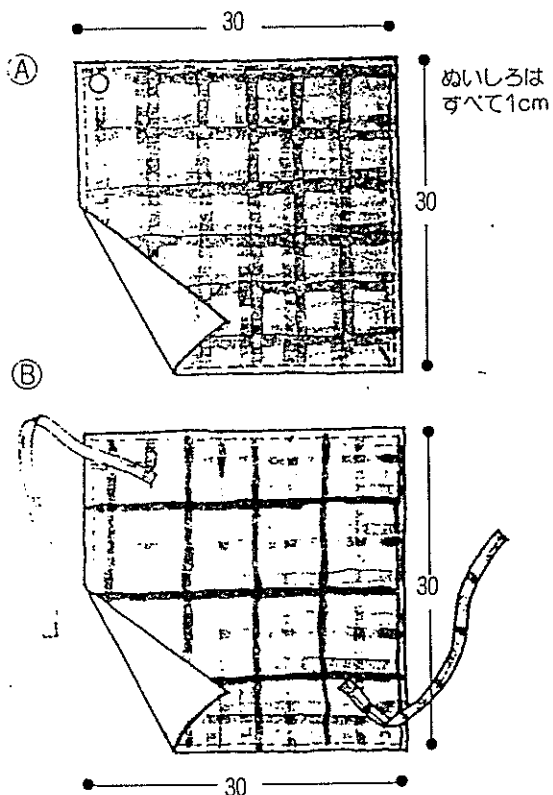
◎底のDかんをはさんでぬう。

(うら)



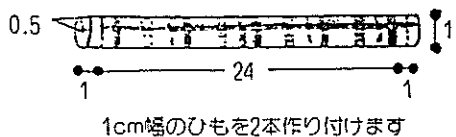
●おべんとうつつみ(I)

材料 綿ブロード32cm×32cm 2枚
ボタン 1個



- ①表布・裏布を中表に合わせ三方をぬい、表に返し、四方に端ミシンをかける。
- ②ボタン穴かがり、ボタン、またはひもを付ける。

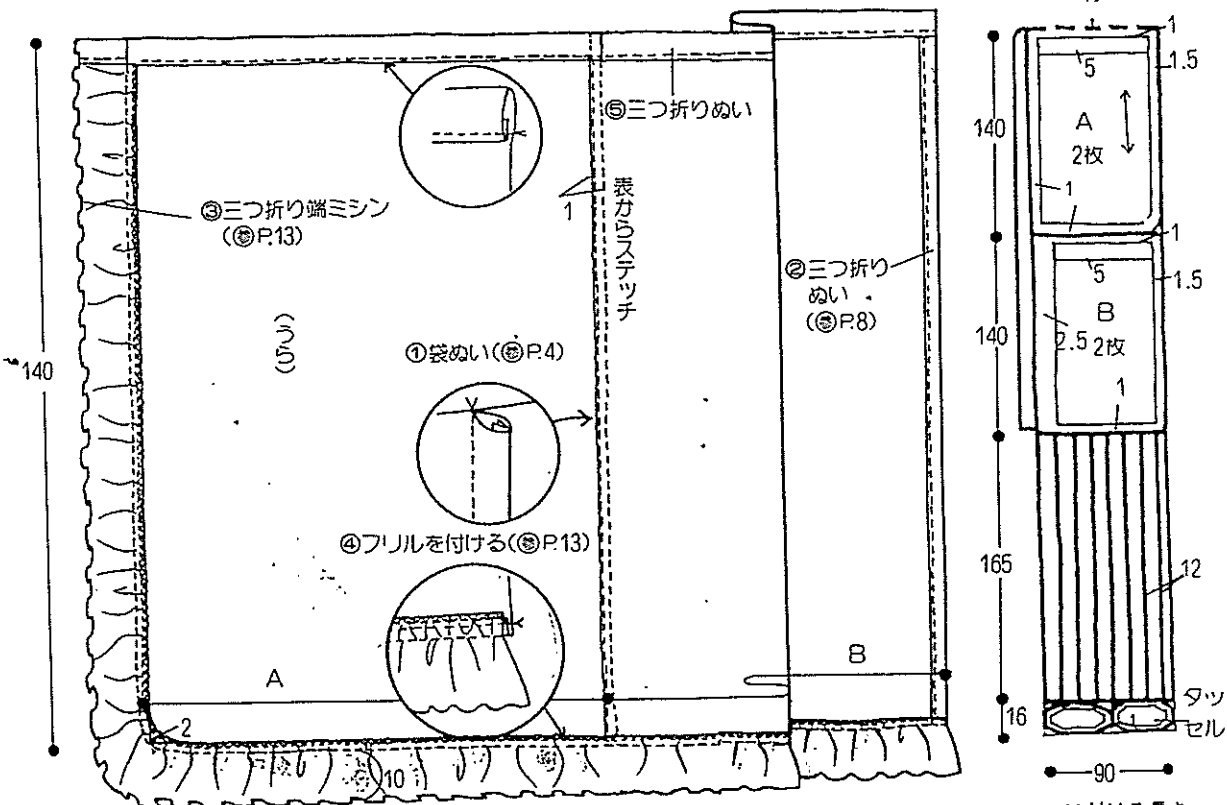
※②のひもの作り方 26cm×6cm



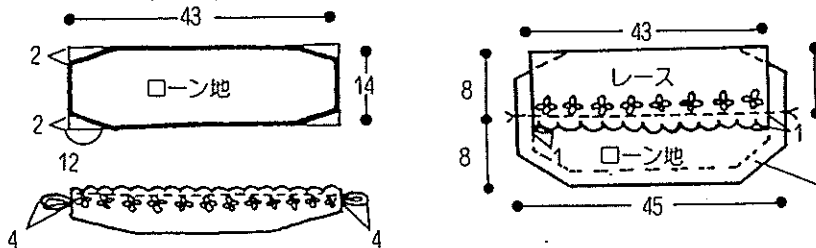
1cm幅のひもを2本作り付けます

●フリルカーテン(K)

材料 ローン地90cm幅 750cm
かけひも 40cm
レース 9cm幅 90cm



タッセルの作り方

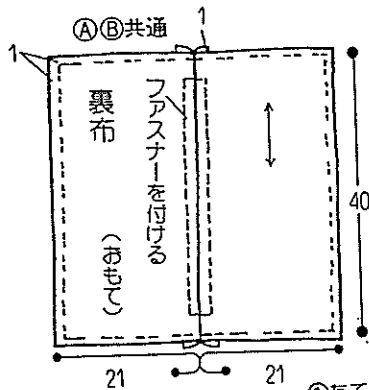


※フリルは付ける長さの約1.8倍

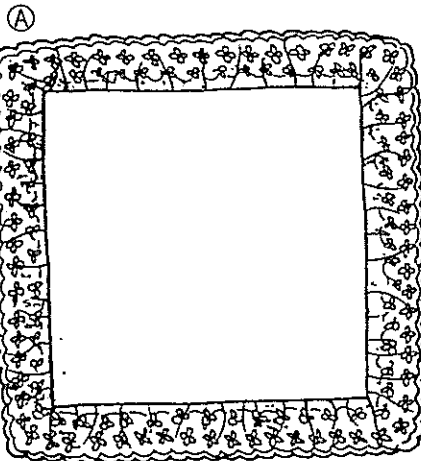
- ①レースの両端を1cm裏へ折りローン地の上に重ねレースの端から1cmぬう。
- ②ぬいしろを裏に折り二つ折りにして両端にかけひもをはさみまわりにステッチをかける

●フリルクッション(K)

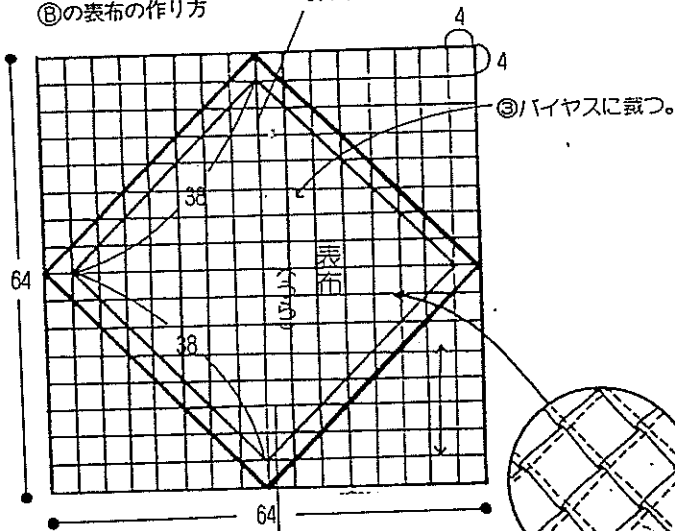
材料 ①中袋用の布地40cm×40cm ②中袋用の布地40cm×40cm
 ローン地 90cm幅 40cm ローン地 90cm幅 110cm
 パンヤ、ファスナー30cm パンヤ、ファスナー30cm
 レース 9cm幅 320cm



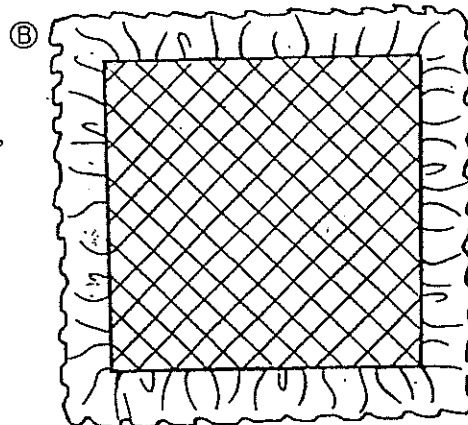
- ①中袋を作りパンヤをつめる。
- ②レースまたはフリルを接ぎ合わせギャザーを寄せて(◎P.13)表布の裏にしつけて止める。
- ③表布と裏布を中表に合わせめつ。



②の表布の作り方



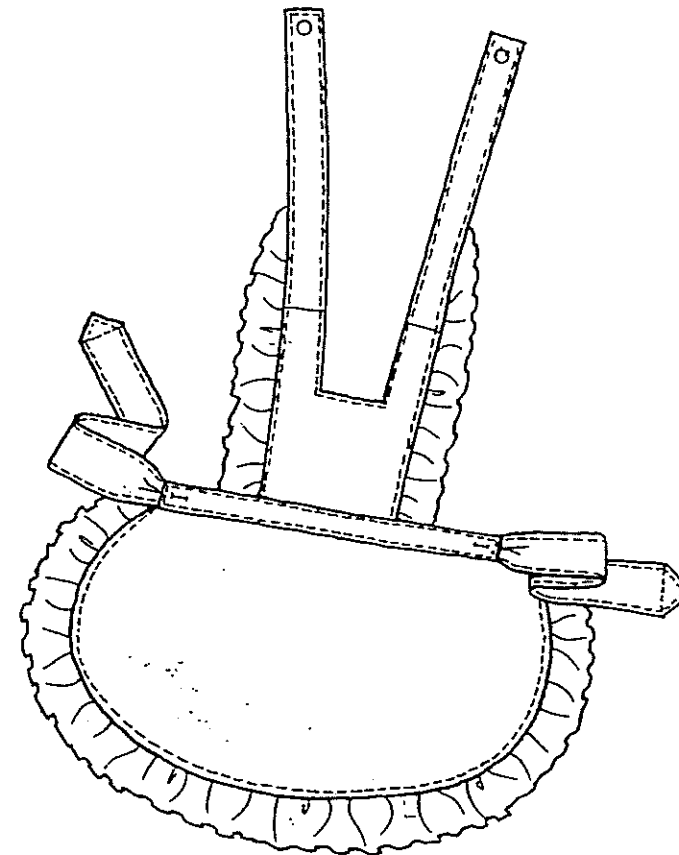
- ①だて方向にしるしを付け0.1のピンタックをとる。(◎P.15)
- ②横方向にしるしを付け0.1のピンタックをとる。(◎P.15)



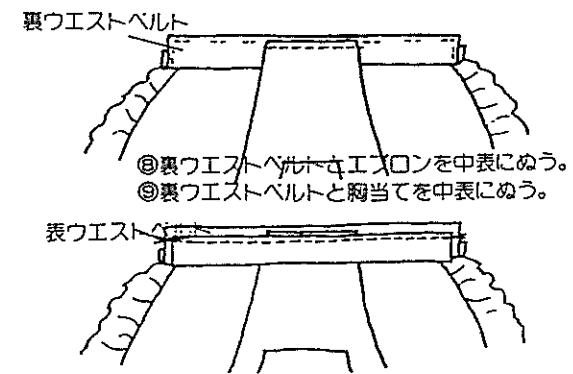
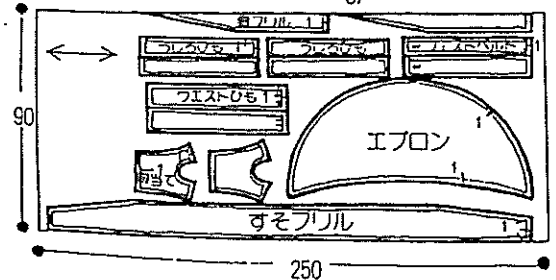
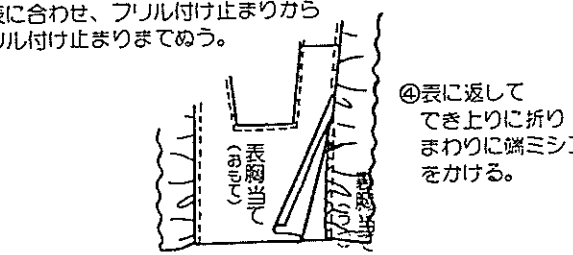
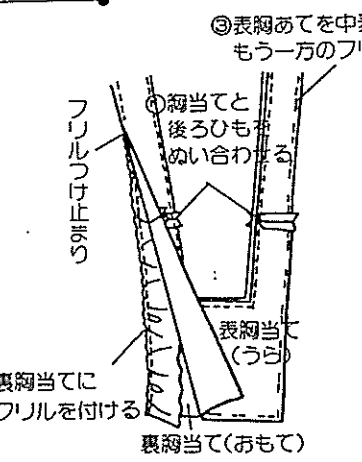
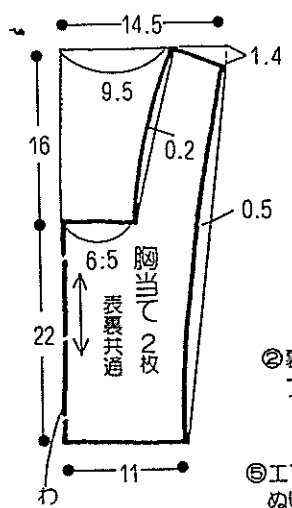
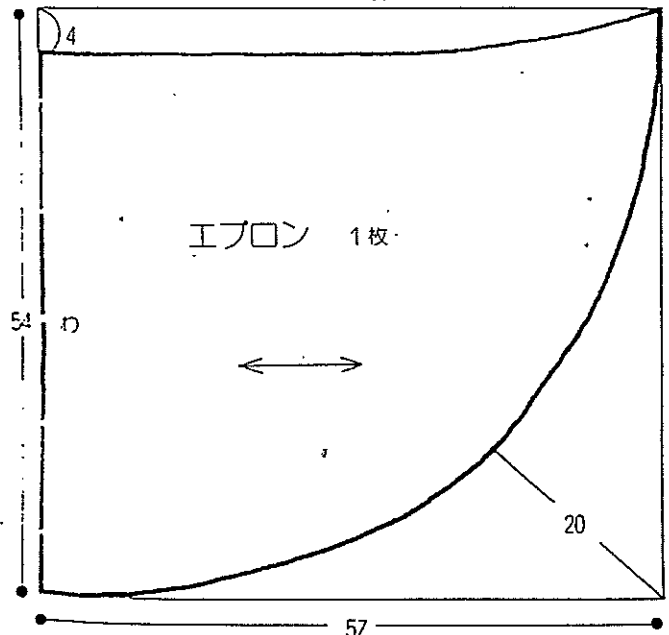
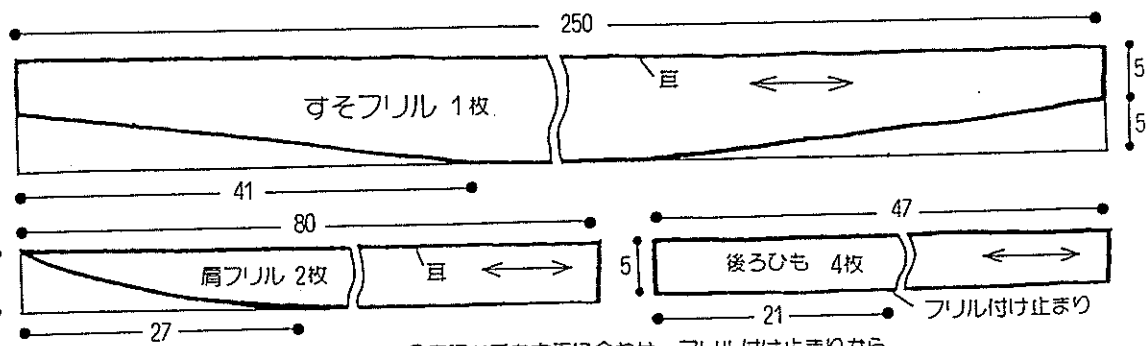
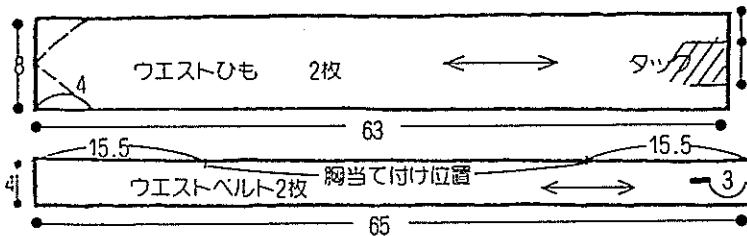
フリルは110cm×8cmを3本裁つ。
 三つ折り端ミシン(◎P.13)

●フリルエプロン(J)

材料
 ローン地90cm幅 250cm
 ボタン直径1.8cm 2個
 接着芯 4cm幅 63cm



パロン(J)



- ③表胸あてを中表に合わせ、フリル付け止まりからもう一方のフリル付け止まりまでぬう。
- ④表に返してき上りに折りまわりに端ミシンをかける。
- ⑤裏胸当てにフリルを付ける
- ⑥エプロンにフリルをつける(③P.13)ぬいしろの始末をしてエプロン側に、倒し押えミシン
- ⑦三つ折り端ミシン
- ⑧ウエストにギャザーを寄せる(③P.13)

- ⑨裏ウエストベルトとエプロンを表にぬう。
- ⑩裏ウエストベルトと胸当てを中表にぬう。
- ⑪表ウエストベルトに芯をはり、中表にぬい合わせ、表に返してき上りに折り、ひもをはさんでまわりにミシン
- ⑫ボタン穴かがり、ボタン付け(③P.18-20)